

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・向こう2～3か月で新型コロナウイルスのワクチンが実用化されることを期待している。そうなれば景気は良くなる。日本製のワクチンが生まれるかどうかは、現在の日本の教育環境が問われているといえる。
		スーパー（役員）	・11月に入り、北海道全域で新型コロナウイルスの感染者が増加しているため、自己を守るための行動から巣籠り需要が再び増加することが見込まれ、今後もスーパーマーケット業態の売上は良い数値を維持することになる。
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外食の機会が減っている一方で、内食需要が増加している。この傾向は当分続くとみられるため、スーパー業態の景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・3月が決算時期に当たるため、2～3か月後は決算の一手前となることから、今よりは状況が良くなる。ただし、新型コロナウイルスがこれ以上拡大すると来客数に影響することになるため、新型コロナウイルスの感染状況次第の面がある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・札幌市がGo To Travelキャンペーンの適用対象外となる宿泊期間が12月15日を期限としており、それ以降の予約が回復傾向にあることから、今後の景気はやや良くなる。ただし、予約内容を見ると、北海道内からの需要で週末の問合せが中心となっている。
		旅行代理店（従業員）	・北海道における新型コロナウイルスの感染拡大傾向がこれからどのように推移するかで、冬期間の観光動向が左右されるとみられるが、当地においては感染症対策をアピールすることで、2月の流水観光を中心とした冬季観光に多くの人が訪れることを期待している。
		商店街（代表者）	・当地3大祭りの1つである冬のイベントの実施も危ぶまれるなか、これまでの状況を踏まえると、特に宿泊、交通、観光関連、飲食などの景気が好転することは期待できない。
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大が今回の外出自粛要請などで一旦収まったとしても、旅行や人の動きについては、メンタル的な面で今後も自粛を続ける人が増えるとみられることから、年末から年始に掛けての感染者の増減にかかわらず、客の動きが鈍くなることを懸念している。今の状況は観光業にとって厳しいと言わざるを得ない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況によって売上が左右されるため、今後についてはどうなるか分からない。自助努力ではどうすることもできない状況にある。
		百貨店（売場主任）	・北海道知事による札幌市の外出自粛要請期間が、当初の11月27日までから12月11日までに延長されたこともあり、現状からの回復が見込めない状況にある。
		百貨店（営業販促担当）	・インフルエンザへの対策も含めて、来年の春先まで、客は外出に慎重になるとみられる。そのため、特に婦人服、スーツ関係は需要が落ち込むことになる。
		乗用車販売店（経営者）	・全車種併売という商品力強化の追い風もあり、11月の新車受注は前年実績を上回る水準で推移している。このため、当面は新車販売の好調な状況が続くことが期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・景気が若干回復しつつあったものの、新型コロナウイルスの感染状況が悪化してきていることから、客の来店が減ってきている。今後の販売動向にも影響が出てくることを懸念している。
	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大によって多分な影響が生じている。ワクチンや治療薬が実用化されない限り、先行きの景況感は流動的なまま推移する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・景気の先行きについて、今年に関しては新型コロナウイルスの感染状況による部分が大きいため、正直判断できない。業種的にも影響を直接受けるため、収束を願うのみである。ただ、感染拡大が収束したとしても、すぐに需要が完全回復するわけではないため、今年度は史上最悪の業績となる。
		旅行代理店（従業員）	・今のところ、Go To Travelキャンペーンは来年1月で終了する予定であるため、延長されない限り、2～3か月先も数えることができる程度の申込みにとどまるとみられる。そのため、今後の景気は現在と変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・今後2～3か月で景気は好転しない。年末年始後で買い控えのある時期でもあり、医療崩壊の心配が大きい状況からは致し方ない面がある。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まれば積極的な販売拡大を再開できるが、見通しが立たないため、しばらくは耐え忍ぶことになる。
		美容室（経営者）	・ここ3か月間、売上などに変化が余りみられない。年末年始に掛けて少しは良くなることを期待していたが、今の状況からはそれも期待できない。ただ、景気が悪くなるような様子もないため、今後の景気は変わらない。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなっているのかわからないため、先行きの見通しが全く立たない状況にある。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスに対する客の気持ちが一旦緩んでしまった後であるため、現在の状況を立て直すには多大な力が必要になる。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンが実用化されることを期待したいが、安心できる状況ではないため、今後の景気はやや悪くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・冬場は当面、現在の状況が続くとみられるため、景気が回復傾向となるのは春以降になる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響による景気悪化を肌で感じるようになってきたことから、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・Go To Travelキャンペーンにおける札幌市の対象除外、Go To Eatキャンペーンにおけるプレミアム付食事券の販売一時停止など、景気減退につながるような動きが出ていることから、年間最大の商戦となる年末年始について、前年並みの実績を期待することができない。店舗の近隣でも新型コロナウイルスの感染確認による学級閉鎖などが続いており、客が外出を控えている傾向が顕著にみられることから、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（企画担当）	・北海道、札幌の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、Go To Travelキャンペーンの対象除外、制限措置などによって、心理的な面で消費が落ち込むことになり、年末年始商戦にマイナスの影響を与えることが懸念される。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響により年明け以降、倒産、失業が増加することが懸念される。そのため、消費者の節約志向がますます強まることになる。食品は必需品であるため、より価格の安い店舗に客が流れることになる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後、地方にも新型コロナウイルスの影響が及んできそうなことから、今後の景気はやや悪くなる。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第の面があるため、今後の景気については流動的である。
		家電量販店（店員）	・今後、不要不急の外出自粛を要請されることや緊急事態宣言が出されることを懸念している。そうなると客足が鈍ってしまうため、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・地元の大きな工場の撤退が発表され、地元経済に多岐にわたって大きな影響を及ぼすことが見込まれる。他地域とは別の事情ではあるが、景気の悪化は避けられない。
		乗用車販売店（従業員）	・冬場に向かって市場が縮小する傾向があるため、今後の景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が落ち着くまで、客が外出する回数も減ることになるため、景気は悪いままで推移する。冬のボーナスが削減されている業界の話も聞くことから、客の購買意欲にも影響が出てくることが懸念される。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、カー用品店へ行こうとする客が増加することはない。現在のところ、必要品のみの購入が大半であり、不急の商材などの相談で来店する客が少ないため、今後の景気はやや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・雇用を含めて、景気が上向くことを見込めない限り、今後の景気は徐々に悪くなる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまで、景気は厳しいまま推移する。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスの第3波の影響で、今後の景気は低迷することになる。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者の急増、飲食店への営業自粛要請、Go To Travelキャンペーンの対象除外などの影響が大きく、今後しばらくは景気がやや悪くなる。地方のイベントなども、開催を不安視する主催者から中止の連絡が入っており、外販も減ってきている。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、札幌市がGo To Travelキャンペーンの対象から除外されたことなどから、北海道を訪れる観光客が再び減少するとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、11月21日からの3連休を終えてからGo To Travelキャンペーン利用客の客足が激減した。現在の感染拡大傾向が収まるまで、しばらく時間が掛かるとみられることから、今後については忍耐の冬となることが懸念される。
		美容室（経営者）	・最近、近くの学校や施設でクラスターが発生したこともあり、客の動きが鈍くなってきている。特にシルバー世代の動きが悪くなっていることから、今後、売上が減少することを懸念している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・来春まで輸送量の減少が続くとみられる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束に転じるか、ワクチンが実用化されるようになるまで、景気は悪化することになる。
	×	商店街（代表者）	・例年オフシーズンに向かう時期であり、今年は新型コロナウイルスの影響も見込まれることから、今後の景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないことから、当地では休業要請を含めた制限措置が発令された。年間で一番の稼ぎ時である12月にまたがっていることから、再起を期待していた飲食店は途方に暮れている。現状では12月中旬から年末に掛けての忘年会の予約もキャンセルばかりで、全くといっていいほど予約が入っていない。来年1月もキャンセルが続出しており、現状では新年会も壊滅的である。12月に最低ラインの売上を作れないと、年を越せない店舗が続出しそうな状況である。こうした状況は飲食店に限らず、クリスマス商戦を控えている一般店も同様の心配をしている。正月明けの状況がとてつもない。
	×	百貨店（役員）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が一層大きくなるとみられるため、今後の景気は悪くなる。
	×	スーパー（店長）	・悪化傾向が続いているため、今後の景気は悪くなる。
	×	スーパー（従業員）	・今後については、消費低迷と価格競争の激化による収益悪化が見込まれる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの特効薬などが開発されない限り、観光業などの景気回復は見込めない。
	×	コンビニ（エリア担当）	・周辺でリストラや転籍などが行われている事例がみられることから、今後、失業者が増えることが見込まれるため、景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（店長）	・当業界は国の景気対策とは無縁なことから、今後、一気に崩れていくことが懸念される。
	×	高級レストラン（経営者）	・例年であれば12月は書き入れ時であるが、新型コロナウイルスの感染拡大により、人が出歩く機会も減ることになるため、それも見込めない。これまで景気は少し上向いてきていたが、今後についてはますます悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、先行き不安がまん延していることから、今後の景気は悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、景気が上向くことは無理だとみている。今年は忘年会も期待できないため、12月中に閉める店もかなり多くなるのではないかと懸念している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型ホテル（経営者）	・現状、Go To Travelキャンペーンの対象から札幌を除外する措置が採られているが、北海道観光のエンジンである札幌が止まることで、既に全道レベルで宿泊予約のキャンセルが発生するなど、甚大な影響が生じている。これは地元の宿泊施設だけの問題ではなく、経済波及効果がなくなる地域経済への影響も大きく、地方経済崩壊の危機といえる。
	×	タクシー運転手	・これから年末の繁忙期を迎え、例年であればタクシーの利用が1年で最も多い時期となるが、今年は新型コロナウイルスの影響で忘年会がほとんど行われず、昼夜の人も激減していることから、大幅な減収となりそうだ。今後の景気はますます厳しくなる。
	×	タクシー運転手	・師走を目前にしての新型コロナウイルスの感染急拡大によって、今年の忘年会シーズンの人出は壊滅的な状況に陥る。年間で一番の売上を確保できる時期だからこそ、過大な影響が生じることになり、今後の景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・Go To Travelキャンペーンの対象から札幌市が除外されたことで、観光関係もイベント関係も予約すら入っていないひどい状況となっている。中心部での人の動きが当てにならない状況であることから、今後の景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、冬季を迎えて感染拡大が懸念される時期であることから、売上を堅持することは期待できない。
	×	タクシー運転手	・今の状況を見る限り、とても厳しい状況にある。景気が回復するまで、2～3か月、あるいはそれ以上の時間が掛かる。北海道全体における新型コロナウイルスの感染状況も拡大しつつあり、地元でも感染者が増えつつあることから、当業界の売上が伸びることは期待できず、厳しい状況に陥ることになる。
	×	タクシー運転手	・全国的に新型コロナウイルスの感染者が増えていることから、本来であれば1年で最も稼働の上向く年末年始の人の動きを期待できない。このままでは今後の事業継続を考えなければいけない状況にもなりえる。ワクチンのいち早い実用化が望まれる。
	×	観光名所（職員）	・Go To Travelキャンペーンの効果により、10月は国内旅行者を中心にやや回復傾向にあったが、インバウンド分が抜け落ちているため、全体的には厳しい状況が続いている。また、既に新型コロナウイルスの感染拡大がみられることから、本格的な冬を迎えて、今後の感染状況がどのようになるのかが心配である。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響により景気は悪くなっている。今後は新型コロナウイルス関連での倒産が増えることも懸念される。
企業 動向 関連 (北海道)		-	-
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染防止策としてリモート需要が盛り上がっていることに加えて、世界的にワクチン開発が予想以上に進展していることから、今後の景況感は改善傾向となる。
		食料品製造業（従業員）	・景気回復に寄与するとみられるような案件が特に見当たらないため、今後も景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・今後については、厳冬季に入ることから、工事の稼働率が低くなる。新規の受注も民間工事はまだ動かない。公共工事については3次補正予算やゼロ国債による公募が一部始まるとみられるが、まだ契約のみの段階となるため、実態的な動きは発生せず、マインド面での効果が僅かに生じる程度とみられる。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスの第3波到来により、経済活動の本格回復がますます遠のくことになる。次年度以降の受注見通しが立たない状況に変わりはない。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・社会インフラの再整備、災害対策建設投資などへのニーズが旺盛に推移していることから、今後も景気は変わらない。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・現状維持が続くとみられるが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、経済活動への影響が大きくなることが懸念されるため、今後の景況感については安心しきれない面がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がいまだみえないことから、今後は家具市場も全体的な景況感の影響を受けることが懸念される。現在の好調な状況が長続きするとは考えにくい。
		出版・印刷・同関連産業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が大きいと、今後の景気はやや悪くなる。
		金属製品製造業（従業員）	・北海道において新型コロナウイルスの感染者が増加していることから、今後、その影響が現れることになる。様々な業種の企業で業績が悪化するとみられることから、今は不安しかない。
		建設業（従業員）	・年度初めに新型コロナウイルスの影響で建設投資を1年先送りした企業が多くみられたが、一向に終息しない現状を受けて、更に先送りする事例が増えている。
		輸送業（支店長）	・11月以降、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることから、今後、その影響で景気はやや悪くなる。
		司法書士	・北海道の地方都市の地域性を考慮すると、例年1～3月は不動産取引や建物新築は低い水準で推移することになるが、今年は新型コロナウイルスの影響も加わるため、今後の景気はやや悪くなる。
		司法書士	・当地においては、Go To Travelキャンペーンの対象地域からの除外、Go To Eatキャンペーンにおけるプレミアム付食事券の販売一時停止、飲食店への時短営業要請などによる影響が大きく、既に忘年会の中止が相次ぐなどの影響が出ている。また、不要不急の外出の自粛要請などもあり、景気回復には程遠い状況にある。
		コピーサービス業（従業員）	・今後の景気は、少しずつではあるが、中長期的に緩やかに悪くなっていく。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・Go To Travelキャンペーンの効果が出始めた矢先に、新型コロナウイルスの第3波の影響で札幌市を対象にGo To Travelキャンペーンからの除外、飲食店の時短要請、接待を伴う飲食店への休業要請などが相次いだことで、景気回復に水を差す形となっている。また、民間設備投資の消極化、公共工事の財源確保などの不安材料も尽きないことから、今後の景気はやや悪くなる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、回復傾向にあった観光業界やその他の業種にも影響が及ぶことが懸念されるため、今後の景気はやや悪くなる。
	x	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、札幌市がGo To Travelキャンペーンの対象から除外されることとなり、道内景気の下支え役を喪失することとなった。消費行動や消費マインドへの悪影響も懸念されることから、道内景気は3か月前と比べて悪くなると見込まれる。
	x	広告代理店（従業員）	・コロナ禍の影響が続くなか、北海道の新型コロナウイルス感染者が急増していることで、景気が上向きような要素が全て消えてしまったことから、今後の景気は悪くなる。
	x	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・先行きについて、これまでの不透明な状況から、明らかに暗いというイメージに変わってきていることから、今後の景気は悪くなる。
雇用 関連 (北海道)		-	-
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で経済活動が停滞していることから、当地における新規求人数は前年比マイナス18.0%、月間有効求人数は前年比マイナス19.8%となっており、いずれも下降しているが、今後、経済活動が回復することで徐々に復調することになる。ただし、需要が低迷する一部の業種においては、不安定な状態が継続していることから、当面は現在の水準を上回る回復までは見込めない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・繁華街の落ち込みが顕著だが、地域の基幹産業である農業生産額が例年並みとなっていることから、全体的な景況感は今後も変わらないまま推移する。
		職業安定所（職員）	・有効求人数が前年を上回っていることに加えて、新型コロナウイルスの影響を受けている宿泊業、飲食業などに持ち直しの傾向がみられる。しかしながら、今後、感染拡大の影響が見込まれることから、景気は変わらないまま推移する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスについて、今後も第4～5波が到来することが十分に考えられるため、企業側が新卒採用に見切りをつけることが懸念される。一方、活動量が激減している学生側も、卒業までどこかで就職が決まれば十分といった雰囲気が見られる。これらのことから、今後については最悪の状況がしばらく続くことになる。
		人材派遣会社（社員）	・冬を迎えて、土木建設業の動きが止まることになる。百貨店、観光業界は、新型コロナウイルスの影響により、最大の稼ぎ時である年末年始の売上が見通せず、先行きに不安を抱える。冬は消費者の動きも散漫となるため、今後の景気の底上げは見込めない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当地で新型コロナウイルスのクラスターが発生したことから、クリスマス、忘年会、帰省、初売りといった年末年始ならではのイベントについて、軒並み自粛、縮小せざるを得ない状況となっている。また、大手スーパーが来年春に撤退することも発表されている。今後については、新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、今は厳しさしか感じない状況にある。
		職業安定所（職員）	・最近になり、新型コロナウイルス感染者の増加が顕著になってきていることから、今後数か月はその影響を受けることになる。特に観光産業や飲食店、それに付随する関連産業では、一定の制約を受けながら企業活動を行うことになるため、今後の景気はやや悪くなる。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響で、当面の間、観光業を中心に道内景気は冷え込むとみられる。景気が上向くような要素が見当たらない。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	・ウイルスに感染しやすい季節ということもあり、ワクチンや治療薬が普及しない限り、新型コロナウイルスの感染者が減ることはないと思われる。経済活動が上向くような兆しもないため、今後の景気は悪くなる。

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)		-	-
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響を受けた8月までは飲食店はテイクアウトを中心に強化していた。その効果が徐々に現れ、現状では客を取り戻しつつあり、テイクアウトでの新規客が少しずつ店にも来るようになってきている。今後に期待をしている。
		衣料品専門店（店長）	・前年は10月からの増税で我々の業態は10～11月は全く動かず、12月の始めから1月の中旬くらいまでにはほぼ前年並みに戻ったという状況があった。そこから新型コロナウイルスの話になってくる。この先、新型コロナウイルスの影響が一巡する辺りからは前年をかなり上回ってくるのではないかとみている。これ以上拡大しない限りは、経済は少しずつ平常時に戻り、少し上向いてくるのではないかとみている。
		家電量販店（店長）	・最近、来客数や販売単価が向上している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が投入されるので、ようやく新車の販売が増えるのではないかとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・今後は春に宣伝を自粛した分増やす予定なので、新規客が見込める。メーカー施策も多くなり、年末年始はこの地域の新型コロナウイルス感染者数が増加しない限り、実績は伸びるとみている。
		住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、今後2～3か月の受注量がたくさんあり納品をしなければならぬので、今月の販売量を上回る。
		住関連専門店（経営者）	・ネット販売の順調は続くとみている。
		競艇場（職員）	・年末年始はイベントが多いため自然と人が集まる。今の客単価を保ちつつ年末年始に突入すれば売上が見込めると予測している。
	住宅販売会社（経営者）	・相続物件の買取依頼が多く、計画的な不動産再販及び新築受注予定がある。	
	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・商品動向は引き続き変わらないとみている。販売企画の仕掛け、客とのコミュニケーション能力の更なる向上をはかり、来店頻度、客単価のアップを狙っていきたい。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・先が読めない。新型コロナウイルスの状況にもよるし、それに伴って商品の入荷状態もまだ見えてこないため、現状と変わらないのではないかとみている。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	・ここに来てまた新型コロナウイルス感染者が増加傾向にある。政府からの自粛勧告が聞こえるようになり、ようやく戻りつつあった状況がまたゼロかそれ以上のマイナスに向かっているのではないかと不安が大きい。感染者がそこまで多くない地方にとって、首都圏からの観光客を受け入れたいと思うと感染リスクの板挟みになっている。
		一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・一部の業種で新型コロナウイルスの悪影響が大きいと報じられる一方、株価の上昇など相反する動きがみられる。政府の対策もあり、一方的な動きにはなっていないようである。従来景気悪化がいわれたときも往々そのように経過をたどっている。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、当面大きな変動はないのではないかとみている。
		一般小売店〔寝具〕 (経営者)	・今現在仕立ての注文がないとそれに伴う売上のめどが立たず、厳しい年末になる。
		百貨店(売場主任)	・冬を迎えるにあたり、新型コロナウイルス以外にもインフルエンザ等の感染を警戒し、不要不急の外出や買物は控えることが予想され、当面現在の売上水準が続くものとみている。
		百貨店(営業担当)	・今後も来客数トレンドは現況と変わらないと考えられ、今と比べて大きな改善は見られないと予想している。
		百貨店(買付担当)	・シニア層が多いため、来客数は新型コロナウイルスの感染状況によって左右されるとみている。
		スーパー(店長)	・相変わらず来客数の微減が続いている。この状況はしばらく続くとみている。
		スーパー(店長)	・現在、Go To EATキャンペーンの食事券の販売をしている。現在の店の推移と、その現状を合わせていくと、それほど大きな数字の変化はないとみている。
		スーパー(企画担当)	・新型コロナウイルス感染症がまん延しているため、コロナ需要は続くと思われる。2～3か月後もコロナ需要があるので、小売業としては景気が良いところで継続していくとみている。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの影響がどれだけあるのか分からない。
		コンビニ(エリア担当)	・冬季期間での環境変化、消費動向が上向きとなる兆候は少なく、現状維持が見込まれる。
		衣料品専門店(店長)	・現状では消費者の購入マインドが上がるとは考えにくい。土日祝日、イベントなどで集客の山が小さく分散されつつあり、この消費者動向の変化にどれだけ対応できるかが小売側に問われている状況である。
		乗用車販売店(従業員)	・新車は新型コロナウイルス感染者が増加する前の受注があるので、3月くらいまでは特に問題はないとみている。また、サービス部門は車の法定点検の対象台数がある程度あるので、それなりに収益を上げることは可能である。しかし、来期が心配である。
		その他専門店〔靴〕 (従業員)	・新型コロナウイルスの終息が見通せない状況なので何とも言えないが、コロナ禍以前の状況に戻るのには時間が掛かるとみている。インフルエンザとの同時流行も心配である。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	・たとえ新型コロナウイルスの感染が収まったとしても急激な消費拡大はない。また、新型コロナウイルスで経済が回らなくなれば、深刻なことになるところがいっぱい出てくる。不安な状況は変わらない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・Go Toキャンペーンにより消費が活発化してきたが、東京や北海道での事態を受けて身の回りでも警戒が強まるのではないかとみている。
		一般レストラン(経営者)	・来年の予約もほとんどなく、これまで例年あった団体の予約もないため、レストラン業としては大変厳しい状況が続いていく。どこまで持ちこたえられるかという状態である。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスが終息するまでは良い状態にはならない。良くなってきたと思った矢先の第3波で、それによるキャンセルも相次いでいるため、今後も良くならないのではないかと予想している。
		観光型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルス感染症の拡大が都市部で出ているため、この先は不安である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型旅館（経営者）	・月末になって新型コロナウイルス感染者が増えてきており、どのように変化していくのか読めない。営業自粛要請が出れば別だが、今よりは少し落ち着いた感じで推移していくのではと推測する。
		タクシー運転手	・観光地には人が多く、一見にぎわっているかのようにみえるが、来ている年代をみると20～30代が9割を占めている。この先、この若い方々がタクシーを利用することは考えにくい。
		通信会社（営業担当）	・好転するような材料に乏しく、余り良くない現状が継続するとみている。
		通信会社（営業担当）	・新規のサービスエリアに対し大規模な加入促進キャンペーンの展開を予定しているため、新たな客の掘り起こしが期待できる。一方で高齢者や引越しによる解約者も若干増えるため、純増数では現状と余り変化ないと予想される。ただ、在宅時間は増えているので新規客の上積みも期待できる。
		テーマパーク（職員）	・客はクーポンでお得に宿泊、買物をしているが、クーポンがなければコロナ禍の始まりと同じになってしまうのではないかとみている。むしろ景気が回復するのか不安である。
		遊園地（経営者）	・これからシーズンオフに向かうが、新型コロナウイルスの感染状況やボーナス減少の懸念があることから、不透明な状況が続く。
		美容室（経営者）	・例年でいえば毎月には来ない客も暮れには来る。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が勢いを増しているため、来店サイクルが長くなることはあっても短くなることはなく、現在の再来店率が前年の約9割といった状況がしばらく続くのではないかとみている。
		設計事務所（経営者）	・コロナ禍ではあるが、契約や引渡しに向けて予定どおりに進んでいる。一部現場で新型コロナウイルス感染者が出ているが、大勢に影響しない範囲で対応できている。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	・リフォームの屋外工事は減り、住宅設備器具の暖房設備の交換、購入は増えることが予想される。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染者が増加傾向であることから、年末年始商戦に大きな影響を与える。Go Toキャンペーンの施策に反して景気はやや悪くなる見通しである。
		商店街（代表者）	・冬に向けて新型コロナウイルス感染症の第3波の影響が不安材料である。
		百貨店（経営者）	・更に気温が低下し、新型コロナウイルスへの防衛意識は強まり、更に来客数は落ち込むと予測している。初売りの集客も分散化しており、消費意欲が今よりも高まることは考えにくい。ただ、株価も安定しており、高額商品の動きには期待している。
		スーパー（経営者）	・消費環境改善の話も聞かれない。新型コロナウイルス感染者の増加で、観光客の減少が続く、土産物関係、テナントや近隣飲食店の売上が激減している。また、酒蔵各社でも減収などで各社雇用維持も限界にきていると聞く。農家も米の減収で所得が減っているとのこと。主要客の懐はかなり厳しい状態で、消費環境は一層厳しさを増してくるのではないかと危惧している。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの第3波で年末の帰省客の動向が鈍くなるとみている。
		スーパー（店長）	・冬のボーナス減少、全体的な経済の冷え込みが予見されているなかでは、食品小売業界が現状良いとはいえ楽観視はできない。
		スーパー（営業担当）	・当県でも新型コロナウイルス感染者が増加傾向にある。年末年始の帰省の減少や経済的なダメージを受け、年末年始の消費が減少するのではないかとみている。
		スーパー（営業担当）	・Go To EATキャンペーンで食事券の販売が開始されたが、予測以上に需要が高い。外食の利用率は高まってきているのではないかと考えるが、新型コロナウイルス感染の広がりによっては、自粛が強まり、経済の動きが止まってしまうことが懸念される。
		コンビニ（経営者）	・今月は若干来客数が戻り始め、売上も連れて若干アップしている。しかし、新型コロナウイルス感染症の第3波の影響でGo To Travelキャンペーンが一部ストップし、入出の制限が掛かるとすれば売上アップは見込めそうにない。現時点では再度のダウンの可能性もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・このままでいくと、このコロナ禍で変わらないか下がっていく。まず新型コロナウイルス感染が収束しない限りは行楽も何もないので、そういった意味では危機感を持っている。
		コンビニ（経営者）	・県内の新型コロナウイルス感染者が増えてきており、先行きが不透明である。飲食業の営業時間短縮要請が出れば、また夕夜間の来客数が減少し厳しくなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者の増加に歯止めが掛からず、季節要因と重なり更に厳しい経営状況が予想される。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大による自粛により、年末年始の消費が落ち込むと予測している。
		衣料品専門店（経営者）	・個人客の来店が激減しているため、お歳暮商戦は法人関係へのDM配布や訪問で販路拡大に努め、懸命にマスクや新型コロナウイルス対策関連商品の売り込みを行っている。
		衣料品専門店（経営者）	・閑散期ということもあるが、不要不急の外出を控える方がもっと増え、来店数に影響が出ると予測する。
		衣料品専門店（総務担当）	・冬のボーナスの支給なし又は減額の話が聞く状況で、景気が上向きになるとは考えにくい。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で景気が徐々に悪くなるのではないかと考えている。客の買物動向もテレビなど一部売上の良いものもあるが、全体的には客単価が下がってきている傾向にある。
		家電量販店（従業員）	・コロナ禍の影響で空気清浄機、加湿器が売れている状況の反動減が、2～3か月のうちに出てくるのではないかと心配がある。
		乗用車販売店（本部）	・受注好調な新型車の納期がひっ迫してきた。納車までの時間が掛かりすぎるため、購入自体を取りやめる客も出ている。現状、新型車に依存した収益構造のため、先行きは不透明である。
		住関連専門店（経営者）	・今年の年末年始は通常よりかなり経済的に落ち込むことが予想される。また、2月は例年景気が悪いので、今月の売上等を維持するのは難しいとみている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大が進み、年末年始の移動需要等は期待できず、これまで以上の販売量の減少が想定される。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況がかなり深刻化しており、その影響が経済活動にも出てくるのが予想される。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増え、かつ、Go To Travelキャンペーンの期間延長の有無が不透明なため、新規の旅行需要が伸びない可能性が高い。
		旅行代理店（従業員）	・元々が旅行先代替地であった大阪市、札幌市のGo To Travelキャンペーン一時除外が決定したことにより、旅行自体の中止、更なる延期などが予想され、悪くなるとみている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス第3波の影響が出てくる。
		通信会社（営業担当）	・当面、新型コロナウイルスの影響で営業活動が制限される状況が続く。
		観光名所（職員）	・直近の政府の動きにより、Go Toキャンペーンも雲行きが怪しくなってきたり、新型コロナウイルス感染者数が増えるに従い予約も徐々にキャンセルが入っている。これからは少し下向きになるのではないかと心配をしているところである。
		美容室（経営者）	・段々と歳を取っていく客ばかりで新しい客が来ない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波、Go Toキャンペーンの中止や制限で、この冬はかなり厳しくなるとみている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の拡大によって、来客数が極端に減っている。12月の予約も全くないという状況になるおそれがある。
	×	商店街（代表者）	・年末の売上の低下が著しい。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・冬のイベントや初売りなどが予定されているが、客の話だとクラスターを恐れている人は出歩かないだろうということであり、非常に寂しい状態が続くとみられる。前年からみたらそれだけでなく来客数が減少しているのに、ますます悪くなるということが現在の状況から想像できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波がどのように落ち着くか。また、冬場に第4波等々の懸念があり、コロナ不況、将来不安により、財布のひもが固くなる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が増えてきて来客数が伸びないので、これからどんどん悪くなるとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・冬期間は売上が下がり光熱費が上がる。除雪費も大きな負担となり毎年厳しい。今年は更に新型コロナウイルスの影響で売上前年比が大きく下がり続けている。冬を越すことができるだろうか。力尽きるオーナーたちもたくさん出てくるのではないだろうか。今年の冬がコンビニを始めて1番の地獄になる。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加し、自粛規制の強化により人の動きが悪くなると予測される。人の動きがないと商売としてマイナスになることは間違いない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染者拡大により、市内の年末商戦は惨敗が濃厚である。よって、我々コンビニにも悪い影響が流れてくる。また、多くの企業でボーナスもかなり減るといったことを聞くので、年末年始から2月までは非常に悪くなるのではないかとみている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・冬物も終わりの時期になるため、売上も厳しくなると予想される。
	×	衣料品専門店（店長）	・冬に入り、当県でもクラスターが継続的に発生している。自粛が強化されると防寒着、フォーマル等の売行きに影響が出る。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が多くなり、Go Toキャンペーン関連も落ち込むことが予想される。いずれにしても飲食店で感染者が出ないようにすることが最優先なので、何とか耐えられるような方策を立てるしかないと考えている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・冬期間は閑散期になるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響は春頃まで継続すると予想している。
	×	高級レストラン（経営者）	・11月中旬過ぎから第3波が始まっているので、これが収束するのは1月終わりくらいとみている。良くなる要素はない。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・メディアでの新型コロナウイルス報道のため、来店がますます見込めない。クリスマスは前年の5割程度と見込んでいる。12月から2～3月までは客数の更なる低調が続くとみられる。
	×	高級レストラン（支配人）	・新型コロナウイルスの第3波が地方にまできたので、利用控えが大分増えている。クリスマス、年末商材等はまだ予約は少ないが、テイクアウト商品は前年に比べて受注が倍くらいになっている。
	×	一般レストラン（経営者）	・11月の中旬から12月の予約が入るが、新型コロナウイルスの影響で団体客の宴会が入ってこない状況である。例年と比べたら12月は余り期待できず、悪くなるとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が出ると外食や買物に出てこなくなる傾向が続くのではないかと。ワクチンができて人々が安心感を持てるのは先のため、当分経済は悪化するとみている。
	×	観光型ホテル（経営者）	・今後の景気が良くなるか悪くなるかは新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現在の状況では悪くなる確率が高いとみている。
	×	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染の拡大により、旅行、忘年会などを自粛する企業や官庁関係が多い。新規の申込みも減少傾向にある。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染が更に拡大し、Go To Travelキャンペーンの制限措置も加わり、制限エリアに関係なく旅行需要が落ち込むことを懸念している。実際に12～3月までの第4四半期において、延期となっていた修学旅行の中止が発生している。
	×	タクシー運転手	・これからの季節、新型コロナウイルスの感染拡大が心配である。人の活動の制限が入ってくるので、我々の仕事にとっても大きな影響が出てくる。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で年末年始の消費動向が低迷し、景気は悪くなるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	通信会社（営業担当）	・全国的に新型コロナウイルスの第3波が発生しており、本格的な冬を迎え、感染者がますます増加することが予想される。再度の緊急事態宣言が発出されれば、従来にないくらいの景気悪化が予想される。
	×	通信会社（営業担当）	・携帯業界の乗換え制度等見直しなどの検討で、自社にプラス方向に作用することは考えられない。
	×	観光名所（職員）	・冬の感冒に対しての危機感から更に出控えが加速することが予想される。忘年会、新年会等の開催は全て中止となり、明るい話題も見つからない。
企業 動向 関連 (東北)		金属製品製造業（経営者）	・カメラメーカーの増産予定による受注が見込まれる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の受注は安定している。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響は確かに出ているが、この状況がしばらく続くと覚悟を決めている企業が多く見受けられる。投資をしないで様子を見ている企業もあるのだから、設備に関する相談を受けるケースも増えてきているので期待している。
		その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスによる先行き不安は薄れてきており、状況は良くなるのではないかとみている。
		農林水産業（従業者）	・天候にも恵まれ、りんごの品質が今までになく良かったので、前年並みの販売単価を期待している。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大で、年末の帰省に影響が出ないか心配している。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束しないと、景気の好転もないとみている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチン等の接種がない限り改善には向かわない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で大きく向上することはないが、現在の状況はほぼキープするとみている。
		建設業（従業員）	・2～3か月先に新型コロナウイルスの影響がどう波及しているかが読めないため、現時点では判断できない。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスによる客の消極的な反応はしばらく続くと思われる。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の第3波により、購入に慎重な方が増えてきている。ただ、受注量は前年とほぼ変わらない予定である。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況が落ち着くまでは厳しい状況が続く見込みである。
		金融業（広報担当）	・当地域では新型コロナウイルス感染症が間を置いて発生している。政府及び地方公共団体主導の新型コロナウイルス対応がどの程度影響するか次第だが、現状では年末年始に向けた個人消費は例年水準ではないにしろ相応に期待できる。
		広告業協会（役員）	・真冬に感染がどうなるか検討も付かず、販促キャンペーンやイベントを企画するも、実施できるのか半信半疑の状態である。現時点で2～3か月後の状況を語るのは難しい。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・スーパーマーケットに年末需要はあるが、今年は新型コロナウイルスへの懸念から、来店回数を加減したいという客の声もあり、気に掛かる。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件等微増であるが、同業他社との価格競争が依然として厳しく、なかなか受注にこぎつけない状況である。さらに、納期が非常に短く厳しい。
		農林水産業（従業者）	・米の在庫増により、米価の下落基調が今後も続くと思われる。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の第3波到来の影響がこれから出てくるとみている。また、東北地方は通常1～2月は観光オフシーズンに入ることから、Go Toキャンペーンが継続されるとしても利用者がそれほど増えるとは思えない。
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・先行きの受注の状況は悪い。年末年始のチラシの量は、新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと前年比20～30%の落ち込みとなりそうで、景気は更に悪くなりそうである。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の第3波により、再度のロックダウンを余儀なくされる可能性がある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンや特効薬が開発されない限り、景気状況が劇的に回復することはないと推察する。国が推進している各種のGo Toキャンペーンは、景気のコト入れに寄与していると考え、冬場を迎え新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあることを踏まえると、この先の景気は現状よりやや悪くなるとみている。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響が年末から年明け早々にかけて出るのはないか。やはりワクチンを接種できる状況にならないと景気の回復が安定しない。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第3波がきているようなので、悪くなると見込んでいる。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染症の第3波の到来が景気を失速させる可能性が高くなっている。
		司法書士	・新型コロナウイルスの影響による住宅購入希望者の収入減少に伴い、住宅ローンの審査が通らない事例が増加したと聞く。不動産取引自体の減少傾向が継続している。
		公認会計士	・小売や飲食関係のサービス業は、Go Toキャンペーンなどで売上が一時的には下げ止まるであろうが、コロナ禍前の状態に戻るのには厳しい。建設関係も同じく状況は厳しい。したがって、全体的には景気は悪化すると予想される。
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による外出控えで、業務用を中心とした数字が落ち込むとみている。
	x	窯業・土石製品製造業（役員）	・官民需要の減少に加え、新型コロナウイルス感染が更に拡大しつつあり、多様な業種に影響が出ている。
雇用 関連 (東北)		-	-
		*	*
		人材派遣会社（社員）	・取引先である100名規模のコールセンターから3月末での閉鎖を告知された。政府のコストダウン要請やAI自動化へのシフトなど急速な再編を推進するようである。3月は若干派遣社員の異動が予想される。
		人材派遣会社（社員）	・3か月前と比べると雇用の意識は高くなっている。しかし、この先は、建設業界では新しい物件が余り出てこない、専門商社では小売店の業績が回復する見込みがないなどにより、今よりも悪化することはないが上向く様子もみえる。
		人材派遣会社（社員）	・求人数、求職者数共に増加傾向にある。特に求職者に関してはコロナ禍で転職市場に出てきやすい販売、接客系の経験者の方が増えている。一方で、採用する企業側は即戦力採用に伴う募集が増えたことから採用要件が高くなっており、その両者をつなぐマッチングがどの程度進むのかは不明瞭な部分がある。
		人材派遣会社（社員）	・求人数も、求職者数も景気の先行きが安定しないと大きな変化は見えない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスワクチンの普及状態にもよるが、先行きの不透明感は相当期間続く印象をもっている。
		職業安定所（職員）	・業種により差はあるが、求人数は持ち直しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大で求人者からは再び警戒感が出ており、先行きは不透明である。現在の雇用は、雇用調整助成金の特例措置が再び延長となり、当面は維持されそうである。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染の影響がどの程度出てくるのかみえないことから、良くなるとも悪くなるとも難しい状況である。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例が12月末で終了する。
		職業安定所（職員）	・新規求人数に回復の兆しが出てきたが、周辺の事業所に大きな動きが見られないため、今後しばらくは現在と同様の状況で推移していくものとみている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、派遣活用に対する様子見傾向が出始めている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の第3波の影響で景気が停滞する。
	アウトソーシング企業（社員）	・現在また新型コロナウイルスが猛威を振るい始めているため不安である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・年末から初売りに掛けて社運を賭ける商業界だが、2月以降は手立てがみえない状況との声が地元経営者からは聞こえてきている。加えて、雇用調整助成金の特例措置の延長は2月末までという予測もあり、厳しさは増してくるものとみられる。
		職業安定所(職員)	・体力のない中小零細企業がコロナ禍により決算期に倒産することが懸念される。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の第3波がきて、景気は鈍化し始めている。
	x	人材派遣会社(社員)	・3月以降、改善傾向にならないため、2~3か月後も改善しているとは思えない。

3. 北関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ(経営者)	・これから更にイベントが多くなるので、一層売上が良くなる。
		コンビニ(経営者)	・店の出入口の前面道路工事が終了近くなり、大型クレーン車等の出入りや車の停止等が少なくなったため、売上改善傾向がみられる。工事は来年3月まで続く予定だが、店への車の進入はしやすくなる。道路工事は3年先まで続くので、多少影響は残る。また、新型コロナウイルス感染拡大第3波も気掛かりで、リモート勤務が増えているため、工場勤務の客はなかなか戻ってこないと考えている。
		家電量販店(店長)	・東京オリンピックの動向は気になるが、テレビや冬物家電に期待している。
		家電量販店(店員)	・新型コロナウイルスのコロナ禍で旅行が本格的に再開されないままなら、巣籠り需要は継続しそうである。
		競輪場(職員)	・特別競輪の売上が、目標額を上回るようになってきている。
		住宅販売会社(経営者)	・新型コロナウイルスが落ち着き、ボーナスも支給されれば、客の動きも良くなる。
		商店街(代表者)	・Go Toキャンペーンは観光地だけの利益還元で、地元商店街の活性化は図られないため、景気は良くならない。
		一般小売店〔精肉〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチンが早く手に入るような良いニュースが聞こえてきている。時間が経過すれば良くなると期待しているが、まだしばらくは駄目だろうとみている。
		百貨店(営業担当)	・年末商戦や初商を控えているが、新型コロナウイルスの感染者数が拡大している状況下では、景況が急速に回復する見込みはない。不要不急の外出や消費を控える傾向はしばらく続く。
		スーパー(商品部担当)	・新型コロナウイルスでコロナ禍が続く限り、大きな変化はないと感じている。地域クーポンやGo To事業など活性化傾向はあるが、来客数減少、客単価増加の売上推移には変化がないとみている。
		衣料品専門店(統括)	・現在の新型コロナウイルスに対する不安は、まだしばらくは続く。客もこうした不安があるせいか、買物を大分控えている。現状、マスクは売れているが、単価も低く、売上増につながるとは余りない。
		家電量販店(営業担当)	・働き方が変化し、依然として家電製品は好調に推移している。パソコン関連商材、調理家電が、特に好調である。また、新型のゲーム機が発売され、来客数が前年比130%で推移している。12月は旅行の動きが厳しいため、その分、大型テレビ、レコーダー等に期待している。
		乗用車販売店(経営者)	・地域の自動車業界は、新車、中古車の販売台数が微増し、売上もほぼ横ばいである。逆に、車検等の整備売上が微減なのがつらいところである。
	乗用車販売店(販売担当)	・自動車販売は20日を過ぎてから少し落ち着いてきている。組合の皆とも話をしたが、どこも同じ状況のようなので、このまま変わらないのではないかと心配である。	
	乗用車販売店(販売担当)	・2~3か月で新型コロナウイルスが落ち着くということは恐らくあり得ない。前月、今月はGo To EatやGo To Travelキャンペーンで、当観光地は潤っているが、患者数が増えると、また2~3か月前と同じような悪い状態に戻ってしまうのではないかと心配である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（仕入担当）	・消耗品は節約志向が表れているが、新型コロナウイルス感染防止にかかわる消費や、アウトドアブームは継続しているため、マイナスとプラスのカテゴリーが明確に分かれている。足元の感染状況を見ると、先行きは全く不透明である。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が2～3か月で収まるとは思えない。幸い、近隣で新規感染者数が増えていないことから、現状と同様、様子を見ながらの来客数になると予想している。
		一般レストラン（経営者）	・マスク会食や1時間程度で終わりにする会食等、新型コロナウイルス対策を気にしながら外食するくらいなら、しばらくは外食せず、落ち着くまで待つという雰囲気になっている。新型コロナウイルスの感染者数が落ち着くまで、厳しい状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・冬になって、新型コロナウイルス、インフルエンザ等、様々な感染症が流行する時期になるので、どうなるかが心配である。
		都市型ホテル（営業担当）	・今のところ、新型コロナウイルスの感染拡大が収まる心配がない。2～3か月では悪い状況は根本的には変わらないと感じている。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は、一段落したと思われる。
		通信会社（営業担当）	・業種によって明暗が分かれるが、現況と大きく変化はないとみている。
		通信会社（総務担当）	・新機種の供給が追い付くまで、3か月以上掛かりそうのため、変わらない。
		通信会社（局長）	・Go To Eatが一時販売停止になったり、良くなりかけてもすぐに後退することが続いているので、現状のまま推移するのではないかと。
		美容室（経営者）	・県の補助金支援制度を活用してオゾンによる空間除菌の機器を店に設置した。施術する側もされる側も、新型コロナウイルスのストレス解消に一役買っている。
		住宅販売会社（経営者）	・今、引き合いが来ている店舗等の話がうまく進んで契約できれば、少しは良くなるという感じがする。ただ、現実には全く変わらず、悪い状況のままである。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染がますます増えている状況で、感染状況が大分静かになるか、若しくは効き目のあるワクチンを皆が打てるようになるかで、売上は変わる。当店の場合、大きな取引先は結婚式場やホテル等がほとんどなので、かなり響いている。
		百貨店（営業担当）	・今後3か月は、新型コロナウイルスの感染に加え、インフルエンザとのダブル感染も懸念され、来客数は期待できない。また、食料品等の必要最低限の買物しかしていない客の行動も目立っている。
		百貨店（営業担当）	・今後、新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響が出てくると、全体の消費行動が更に悪化することが懸念材料として挙げられる。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が予想されるため、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言の発令があるかもしれないし、自粛期間が延びることもあり得るので、来客数は今より更に減ると思う。新型コロナウイルスのコロナ禍が進むと、いろいろな企業の経営も悪化し、客1人1人の収入も減るため、コンビニ業界も悪化するのではないかと予想している。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者がまた増えてきたので、年末年始は出かける人が少なくなるのではないかと。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の動向や影響が、最大の問題である。また、じわじわと影響してきているのが、大手メーカーの在庫増加や新作の製作が進んでいないために、客の厳しい商品選びにますます対応できなくなりそうなことである。先行発注商材のメーカー直送も発生している。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残は伸びておらず、前年比で減少傾向になっている。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・毎年この時期は、忘新年会の予約である程度は埋まってくるのに、現時点での予約がほぼ皆無である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルス感染者数が増加しており、今後のイベントや宴会需要が見込めないことから、当面は厳しい状況が続く。出店等の案件は出ているので、先を見越しての投資に思い切れるようであれば、出店のチャンスといえるかもしれない。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染者がこのまま増加すれば、ロックダウンも含めて、日本経済に打撃を与えかねない。その可能性もぬぐえないので、やや悪くなるとしている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波で、宴会場利用の予約はキャンセルが出始めている。宿泊稼働率は約70～80%で、レストランのランチ利用も前年並みの約90%と、回復の兆しが見える。一方、夜のグループ、団体利用は全く戻ってこない。Go To事業の停止や感染拡大第3波など、漠然とした不安感による自粛ムードが続くと厳しい。
		都市型ホテル（副支配人）	・宿泊は元々1～2月は閑散月だが、現状、新型コロナウイルス感染者数が連日過去最高を記録するなど、間違いなく予約に影響が出てきている。料飲部門は残念ながら、宴会予約が全く動かず、いつまでこの状況が続くのか不安ばかりが募る。
		旅行代理店（所長）	・やはり、ここ数日の新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、見逃すことはできない。一部Go Toの停止も決まっており、感染の拡大は是が非でも避けたいところである。
		テーマパーク（職員）	・Go To Travelの恩恵で増加傾向だったが、新型コロナウイルスの感染拡大第3波の影響で、来園者数が横ばいから減少傾向になりつつある。
		ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者がまた増えてきて第3波となっているので、先行きは悪くなる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・年末年始の売上は期待できない。新型コロナウイルスのワクチンができるまで、我慢の経営しかない。
		設計事務所（所長）	・今年に関しては、従来の年末年始の消費が低下することが予想される。新型コロナウイルスの感染状況が収まらないことには景気回復に向かわないのではないかと。
		設計事務所（所長）	・今後の新型コロナウイルス感染の拡大状況によっては、景気の落ち込みが懸念される。今期は乗り越えられても来期はどうか、といったところである。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、個人店並びに中小規模事業者、飲食店等は大打撃を受けている。それなのに、国会議員は給料が下がらないというのは、どういうことなのか。国民が一番つらいときに、国会議員がのん気にしている状況はあり得ない。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・現時点では、2～3か月後にGo To Travel事業は終了となる。また、インフルエンザと新型コロナウイルスの流行状況も不安材料ではある。こうしたことから、当社のような観光業は、消費の下支えをしていたGo To Travel宿泊補助金や地域共通クーポンが使えなくなると、現在より格段に景気が悪くなる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響がどうなるかは、今後の感染状況次第で、結果は多少変わる。今月下旬に市役所が店のすぐ近くから移転した影響が甚大で、この影響はずっと続くので厳しい。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・安全安心の経済活動や外出をできるような環境を整えない限りは、今の状態のまま、どんどん悪くなっていく。このままでは、店が存続していけない状況になる。
	×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大第3波が収束しないため、年末年始の繁忙期は、例年よりも大幅に売上が落ちることが予想される。
	×	スナック（経営者）	・例年であれば今くらいには、年末年始の予約がたくさん入っているが、それがまだ一切入っていない。この先の景気は悪くなる。
	×	都市型ホテル（経営者）	・Go To Travel、Go To Eatの迷走や、新型コロナウイルスの感染状況の悪化で悪くなる。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が一層増加すると考えられるため、悪くなる。
	×	旅行代理店（従業員）	・2～3年後が不安である。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収束しなければ、悪い状態は、まだまだ続く。
	×	タクシー（経営者）	・昼も夜も人の動きが悪いので、この先も悪い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	タクシー（役員）	・新型コロナウイルスの影響と国の政策の程度が低いと、悪くなる。
	x	通信会社（経営者）	・今回の新型コロナウイルス感染拡大第3波は、誰が考えてもGo To事業が原因であることは分かる。同等の感染率圏内でのキャンペーンとかにしていれば、もう少し違った結果になっていたのではないかと。結果、経済も救えておらず、感染も抑えられていない。国の財源を浪費するだけにならないことを祈るだけである。この先3か月も厳しい期間になる。
	x	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンができたとしても、そう簡単に、この大きな打撃が改善されるとは見込めない。
	x	ゴルフ練習場（経営者）	・外出自粛が当分続くため。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		金属製品製造業（経営者）	・今月より良くなるように、社員一同努力している。その成果が出そうである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規量産アイテムの前倒し生産要請もあり、部署によっては休日出勤等で増産対応が必要が出てきている。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどうなるか不安だが、いろいろと工夫して、前年並みで乗り越えられるのではないかと。
		化学工業（経営者）	・前年並みに戻った現状を維持するのが精一杯と考えているので、変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・落ち込みもなく稼働している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先のほぼ全てが悪い状況で、今後2～3か月先に良くなると思えない。この状況がしばらく続く。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはまた、新型コロナウイルスの影響が続く。
		建設業（開発担当）	・今期発注額は前年比30%増となっているが、これは自然災害による復旧工事によるものである。10年来の建設業不況で企業数が減り、受注したくても人員不足で思うように受注できない。また、新型コロナウイルスによるコロナ禍の問題で、経営の先読みは大変難しい状況が続いている。
		輸送業（営業担当）	・今後は冬物衣料や暖房器具などの輸送や年末年始に向かい寝具、初売り用の家電、特に、白物家電や高額掃除機などの輸送が、前年並みに確保できる予定である。
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン開発の話がいろいろと出てきているが、一部でクラスターが発生したりしている。回復基調だろうが、かなり弱いのではないかと。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段の変化はみられない。
		金属製品製造業（経営者）	・例年、11～12月と比べて1～3月は売上が悪い。ただし、このところ、見積依頼が多いので、やや悪い程度かもしれない。
		建設業（総務担当）	・先が見通せない。
		不動産業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、今後も中止や延期になる業務が出てくる可能性がある。その上、テナント各社の事業見直しで退去等の話も少し出始めているため、やや落ち込みそうである。
		広告代理店（営業担当）	・年末年始の大きな商戦のなかで、人の動きがこれ以上止まるとなると、経済への打撃は相当大きい。
		経営コンサルタント	・最近、新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、先行きの見通しが立たなくなっている。飲食店や人的対面が必要な業態は、来客数次第なので、大きな不安が生じている。今後も引き続き、廃業者が増える。
		司法書士	・全体的にはやや悪くなると思うが、仲間の製造業の経営者等をみると、以前よりは仕事が戻ってきているようである。特に、車関係は回復してきている感があり、これから少しずつ戻っていくような感触がある。
	x	電気機械器具製造業（経営者）	・住宅関連の仕事が激減している。新型コロナウイルスの影響で病院が赤字になり機械の購入が減っているため、医療関係も落ちている。かなり厳しい状況が今後も続く。
	x	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先が、「新型コロナウイルスの影響で新規受注が悪化している」と話している。
雇用		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (北関東)		人材派遣会社（経営者）	・これから年末年始に向けての商材が、多少目立って伸びていくと思われる。衣料品や食料品関係は、ほぼ横ばい状態で推移していくとみている。衣料品もだが、電子や機械関係、自動車部品等の生産における部品の調達急がれる。これらの需要、受注が増えていくと思うので、やや明るくなるかと思われる。
		人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品関連の派遣、請負事業で、生産計画が現状より増産されるため、やや良くなる。
		人材派遣会社（経営者）	・特別忙しいということもないと思うが、新型コロナウイルス次第なので、どうなるかわからない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、業績回復による増員は当面見込めず、現状同様に退職者の補充や休職者の代替要員としての募集にとどまる状況が続くのではないかと。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いており、改善が見込めない状況である。製造業では受注減少の影響により、新規で求人募集するまでには至っていない状況である。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が不透明なことから、現状の人数で対応し、新規募集までには至らない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、しばらくは様子見の経済活動になっていく。
		*	*
	x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響で、飲食店を始めとするサービス業からの広告キャンセルが相次いでいる。

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		乗用車販売店（店長）	・新車の需要も増えているので、当分好調のまま推移する。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・Go To Eventキャンペーンで東京が除外されたら、少し上向きつつある状態がまた戻るかもしれない。それ次第である（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスと共生するライフスタイルが進行する。株価が高い水準で維持される。年末年始を挟むため、海外に出掛けない分、国内需要が高まることが予測される（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・経験値により、新型コロナウイルスの感染予防と、経済の活性化や消費行動とのバランスが取れるようになってきている。
		スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響は、食品を中心に今後続く。
		タクシー運転手	・年末で人の動きは出てくると思うが、新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、このままの流れで変わらない。なかなか厳しい（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・他社と同じサービスで、価格が安い商品を提供すれば、乗換えは進むと感じている。賃貸の集合住宅における入居タイミングでのインターネット回線の選定も同様で、安価で質の良いサービスを提供している会社については、ビジネスチャンスが増える。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス感染症はまだまだ収束しそうにない。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの影響があっても、一定数の余暇を楽しむ層がいる。また、会員サービス等で固定したファンサービスを強化し、顧客管理をしながら満足度を上げる策を実行し始めている。
		住宅販売会社（従業員）	・例年行う新春キャンペーン展開や新型コロナウイルス対策での年末年始の休暇分散や日数増加により、来場者数、商談数が増加し、それに伴って販売量の増大も見込めるのではないかと。
		住宅販売会社（従業員）	・資料の請求が増えている。
	住宅販売会社（従業員）	・建設、不動産分野は、心配していたほど新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていないことがはっきりしてきたように感じる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・回復傾向にはあるものの、その波はまだまだ弱いように感じている。来客数も少なく、売上も弱含みである。早く新型コロナウイルスが収まってくればいいのだが、この数日また少しずつ感染者数が増えてきており、非常に不安を持っている。早くワクチンが開発され、それを打つことによって、新型コロナウイルス感染が下火になってくれることを願っている。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・いろいろな仕事を受けて売っているからか、それなりに動いているが、商品供給が余り良くないので心配である。暮れに向かってテレビの不足が気掛かりである。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスが、収束とはいかないまでも、何とか落ち着いてもらいたいと期待している。経済がひっ迫しているので、早く改善すると良い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続く（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・年末商戦が始まるが、底辺に近い現時点では急激な上昇は見込めない。
		一般小売店〔生花〕（店員）	・毎年12月は来客数が増えるが、1～2月は少ない。11月もそれほど売れなかったため、引き続き余り良くない状態が続くのではないかと（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・当地域は、今まで東京に勤めに出ていた人が多かったのだが、そうした人々がリモートワーク、テレワークになっていることから、店頭に来客数が増えており、売上も伸びている。一方、大型案件がないと困る外商部は、企業の投資案件が極端に減っている。新型コロナウイルス感染症対策の補助金も大体使い切っているため、新たな投資案件がない限り、今後はなかなか難しい。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス禍において、これから冬到来で、感染者数増加によるGo Toキャンペーンの中止、営業時間の短縮等、制約がある場合は、来客数の落ち込みは避けられない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・不要不急の外出を控える動きは継続し、購買に対し慎重な姿勢は継続することが予想される。
		百貨店（総務担当）	・先行きの景気も悪い状態で変わらないのではないかと。特に、直近での新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続くようであれば、ますます先行き不透明な状態が続く（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数拡大に伴うGo Toキャンペーンの見直しにより、直近の売上高は失速するとみている。この自粛効果により食品を中心とした年末需要は期待できるが、一方で年末年始の過密回避対策による影響も想定される（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により来客数や売上の回復は見込めない。気温が上がる春以降の景気回復に期待している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、Go Toキャンペーンの運用見直しや営業時間の短縮、感染拡大地域との往来自粛など、更に強い対策が求められるようになってきているなかでは、まだまだ先行きの景気回復を見通すことができない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスに対する東京都の動向がなかなか読めない。国と都の政策にかい離があったり、推進策と自粛策が同時に出たりしているため、営業体制、顧客動向共に模索しながらの営業となってしまう（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス禍を受けて、冬季の外出活発化を期待できず、外出着需要の抑制が見込まれる。また、バレンタイン商戦も、リモートワークの浸透により社用ギフトの大幅減少が予想される（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・客の様子を見てみると、広告初日の安価な商品やポイント何倍の日、タイムセールなど、少しでも安く買物ができる時間や店舗を買い回っているような状況がずっと続いている（東京都）。
		スーパー（経営者）	・景気は決して良くないが、このところ新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、巣籠り需要が多少起きている。しかし、この先も続くかという点、消費者はもう巣籠りに飽きてきている。この先の景気は余り良い状態ではないと思うが、新型コロナウイルスの感染状況により左右されるので、しばらくは横ばいで変わらない状態が続くのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店員）	・おせち等の予約受注は好調であるが、プラスアルファの購入ではないため、全体の売上上昇にはつながらない。また、今後の新型コロナウイルスの影響について予測がつかないため、対策が採りにくい。
		スーパー（総務担当）	・お歳暮を含めたギフト商材の出足が非常に悪い。また、クリスマスやおせち等、年末に向けたイベントに対する予約状況も今一つ伸びていない。在宅、多人数で集まったのイベント等がないこと、外出しないことなどから、売上は日常の食料品が中心になっており、マスク関連の売上が伸びたとしても分母が小さいため、店全体としての売上を大きく伸ばすことはできない。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス感染対策で外出を控え、日用品や食事会など、家で快適に過ごすことにお金を使っている。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で買物回数が減り、1回当たりの買物が多くなるという今の状況がしばらく続く（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	・新型コロナウイルスのワクチン次第になるが、1月ぐらいまでは今のままで推移する。2月以降は状況に応じた政府の追加支援策次第である。
		コンビニ（経営者）	・お歳暮用品、クリスマスケーキ等の予約がほとんど入らず、厳しい年末年始に向かっていく。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、クリスマス、年末商戦も大きくは改善しない（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は変わらず、地域密着型の地元商店街が期待される。
		家電量販店（店長）	・現段階では、来年2月の状況を予測し難い。ワクチン供給のニュースや米国を軸とした対中国政策など、リスク要因が多数ある（東京都）。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス禍が落ち着くまで消費は同じような流れになると感じるが、経済が落ち込むことで悪くなる可能性がある（東京都）。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響で在宅時間が増え、仕事関係ではパソコン、プライベートではテレビ、調理器具の数字が伸びている。今後は年末、そして決算に向けて悪くはならないと思うが、更に上昇することは考えにくい。
		家電量販店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響次第である。ワクチン、医療体制が万全ないし十分な状況になるまでは、一進一退が続くものとみている（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は、前月が良かったのでそのまま景気が回復していくかと思ったら、今月は前月の5割減となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算を迎えるが、新型コロナウイルスの影響が続き、見込みが怪しい。
		乗用車販売店（販売担当）	・やはり新型コロナウイルスが収束しないことには、数か月先の景気も変わらない気がする。特に、観光バスについては、注文したものをキャンセルしたり、実際に撤退をしたりということもある。運送関係については、営業時間短縮などがあり、今後の景気についても変わらず、悪い状況がまだ続く（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・ここに至る新型コロナウイルス感染の急拡大により、新車販売が伸び悩む傾向にある。
		住関連専門店（営業担当）	・現在、新型コロナウイルス感染第3波のただ中にあるが、今後も感染拡大や収束を繰り返しながら続いていくと思われる。感染対策を採りながら経済は止めずという割り切りが根付いていくと予測している。春先のようなパニックや政府による緊急事態宣言も可能性は高くないとみている（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数がまた増えてきているので、商売としては余り良い方向には行かない。そのため、変わらない。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響に伴うGo Toキャンペーン見直しの可能性など、先行きが不透明である。ワクチンの供給が始まるまでは、大きな変化はないとみている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・2～3か月後も新型コロナウイルスの感染状況次第である。それによって多少は変化があるかもしれないが、恐らく悪いままではないか。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・ 乗月の忘年会も、今までどおり予約は5～6人の少人数や家族、10人以下などで、大人数の忘年会は期待できない。やや厳しい状態になるが、乗り切れるしかない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・ 悪くなっている状況は変わらない（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 2～3か月後では、新型コロナウイルスのワクチンや特效薬を日本ではまだ接種できないと思うので、それ以降に回復してくるのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	・ 新型コロナウイルスの影響で、Go To Travelキャンペーンにも全く申込みがなく、非常に大変である。
		旅行代理店（営業担当）	・ 2～3か月先に新型コロナウイルスの感染が拡大するのかが、沈静化するのかが、先行きが読めない状況なので、何とも判断に苦しむ。
		タクシー運転手	・ 東京都が新型コロナウイルス感染防止のため、酒類を提供する飲食店やカラオケ店などへ午後10時までの営業時間短縮要請をしている。応じない店が大分あると思うので、感染対策としては良くないが、経済を回すという意味で、何とか景気の悪いまま数か月は現状維持で推移する（東京都）。
		通信会社（社員）	・ この先も要因は変わらない（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・ 年末に掛けて販売が上向きになりつつあるが、大きな流れにはならない。
		通信会社（営業担当）	・ 携帯電話、インターネットを軸に他社との競争が激化している。使い勝手が変わらず、今までよりも安価なサービスに乗り換える動きは加速していくとみている。
		通信会社（営業担当）	・ 良くなる材料がない。
		通信会社（経理担当）	・ インターネット接続は新型コロナウイルス禍で必要なサービスであり、契約客の利用頻度も高い。アフターサービスで顧客満足度を上げて、値段には敵わず、客はより安価なサービスを探し続けている。
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・ 月末の都の発表で、また営業時間短縮等の要請がされることになる。その間は全体的に少し景気が冷え込むと考えられる（東京都）。
		設計事務所（経営者）	・ 今年度の官庁案件の入札はほぼ終了したので、現在の業務量のまま推移する。新型コロナウイルス禍では民間受注は難しい。
		設計事務所（所長）	・ 新型コロナウイルス感染第3波の影響で、また打合せ等ができなくなる可能性が大きい。このままの状態が続く（東京都）。
		設計事務所（職員）	・ 大きな変化が生じる要素が見当たらない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・ 新型コロナウイルス感染が収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンと治療薬が普及しないと、景気は戻らない。
		住宅販売会社（従業員）	・ 金融機関が新型コロナウイルス対策で融資を絞っていないので、販売はこのまま順調に推移していくと思うが、大きく良くなるとは思わない。地価が下がらないので、今後も引き続き土地の仕入に苦戦しそうだ。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・ 年度末に向かって本来の建材需要期の荷動きまでは回復していないが一定の受注はあるので、景気としては今のまま維持していくとみられる（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・ このところ新型コロナウイルスの感染者数がかなり増えてきている。年末年始に向けて需要が静かになってしまっているのではないかと。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・ 新型コロナウイルスの感染拡大で、人出が減る。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・ 新型コロナウイルスの影響のなかで、取引先の販売数量がなかなか戻っておらず、不安な点も多い。新しい生活様式に慣れない社会で、売上はまだ悪いままの状況が続く（東京都）。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・ 東京都の新型コロナウイルス感染者数の増加により、外出しての買物を控える客も多く、来客数が落ち込んでいる。年賀状印刷の受注やダイアリーなどの季節商材の動きも悪く、個人客の売上増加による現状維持はなかなか見込めない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・ 新型コロナウイルス感染の再拡大に伴い、外出を控える傾向が強まる。Web、ECは伸びるが、主力である店頭売上は減少する（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（広報担当）	・企業の冬のボーナス支給減少や、新型コロナウイルス感染第3波の拡大を受けて、再び行動制限や自粛の気運が高まり、景気は今よりも悪化する（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・11月下旬になり、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向となり、年末年始商戦にも影響が出てくると感じている。Go Toキャンペーンの一時的な休止、中止により、消費者の外出自粛が更に加速すると、巣籠り需要としてプラスとなる商材も一部あるものの、アパレルやギフト需要に影響するので、全体では悪くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響により、外出自粛が強化され、来館者数減少につながると考えられる（東京都）。
		百貨店（店長）	・冬本番となり、新型コロナウイルスに加えてインフルエンザの流行が懸念され、ますます悪化するのではないかと（東京都）。
		百貨店（副店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、直近の状況から楽観はしていない。そのようななかでも、食品や家庭雑貨等のイエナカ需要、歳時記など売れ筋商品もあるので、消費マインドの高まりを期待したい（東京都）。
		スーパー（経営者）	・競合店、単価の低さで、来客数、売上共に減少しそうである。
		スーパー（経営者）	・3か月間、来客数、販売量共に前年比で変化はない。新型コロナウイルス感染第3波により、年末年始の帰省客の減少が考えられるので、この先余り期待できない。
		スーパー（店長）	・本来ならば良くなると答えたところだが、来客数、特に夜間の客が減っている。当店は駅に近いのだが、リモートワークなのか、全体的に夜間の来客数が減っており、今の流れで行くと、3か月後は今よりもやや厳しくなるのではないかと予想している（東京都）。
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いており、新型コロナウイルス禍のなか、様々な弊害も出てくると思われるので、もうしばらくは同様の状態が続く（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	・年末に向け人の動きが抑制され、家族単位での生活となることで、正月も簡単に済ませると予想されるため、数量、単価共に上がらない。
		コンビニ（経営者）	・Go Toキャンペーンを止めたり始めたり、非常に不安定なので、良くない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がどのように出てくるか、見当がつかない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響だけではないと思うが、通常営業していた店などがまた時短になったり、従業員も復帰させられない状態が続いている。そのため、コンビニへの従業員応募が多くあり、1日でも2日でも働きたいということで応募してきているが、こちらもそれに対応するわけにはいかない。以前のままの状態で、なるべく今後の被害がないようにやっているのだから、余り伸びると思えない。
		衣料品専門店（経営者）	・ニュース等で新型コロナウイルス感染第3波といわれている影響もあり、なかなか売上が伸びない。通販、物流は良いところもあると思うが、普通の物販は難しい。当地域ではこれからプレミアム付商品券が始まるが、どのように効果が出るかは未知数のところもある。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響により、感染拡大地域の景気回復策の一部停止や営業時間の短縮等、人が動くことに対する制約により消費者心理が抑制されることを懸念している（東京都）。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスが収束する可能性が低い。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてくると、来客数と販売量も減少してくる。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、様々な要請が発出され、経済活動が鈍化する。
		乗用車販売店（店長代行）	・今後、新型コロナウイルスの感染者数が増えてくると、販売台数減少が見込まれる（東京都）。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大している（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・新型コロナウイルスの感染者数が毎日増えているので、外出を控えている人が結構いるようである。それに伴い、売上も低迷している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今年の2月頃から新型コロナウイルスによる特需が始まっているため、来年は厳しくなる。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・収入が減少している人が多いという情報や、新型コロナウイルス感染第3波による再度の自粛の可能性を考慮すると、現在の回復傾向は維持できず、身の回りの景気は悪くなる（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、Go To Travelキャンペーンの停止等があれば、大幅な売上減少も予測される（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染症の拡大時期に入り、更なる感染者数増加となれば、人の動きも今まで以上に過剰になる（東京都）。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響がある。
		高級レストラン（営業担当）	・元来、団体宴会を売上の柱としていた当社にとっては、営業施策全体の見直し、立て直しが必要となる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今の新型コロナウイルス禍がずっと続けば、景気はかなり悪くなる。感染状況が落ち着いてくれば、今まで控えていた人もパーティを始めたりして、少し上向いてくると思うが、新型コロナウイルス次第でどうなるか見当がつかない。
		一般レストラン（経営者）	・直接的、間接的に、新型コロナウイルスの影響が重くのし掛かっている。少し予約は入っているものの、少人数であり、例年のように年末の宴会での帳尻合わせができない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・忘年会、新年会は全滅だと考えている。その後若干緩やかに持ち直す期待もあったのだが、東京オリンピックを前に、再び新型コロナウイルスが拡大することを防止するために、かなり厳しい措置が採られるような気がするので、現在よりも年明けは更に悪くなると予想している（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う営業時間の短縮要請がある。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・都内の飲食店に対して営業時間短縮要請が出たが、前回の経験から、来客数が激減することが予想される（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新型コロナウイルス感染第3波到来の状況下では売上の戻りも期待できず、今後は横ばい又は減少に向かう可能性がある。今後2～3か月の景気は悪くなると見込んでいる（東京都）。
		観光型旅館（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンが終了する（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染が拡大する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンの効果で宿泊客がかなり増えてきており、前年同期比でも好調に推移している反面、結婚式も含め宴会需要は非常に厳しく、企業の宴会は全く入ってこない。なおかつ、新型コロナウイルスの感染が拡大しているのだから、今後は厳しくなるのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・徐々に新型コロナウイルス感染が拡大しており、全てにおいてキャンセルが増えている。好調だった宿泊も少なからず影響が出始めている。感染者数の発表と比例してキャンセルが増減しており、年明け案件の延期や取消しがここ数日非常に多くなっている。先々の予約も止まっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染第3波といえるほど感染者数が増えたことにより、先行きが不安定になっている。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えて、消費マインドが下がってきている（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染第3波により、Go To Travelキャンペーンが中止となると、新規の申込みは止まり、既にある予約分のキャンセルが増えることが想像される。2020年上期、観光施設はなんとか耐えてきたので、感染拡大地域だけ除外にするなど、極力影響が出ないようにしてもらいたい（東京都）。
		旅行代理店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数増加の原因はGo To Travelキャンペーンだとされているため、客の動向が急速に悪くなり始めている。個人的にはPCR検査の分母が大きくなったため、分子も大きくなったものと考えている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・今月に入ってから新型コロナウイルスの感染者数が非常に増えている。身の回りにもひっそりと感染者がいるような気がして、やはり不安で、仕事にも影響が出てきている。今後の動向を見守りたい。
		タクシー運転手	・サラリーマンは、元のように会社内で働くようには戻らないように感じている。したがって、サラリーマンのタクシー移動は増えない。私自身もサラリーマン相手に仕事をしてきたが、今は下町の高齢者の病院送迎や買物利用の仕事が自然と増えている。深夜のサラリーマン客の乗車はしばらく当てにしていない(東京都)。
		通信会社(経営者)	・Go Toキャンペーンも一部制限されるなど、新型コロナウイルスの感染拡大が目立ってきており、再び消費マインドの冷え込みが懸念される。現状、客の希望による作業に関しては新型コロナウイルスの影響は余り感じられないが、感染拡大の状況次第では、再度の営業自粛も考えられる(東京都)。
		通信会社(経営者)	・新型コロナウイルスが一定程度落ち着かなければ、景気は良くならない(東京都)。
		通信会社(社員)	・空いたテナントが埋まらない客から、来年度の契約金額の見直しを求められている。集客が見込めない状況のため、このような影響が出てしまうのだろうが、業態の変化で沈んでしまう業種が救われていない(東京都)。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルス感染者数が増加してきており、経済の先行きが不透明になっている。不要な消費支出を抑える傾向が強まる。
		通信会社(局長)	・最近の東京都の新型コロナウイルス感染者数増加により、対面でのサービス説明を嫌う客の増加が加速すると思われるので、契約数が更に減少傾向になる(東京都)。
		通信会社(経営企画担当)	・新型コロナウイルスの感染者数増加により、案件数減少の恐れがある(東京都)。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルス感染第3波報道で、客の買い控え等が始まっているように感じる(東京都)。
		通信会社(総務担当)	・新型コロナウイルス感染が急速に拡大しつつあり、客の消費行動が抑制されていく(東京都)。
		パチンコ店(経営者)	・新型コロナウイルス感染第3波の局面に入り、再び自粛モードが高まってきている。
		その他レジャー施設 [ボウリング場](支配人)	・冬の間は新型コロナウイルスの感染拡大が続く(東京都)。
		美容室(経営者)	・早く新型コロナウイルス騒ぎが収束してほしい。
		その他サービス[学習塾](経営者)	・新型コロナウイルスの影響で対面授業を避ける傾向があり、冬期講習の申込み状況も余り良くない。先行きはやや下降気味である。
		その他サービス[保険代理店](経営者)	・新型コロナウイルス感染症が収束に向かわない限り、正常な経済活動には戻れないし、3か月程度では治まらない。政府の経済政策も成果が得られない。
		その他サービス[学習塾](経営者)	・新型コロナウイルス禍において、新規の問合せが見込めない。
		設計事務所(経営者)	・年末に近づいているが、客の動きが非常に鈍く、新しい物件を考えると動きがないようである。展示場に行っても客が少なく、また、仕事をする業者の数も少なくなっているように感じる。設計業務については、行政からの指名を受けるべく一生懸命営業を展開している。
		その他住宅[住宅管理・リフォーム](経営者)	・これだけ新型コロナウイルスについて報道されていると、1日も早く収束しない限り、景気も上向いていかないのではないかと。
	×	商店街(代表者)	・気温、湿度が下がると、新型コロナウイルス感染が増えるのは統計的に必定である。この冬は都や全国の感染状況次第ではあるが、相当厳しい覚悟が必要である。屋外型のショッピングプレイスである当地域はましな方だとは思いますが、それでも屋内で用を足さないといけない飲食は相当厳しくなる(東京都)。
	×	一般小売店[家電](経理担当)	・前回の特別定額給付金10万円が給付された時には、経済的に苦しい人々がいるという買ったので売上も伸びたが、動いたのはその時だけで、今は一段と来客数が少なくなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔家具〕 (経営者)	・これだけ新型コロナウイルスが流行しているのに、客も買物よりは生活防衛をしようということで、この先はやや悪くなるのではないかと(東京都)。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で密になれない環境では、商売が成り立たない。
	×	百貨店(広報担当)	・新型コロナウイルス感染第3波が来ている。再度緊急事態宣言が出たら、多くの企業の体力が持たない(東京都)。
	×	コンビニ(経営者)	・この間の流れを見ると、悪くなる(東京都)。
	×	コンビニ(経営者)	・ショッピングセンターに入っている店舗があるが、やはり夕方から夜に掛けての来客数が非常に減っている。また、ショッピングセンターでもイベント等ができないため、客を集めることができていない。新型コロナウイルスの影響で、感染が再拡大しているということで、かなり来客数が減ってきている。
	×	コンビニ(商品開発担当)	・現状を考えれば仕方のないことだが、Go To Eatキャンペーンが縮小され、外出等も自粛されることになれば、必然的に客足も遠のき、売上確保が難しくなる(東京都)。
	×	衣料品専門店(店長)	・寒くなり乾燥してくると新型コロナウイルスの活動が活発になるとの予想から、外出を控える傾向にある。
	×	衣料品専門店(営業担当)	・良くなる要因が1つもない。来年の東京オリンピックも、もし開催することになれば、日本人にもかなりの死者数が出て、経済はひどいことになると思われる。きちんと考えた方がいいのではないかと。
	×	衣料品専門店(役員)	・新型コロナウイルスの感染拡大により、旅行や食事会が中止になったという客の話をよく聞く。外出が減ると衣料品への影響は大きい。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕(営業)	・同業者の間でも廃業について話題に上るようになってきている(東京都)。
	×	高級レストラン(経営者)	・年末年始に向けておせち料理の販売が好調なことから、需要は店内飲食よりもテイクアウトに戻っていると感じる。しかしながら、5月のようにテイクアウト一色にするわけにもいかず、結果として売上は減ることになる。
	×	一般レストラン(経営者)	・飲食店なので、新型コロナウイルス感染第3波の影響により大変厳しい状況になる(東京都)。
	×	一般レストラン(経営者)	・Go To Eatキャンペーンを始めたと思ったら、途端に4人以上での会食をするなど言われている。12月の忘年会予約も2~3人での予約しかない。通常なら当店は15~20人での貸切り予約が入るはずなのだが、今年に関しては多分それもない。
	×	一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス感染第3波で、Go Toキャンペーンの見直しや営業時間の短縮要請が行われた地域があるが、今後更に厳しい措置が採られた場合には、中小零細の飲食、小売、宿泊業に倒産が発生し、雇用も減るのではないかと。
	×	都市型ホテル(経営者)	・少し回復の兆しがみられたところで、新型コロナウイルス感染第3波が拡大して、Go Toキャンペーン等が中止、あるいは緊急事態宣言が再び出るかもしれないという情報があり、忘年会、新年会がほとんど全てキャンセルという状況に陥っている。先行きも非常に不透明ななか、悪化するのではないかとみている。1日も早い収束を願うばかりだが、ホテル業界としては手立てがないというのが現状である。
	×	旅行代理店(従業員)	・業界各社で人員整理が開始されている(東京都)。
	×	旅行代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で申込みが減る(東京都)。
	×	旅行代理店(販売促進担当)	・Go To Travelキャンペーンも1月末までであり、新型コロナウイルスの感染拡大が進んでいるので、旅行熱が急激に冷めている。結果として、今少し好調な国内個人旅行も下がっていく若しくはもう下がってきているので、今月よりは確実に悪くなる(東京都)。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスとインフルエンザの両方を気にしながらの仕事で、不安ばかりである。もうすぐクリスマス、忘年会シーズンになるが、密になり、集まること自体を自粛するようで、全く予想ができない。利用が減っていることは現実である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	タクシー（団体役員）	・このところの新型コロナウイルス感染者数の増加が第3波として報じられてから、人が出ていない。辛うじて、Go To Travelキャンペーンの影響か、昼間の観光地に多少人出はあるが、タクシーの利用には余りつなっていない。
	×	観光名所（職員）	・11月は年間を通してトップシーズンである。2～3か月先になると観光地は閑散期に入るので、かなり悪くなるのが予想される（東京都）。
	×	ゴルフ場（従業員）	・国や自治体の給付、援助も限りがある。新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、景気が悪化し、国や自治体も財政困難に陥り、経済は悪循環に陥ることが懸念される。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・11月後半の新型コロナウイルス感染第3波と、冬季における諸感染症の拡大が懸念され、財政状況への多大な影響は継続すると考えられる。法人の長期的存続を担保するため、新型コロナウイルスとの共生社会に対応できる中長期的な収支の構造改革は不可避であり、これらの水準の見通しが立たない間は、経費支出、設備投資共に特に慎重な姿勢を維持せざるを得ない。
	×	その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が避けられない（東京都）。
	×	その他サービス[立体 駐車場]（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束するまで良くならない。
	×	設計事務所（所長）	・いずれにしても新型コロナウイルス感染症が相当に影響している。また感染が拡大しているので、とても仕事量が増える見通しは立てられない。同業者に聞いても仕事がないとかなくなってきているという状況である。
企業 動向 関連 (南関東)		化学工業（従業員）	・年明けの受注が少し増え、海外の受注も順調なので、少しは良くなる。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・取引先の様子を見ていると、大分良くなってきている傾向にある。それは良いと思うが、廃業を考えている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・国内の引き合いの状況から、やや良くなるのではないかと。海外の方はいまだ本格的ではない。新型コロナウイルスワクチンに期待している（東京都）。
		その他サービス業[警備] (経営者)	・これから年末に掛けて、公共工事増加に伴う受注増加の状況が継続する。
		その他サービス業[ソフト開発] (従業員)	・仕事の依頼が増えてきている。持ち直している企業は前へ進もうとしている。
		出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・取引先や仲間と話しても、本当に仕事がないという話ばかりで、先が心配である。
		プラスチック製品製造業 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ化粧品容器の受注が、年明け頃から回復に向かうとの情報もあるが、確約されたものではなく、厳しい状況は続く。
		金属製品製造業（経営者）	・空調機器部品の一部に明るさはみえていますが、他の業種では良い話は聞かない。新型コロナウイルス感染の影響は大きく、しばらく続く。
		その他製造業[化粧品] (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響で、美容室への来客数が減少傾向にある（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が伸び悩んでいること、輸出量がないことから、今後も現状が続く。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス感染第3波への警戒感が強まり、Go Toキャンペーンが一部地域で制限されるなど、飲食業やサービス業などで先行き不透明感が増すなか、業況が落ち込んでいる事業者だけでなく、今まで堅調に推移してきた事業者からも、この先どうなるか分からず不安であるとの声が上がっている（東京都）。
		金融業（支店長）	・新型コロナウイルス感染第3波が来ていると言われていいる。サービス業、特に飲食は従前なら忘年会シーズンで書き入れ時だが、売上増加は厳しく、横ばいが関の山ではないか。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大による行動範囲の縮小に伴い、宿泊需要は横ばいで推移する（東京都）。
		税理士	・米国は次期大統領が民主党候補に決まり、どのような方向性になるのか、日本にとってどうなのか、誰も分からない。政治、防衛面も含めて、日本だけの動きでどうかという話ではない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・取引先工場等も稼働率を上げようと努力しているが、良好となる兆しが見えず、やや悪い状態がまだしばらく続く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・今年度一杯は良い状況が継続する想定である。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響で、新年会の注文にキャンセルが出始めている。年始の動きも期待できない。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・集客に特化している業態のため、年末年始のイベントごとが軒並み中止となり、1年で一番忙しい時期が停滞すると、非常に厳しい。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・事務に使うゴム印は、以前からパソコン化で少なくなってきた。印鑑登録に使う実印、銀行印、仕事印のうち、行政改革担当大臣が不要と言っている仕事印が、発言の影響を受け、注文客がだんだん少なくなってきたと現場で感じている（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染第3波による感染者数の拡大が続く限り、クライアントが更に消極的になり物事が前に進まず、その結果、中止や延期が増える。先行きは全く予想がつかない（東京都）。
		化学工業（総務担当）	・現在の回復感もGo Toキャンペーンの恩恵によるところが大きく、新型コロナウイルス感染第3波による悪影響を危惧せざるを得ない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波では、感染者数が非常に増えているため、その影響で3か月先は更に動きが悪くなるのではないかと。
		金属製品製造業（経営者）	・少し戻ってきているので、希望としてはこのまま上がってほしいが、ここにきて新型コロナウイルスの新規感染者数が増えつつあるので、経済に影響が出てくる。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・全て新型コロナウイルスの感染状況次第だと思うが、第3波が来ているということで大変不安である。仮に収まったとしても、どう変わるのかも分からない、不安になっている。
		輸送業（経営者）	・1～2月は稼働日数が通常よりも減少する月であり、取扱量の増加要因も現状では見当たらないため、悪化が予想される（東京都）。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスの流行が収まらない限り、マーケットは縮小傾向が続く（東京都）。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加してきており、Go Toキャンペーンが一時停止になれば、再び景気が後退する要因になる。ここにきて個人客の融資延滞が増えており、住宅ローンの代位弁済も増えてきている。年末に掛けて、このまま感染者数が増えると、外出や外食も減少し、景気も落ちてくる（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルス感染者数の増加により、年末商戦に陰りがみられる。具体的な例として、とりの市の市人は天候に恵まれたにもかかわらず大幅に減少しており、消費者のニーズの高まりはないとの話が多い。感染者数増加の影響は、様々な業種の売上減少圧力となるので、経営者は懸念している。
		不動産業（経営者）	・不動産賃貸業も新型コロナウイルスの影響は大きい。早急な収束を願うばかりである（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・忘年会シーズンに入ってきたが、テナントとの懇親会、忘年会を見合わせるケースが大半で、新年会も同様の傾向にある。賀詞交歓会も飲食を伴わないリモート開催決定の案内が増えている。飲食店舗が厳しい状況にさらされることは目に見えている（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	・ここへきて、また新型コロナウイルスの感染者数増加が見込まれる（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染者数増加が続くと恐れ、ますます厳しくなる。
		税理士	・Go Toキャンペーン関連の事業が中止又は延期になっている。また、新型コロナウイルスの影響で忘年会、新年会などは多人数での開催が見送られ、個人開催のみになるため、以前のような売上は望めない。しかし、経済を止めない工夫もされると思われるため、ひどい落ち込みにはならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・最低賃金のパートが辞めた後、その後任の募集単価は人手不足により一気に1200円以上となる。既存契約の値上げ若しくは赤字現場からの撤退、つまり契約解除ができない現状では、人件費が収益を圧迫している（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新年懇親会、研究会など、例年行われていたイベントの中止が決まったので、その撮影や編集の仕事がなくなり、大変厳しい状況である（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が徐々に出てくる。また、在宅勤務で精神的にまいっている社員が散見される（東京都）。
	×	食料品製造業（経営者）	・忘年会や新年会が中止になることが予想されるが、酒屋なので影響が大きい（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年明け以降は受注量が減少する（東京都）。
	×	金属製品製造業（経営者）	・年末に掛けての仕事が少なく、会社の経営が厳しくなってきた。
	×	精密機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染第3波が来ており、非常に不安である。雇用調整助成金も12月31日までであり、雇用の維持が懸念され始めている。現状は損益分岐点を下回っており、運転資金の枯渇が心配である。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、景気は下降気味になる。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で景気がどんどん悪くなる。全く先が見えない。
	×	建設業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症に関連する行政の補助金等により、次年度以降は公共工事の削減が回避できないと感じる。それにも増して民間工事は大幅に減少する。
	×	輸送業（経営者）	・取引先の内製化が進んでいく（東京都）。
	×	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば増えるほど、消費者の財布のひもは固くなる。やはり、感染拡大防止にかじを切る必要性を感じる。そうしないと、経済が想定以上に冷え込むことになる。
	×	広告代理店（従業員）	・イベント業務も少しずつ戻る雰囲気だったが、新型コロナウイルス感染第3波の影響で、中止に追い込まれている。
	×	経営コンサルタント	・中小製造業についてみると、飲食店のような急激な減少ではないが、時間差でじわじわと売上が減少している。今後どこまで悪影響が広がるかは見えない（東京都）。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・業績は想定以上に良い（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・求人数が前年同月並みまで回復してきている。派遣スタッフ退職時の補充オーダーも復活してきており、必要に応じたオーダーが今後も入りそうな見込みである。
		人材派遣会社（営業担当）	・例年と同じ傾向で推移すれば、求人数が増え、年度末に向けて業務量が増加する見通しである。ただし、新型コロナウイルスの影響でどこまで回復するか少々不安である（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・DXを筆頭に各社とも業績回復に動き出しているため、上向きになることが見込まれる（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・一応、予定を32社くらいからもらっているので、それが実現すればかなりの実績につながるが、どうなるか分からない。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、先行きに不透明感が増しており、企業が採用を控えることが懸念される。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は不透明ではあるものの、堅調に推移することが予想される（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスによる業績への影響から、人材ニーズの低調傾向は当面続く（東京都）。
		求人情報誌制作会社（営業）	・現在、新型コロナウイルスの感染者数が増えているところである。今から外出自粛や営業時間短縮などの対策を講じて、結果に反映されるのは少し先になるので、2～3か月先までは景気が良くなることはない。変わらない状況であれば、むしろ良い方ではないか。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、なかなか状況は良くならないのではないかと（東京都）。
	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（経営者）	・旅行、運輸、BtoC業界が打撃を受けている現状を考えると、採用支援事業も当分回復は見込めない。就職ビジネスそのものが存続できるかどうか分からない。人と人が接触するビジネスは難しい（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新規採用の話が経営者から聞こえてこない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・自動車関連業社をクライアントとして多く抱えるが、海外生産への移転が進んでおり、国内生産に活気がみられない。今は中期的には新技術、新製品の開発が必須である（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・現在のところ変化する要素がないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変動する可能性がある（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は根強く、来年も続くと予想している。それに伴い、各企業も更にコスト削減を進められる。特に、商業施設など、人と接する業務については、更に値下げや契約解除要請が増加するとみている。新たに需要が見込める業種もあるが、全体としては厳しい状況になる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス禍の影響に長期的、継続的に対応できるような施策がない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新規枠での採用が7割減っており、求職者数に対して求人数が足りていない状態である（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・アウトプレースメント（再就職支援）の依頼が増加しているため、大手企業で人員整理が始まると思われる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数は前年比でみると減少が続いている。今後更に感染が拡大すれば、求人数はますます減少する。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染者数が増加していることから、採用活動を控える恐れが考えられる（東京都）。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者数増加に歯止めが掛からなければ、持ち直しの兆しが見え始めた経済にとって打撃となり、雇用情勢が悪化する懸念がある。
	x	求人情報誌製作会社（所長）	・1月の求人依頼件数も少ないため、当面は難しい。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・引き続き、葬儀の相談が多い。やはり子供が少なくなっていることが一番の理由だと感じている。仏壇の処分、墓じまいの相談や依頼も多い。これからもこの傾向は続くのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・クリスマス商戦で、ケーキやチキンの販売が増えるため、やや良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波の影響が懸念されるものの、新型車効果もあり新車販売は改善するのではないかと。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束は見えないものの、今後、ワクチン開発が成功すれば、やや良くなると思う。ただし、効き目は分からない。
		住宅販売会社（経営者）	・首都圏からの移住若しくは2拠点居住地を求める傾向から、当県内の別荘需要は上向いている。
		百貨店（営業担当）	・ここへきて、再び新型コロナウイルス感染者が増えているので、消費動向は上向く要素はなく現状と変わらない。
		百貨店（店長）	・平常営業に戻し、売上も80%台に戻ってきたが、来客数などをみると、ここから更に売上を伸ばすのは難しい。また、販促経費をかける余裕もない。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのコロナ禍で先が読めない。早く収束してもらいたい。前年の台風19号の持続化補助金の申請を12月末に提出予定である。商工会議所のアドバイスで、何とか間に合いそうである。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者も確実に増えている上に、景気も冷え込んだままなので、いつ景気が回復するか分からない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、改善されない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スナック（経営者）	・本来であれば、これから忘年会シーズンに入るので、団体客などの来客が見込め、忘年会帰りの客も来るはずである。このところ全国の新型コロナウイルス感染拡大が、非常に危険な状態になっているので、忘年会も余り当てにならない。今年は期待できない。
		都市型ホテル（支配人）	・大都市圏のみならず当県、当市内にも新型コロナウイルスの感染者が増えている。右肩上がりの宿泊予約に、陰りがみえてきている。
		通信会社（社員）	・生活環境が元に戻るまでは変わらない。これまでとは違ったアプローチ方法を考える必要がある。
		設計事務所（経営者）	・年明けや来年度の計画依頼も入ってきている。
		商店街（代表者）	・上向きの要素は何もない。
		商店街（代表者）	・今、来春4月入学の子供たちの採寸、注文採りを行っているが、前年と違い今年は1枚の注文が多い。売上もそれに準じてかなり落ちるのではないかと。
		商店街（代表者）	・これから、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の影響が出始めると思う。まだまだ気を抜けない状況が続く。
		スーパー（経営者）	・冬のボーナスを始め、新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響もあり、景気回復の遅れが所得に波及する懸念がある。
		スーパー（経営者）	・個人所得の減少により消費意欲が減退すれば、価格競争が更に激化する。
		コンビニ（経営者）	・前年より来客数が減っており、前年実績まで来客数を取り戻すことは難しいと思っている。来客数が減っているので、売上も多少落ちており、やや厳しい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第3波が来て、悪くなる。
		コンビニ（店長）	・ここに来て、新型コロナウイルスの感染拡大第3波で、また、大分自粛ムードになってきている。年末年始に向けて様々なイベントもできることから予定してはいるが、いろいろとなくなってもいるので、稼げるような状況にならない雰囲気であり、今後はやや厳しくなる。
		自動車備品販売店（従業員）	・全国的に新型コロナウイルスが収束せず、プレミアム付商品券やGo To関連も企画されているが、景気は回復せず、やや悪くなる。
		その他専門店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が東京、神奈川、千葉でも増えている。緊急事態宣言が出るかもしれないという話に、客が敏感、急激に反応している。来月は忘年会シーズンだが、飲食店のキャンセルもかなり増えている。ここ数日で東京の方との会食のキャンセルも入ったと聞くようになっている。来月、再来月になると、局面がかなり変わってくるのではないかと非常に警戒している。
		その他専門店〔貴金属〕（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大第3波で、やや悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・地域発行クーポンの期限が切れてくると、反動が出てくると思われる。新型コロナウイルスの感染動向に左右される。
		一般レストラン（経営者）	・相変わらず、新型コロナウイルスの影響は避けられない。
		観光型旅館（経営者）	・もともと2月に旅行を予定していた方たちも、Go To Travelキャンペーンが適用される1月に予約を変更しているため、2月以降は全く予約がない。また、新型コロナウイルス感染拡大第3波の報道が続き、予約の動きもここに来て急に止まっている。取りあえず1月までは、Go To Travelのお陰でそこそこ予約があり、そこまでは例年の20%ダウン程度で行けるのではないかと。しかし、Go To Travelが終了する2月以降は予約がゼロなので、2月以降も何らかの形で観光支援をお願いしたい。ただし、現状と同じ内容では、支援策が終了した後のダメージが大きいので、補助の規模を段階的に下げながら、東京オリンピックが始まる頃まで、何らかの支援をお願いしたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大第3波の報道が日増しに強くなるのに従い、先の法人利用キャンセルが出始めてきている。また、一部地域のGo To Travel除外があったからは、当県自体は関係ないものの、他県からの出張等の宿泊に影響が出始めている。既に忘年会を見合わせる場所が多く、非常に厳しい。Go Toキャンペーン効果では賄いきれない状況で推移しそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気は上向きにならない。企業も損益を下方修正しており、長期に渡って消費が落ち込む可能性を懸念している。また、個人消費も回復傾向だが、冬のボーナス支給減少やGo To除外地域の増加等、景気が上向き要素はない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの状況次第で、先がどうなるかわからない。今は地域内が新型コロナウイルスで騒いでおり、不安で仕方がない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大は止まる気配がないまま、年末年始を迎える状況では、一層厳しさが増す。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルス感染者が地方にも広がっている状況で、旅行控えが懸念される。今後のGo Toキャンペーンの継続、中止に大きく左右されると考える。
		ゴルフ場（経営者）	・この秋は台風もなく安定した来場者があったものの、年末は新型コロナウイルスのコロナ禍のなかにあり、小さなコンベ等であっても行われるか不安である。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響は、不可避と考える。
	×	スーパー（副店長）	・スーパーは、新型コロナウイルスの影響は少なく、逆に売上増加になっている。ただし、世間の人はいつ自分たちや家族が感染するか分からず、日々不安を抱えて暮らしており、現状では景気が良くなるとは思えない。
	×	コンビニ（エリア担当）	・今後の新型コロナウイルスの流行やインフルエンザ等のり患増加を考えると、外出自粛が増えそうのため、悪くなる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまで、景気は回復しない。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、良くなることはない。1日も早くワクチンが使えるようにしてほしい。給付金も合わせてお願いしたい。何も施策がなければ、あと3か月持たない店が、かなり多いのではないかと。
	×	スナック（経営者）	・毎回同じだが、現状、新型コロナウイルスばかりではないが、いるいるとあって先が見えない状態である。何か良い方法があったら、助けてほしい。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・市内の老健施設で大規模なクラスターが発生し、その報道と同時に、宿泊、レストラン、特にこれから始まる忘年会のキャンセルが相次いでいる。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波といわれ、少しずつではあるものの、戻り始めていた団体予約もキャンセルとなくなってしまっている。このまま感染者数が増えていけば、年末年始の売上も期待できない。
	×	その他サービス[貸切バス]（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波が広がっている。せっかくのGo To Travelキャンペーンも縮小されそうである。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-
		金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの影響に左右されると思うが、2～3か月後には、取引先もニューノーマルへの対応ができつつある時期でもあり、景気はやや良くなるのではないかと。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注予測において、大きな変化がない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・問合せが入るなど、年末に向けて若干動きが出てきている印象を受けるが、安定した受注には結び付いていない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・現在、生産量はある程度確保されているものの、今後の新型コロナウイルスの影響が懸念される。
		建設業（経営者）	・冬に向かい、各地で新型コロナウイルスの感染者が増加しており、2～3か月先の景気はよく分からない。
		金融業（調査担当）	・設備投資の見直しや抑制の動きがみられるほか、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響も懸念される。
		食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で厳しくなり、ホテルや飲食店等の発注が確実に減る。
		食料品製造業（営業統括）	・年末年始の一番出荷が多い時期に、ますます悪化する新型コロナウイルスの影響で、他県との人の移動が制限される上、業務店、飲食店からの受注も大幅に減少すると考えられる。
		食料品製造業（総務担当）	・最繁忙期を過ぎて、中だるみが予想される。またWithコロナに加え、インフルエンザやノロウイルスの流行期も迎える。これらの影響で売上は先細るのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波や、空気の乾燥等により感染拡大しやすい時期でもあることから、今後も不安定な状態で進むことが予想される。企業、個人消費も大きな出費を控える動きが続くとみている。
	×	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響もあり、ますます悪くなっている。
	×	窯業・土石製品製造業(経営者)	・長年に渡って制作協力工場として稼働してきたが、やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。取引先の状況が悪化し、対応策を検討しているものの、先の状況が予想できない。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	・今月の連休後の関西や北海道を始めとした新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、問屋はどこも守りに入っており、仕入意欲はない。いつもなら、既に決まっているはずの来年の催事も、状況を見ながらでなかなか決まらず、事業計画を立てるのに苦労している。
雇用 関連		-	-
(甲信越)		人材派遣会社(営業担当)	・年末にかけボーナスも支払われない企業が続出しそうで、購買意欲も湧かず、状況は変わらない。
		求人情報誌製作会社(経営者)	・今後も新型コロナウイルスによるコロナ禍のため、求人に対しては慎重な姿勢で、先行きは不透明である。
		民間職業紹介機関(経営者)	・企業の活動マインドが全体的に落ち込み、現状維持に注力しており、委縮ムードが続いている。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波により、効果を上げていた政府の施策にブレーキがかかってしまうため、やや悪くなる。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスのコロナ禍にあって、状況が改善しつつあると思われたが、感染拡大の第3波の影響で、飲食や宿泊等、一部の業種に大きな影響が出ると思われる。
	×	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの影響が、再び拡大してきている。

6. 東海(地域別調査機関:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

(-: 回答が存在しない、*: 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・新型コロナウイルスもそろそろ終息するであろう。
(東海)		乗用車販売店(従業員)	・動きが良くなっており、新型コロナウイルスの影響が小さくなってきた。
		商店街(代表者)	・3か月後の景気は、このままの状況では悪くなるが、ワクチンが開発されると良くなると思われる。
		一般小売店〔高級精肉〕 (常勤監査役)	・新型コロナウイルスの終息がぼんやりとみえてきた。
		一般小売店〔生活用品〕 (販売担当)	・3度の新型コロナウイルス感染が拡大しているが、今のところは新しい生活様式を念頭に置きながら積極的に買物にも出掛けたいという人が多いように感じる。
		スーパー(販売担当)	・いろいろなイベントがあり、来客数が増えると思う。
		衣料品専門店(販売企画担当)	・来月の受注の話は多いので、今月よりは確実に回復する。
		家電量販店(店員)	・加湿器と空気清浄機の売行きが良く、商品がなくなってしまいそうだ。その後は空気清浄機能付きのエアコンが売れるようになるのではないかと。
		乗用車販売店(営業担当)	・客の業種によっては厳しいところもあるが、新型コロナウイルスへの慣れもあるのか、全般的に余り悲観的な話は聞かれない。購入に向けての話が増えてきている。業界としてはこれから繁忙期に向かっていくので期待したい。
		その他飲食〔仕出し〕 (経営者)	・今後新型コロナウイルスのワクチンや治療薬が次々に出てくるのが予想されるので、悲観的になる必要はない。安心感が生まれれば上昇していく。
		住宅販売会社(経営者)	・今の状況が続くと思われる。新型コロナウイルスの状況に影響されるため、油断はできない。
		商店街(代表者)	・現在が底である。新型コロナウイルスの感染者数が減少し自由に行動できるようになれば、景気は良くなっていく。
		商店街(代表者)	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くであろうから、不要不急の外出や買物を控える動きも続くと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・変わらないというか、よく分からないのが本音である。新型コロナウイルスの終息が実感できれば、消費マインドも向上しイベント等も開催できるので、家電業界も活性化してくる。 ・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・新型コロナウイルスの状況が不透明で、先行きも分からない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・冬季に掛けて新型コロナウイルスの影響が引き続き残るが、一定の受注量は確保できると見込む。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・一時期、景気は回復に向かうと思っていたが、ここに来て、先行きが見通せなくなった。
		百貨店（経理担当）	・Go Toキャンペーンが始まり一時動き始めていたが、新型コロナウイルス第3波の影響で、また外出が減るように感じる。
		百貨店（営業担当）	・Go Toキャンペーンが始まり一時動き始めていたが、新型コロナウイルス第3波の影響で、また外出が減るように感じる。
		百貨店（販売担当）	・落ち着きを見せていた新型コロナウイルスだったが、第3波の状況となり、いつまたピークになるか予想ができないため、見通しが立てられない。
		百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルス禍は一進一退を繰り返すと思われるので、現在の状況が続くと思われる。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス第3波の影響か、ここ1週間は来客数が減少している。年末年始は例年参拝客でにぎわうが、現状では期待できない。
		スーパー（店長）	・特効薬ができて新型コロナウイルス感染が落ち着かない限り、まだこの状態は続くと思われる。
		スーパー（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの第3波が大きく影響すると思うが、来客数に関しては前年とほぼ同等であり、売上についても前年よりやや良い状況のため、2～3か月後は今月と余り変わらないのではないかと思います。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響もあり、内食は続く。少し良い物が売れていく。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、今後に明るい材料は見当たらない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍で第3波の動向次第だが、エンターテインメントキャンペーンでの誘客と年末年始の予約商品に期待する。内食需要としてデザートや常温和菓子などの品ぞろえ強化を図ることで、新型コロナウイルスの第3波に対応する。
		コンビニ（店員）	・通常なら年明けは落ち込む時期だが、新型コロナウイルスの影響でどうなるか何とも分からない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息するとは思えず、年配者は寒さもあり、更に外出することに慎重になると思われる。リハビリの通院も回数を減らしているという話を聞く。
		乗用車販売店（経営者）	・基本的に来客数はこれからも増えることはないと思われる。既存客との関係性向上が最大のテーマである。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が減ってきている。春までは、良くてこのままの状態かと思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染防止に気を付けようと、行動の自粛ムードが起きて気持ちが内向きになり、そのため購買意欲が湧かないと客にいわれた。これから年末年始を迎えるが、どうしても必要な物は購入を検討してもそうでない物は後回しとの話が多く、なかなか市場は厳しい状態が続いている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルス禍第3波の状況で消費マインドは下落傾向のなか、政府のGo Toキャンペーン等、景気対策もある程度効果が出ている様子である。プラスマイナスゼロというところではないか。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比で10.4%のプラス、来客数は前年比1.0%マイナスである。売上が前年比10%以上の伸びを示しているのは、ショッピングセンターでの特別招待会の開催によるもので、それがあっても1か月を通した来客数は前年を下回っている。
		旅行代理店（営業担当）	・Go To Travelキャンペーン対象からの出張除外により、戻ってきてほしい団体旅行が更に遠ざかった。会社行事でも十分観光要素のある旅行は存在するので、今一度基準を見直してほしい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・一部地域を対象に飲食店等の時間短縮要請があったが、一番の繁忙期に要請があったためショックを受けている。再び最悪の事態が起きなければよいが、先のことは予想もできない。
		タクシー運転手	・長い間街中の人々の動きは変わらず、同業者も苦労している。乗車客が少なく大変である。
		タクシー運転手	・一度落ちた景気は、落ちる前の水準には簡単には戻らない。
		通信会社（企画担当）	・当地も新型コロナウイルス感染者が増え、飲食、サービス業への悪影響が予想されるが、逆に家庭でのテレビ、インターネット需要が高まり、トータルでは現状維持になるように思われる。
		通信会社（営業担当）	・有線インターネットは前年と変わらず引き合いがあるので、このまま続くと思う。
		通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルスの影響で家庭でのネット回線の申込みが今は増えているが、新型コロナウイルスが落ち着けば、また減ってくると思われる。
		ゴルフ場（支配人）	・1月は入場者の予約も順調に入っており、このまま良い方向でいくと考える。年末年始の食事はほとんどないと思われるが、入場者数はそこそこで推移すると見込む。
		美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこの先どのようになるのか見当が付かない。
		設計事務所（職員）	・客との打合せでも新型コロナウイルスの話ばかりで、景気回復の話は聞かない。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・賃貸業界にとっては繁忙期に入るが、新型コロナウイルスが再びまん延し始めていることが重なり、伸び悩むおそれがある。
		商店街（代表者）	・Go Toキャンペーンの見直しや自粛の可能性があるため、現状よりも下がる気配がある。
		商店街（代表者）	・正直なところ、今の新型コロナウイルス禍では先のことは全く読めない。繁忙期である年末年始にマスコミが新型コロナウイルス禍のネガティブ報道をすれば、最悪な繁忙期になる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなか、外出も控えるようになると、すぐに必要でない物は買わなくなる。消費は冷え込むと思う。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・冠婚葬祭やイベント等が縮小、中止傾向にあるため、3か月先もまだ厳しい状況が続き、悪くなると考える。
		百貨店（総務担当）	・移動自粛などもあり、来客数の減少による売上への影響は厳しい。最繁忙期である12月が一番売上の多い月であり、影響が大きいと想定される。また、暖冬となるようであり、冬物衣料や雑貨の販売が更に厳しくなる見込みである。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス禍が、終息するどころか広がる傾向にある。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響は小さくないと予測している。当面良くなることはあり得ないと考えている。
		百貨店（販売担当）	・月末に向けてまた来客数が減った。それでも春ほどは減っていないので、まだ助かっている。
		百貨店（業績管理担当）	・冬場で新型コロナウイルスが再拡大の様相を呈している。また、リストラや冬のボーナス減少の影響を受け、客の買い控え等が予想される。
		スーパー（店長）	・年が明けると新型コロナウイルスの影響が出てくる。収入が減り、財布のひもが固くなる可能性がある。
		スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの影響が今後どうなるかによって予断を許さないが、Go To Eatキャンペーンのプレミアム付食事券で飲食店の材料買い出しの量が戻ってきたところである。また時間短縮などで売上が減少に向かうことを危惧している。
		スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの感染者が増加し、今年の初めより状況は悪化している。1年で小売にとって売上の一番大きな年末年始を直撃してしまう。
		スーパー（営業企画）	・内食需要は新型コロナウイルスの感染状況の動向により上下しており予測しにくい。経済活動の停滞による可処分所得の減少の影響が、段々と大きくなっていく。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの波が、寒さの到来とともに来ていると感じる。冬のボーナスの影響が、高額品への購買意欲の減退につながりかねない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルス禍で家計収入が減少している。必要な物以外は買い控えをしているように見受けられる。
		コンビニ（店長）	・正月商品の予約状況が良くない。今年は集まらないので買い控えという声を聞く。
		コンビニ（企画担当）	・まだ明確な影響は出ていないが、今後新型コロナウイルス第3波の影響により、通勤客の減少や外出を控える人が増えることが予想され、駅ナカの店舗は売上の減少が考えられる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染の再拡大により、自粛ムードが強まりそうである。冬季の売上環境が一番厳しい時期にも入っていくので、ダブルの要素で売上、来客数は減少方向になっていくと想定される。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス第3波により、自粛の影響を受けて景気回復の流れがリセットされる。
		コンビニ（本部管理担当）	・新型コロナウイルス第3波が発生する。小売業として、第2波の終息を視野に明るい兆しを展望していただけに、景気状況の悪化を示唆するニュースは残念である。
		衣料品専門店（売場担当）	・景気回復策として様々なキャンペーン等を実施しているものの、新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあることに加え、収束時期が見通しにくいなか、消費者の財布のひもが固くなることが予想される。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス禍において感染者も増加傾向であり、社会経済の動きが鈍化しつつある。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルス第3波の影響で、更に来客数が減るのではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの第3波が冬場に掛けてひどくなるので、また経済活動が制限されて景気が悪化してくると思う。
		乗用車販売店（経営者）	・サポカー補助金も終わる時期であり、新型コロナウイルスの影響がまだ続いているであろうから、景気が良くなるとは思えない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が顕著になってきた。新たなクラスターも出てきており、客先の飲食業やサービス業の体力が心配である。車の台数を減らしたり、保険料を削ったりする客も出てきている。
		乗用車販売店（従業員）	・9～10月と比べると販売台数は減ってきている。人気車種は納期もかなり掛かってきているため、買い控える客もある。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で悪い方向に向かう。
		乗用車販売店（販売担当）	・12月は決算月のため、車検も多くなり盛り上がると思う。しかし、毎年1～2月は冷え込むため、売上としては悪くなると見込む。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・新型コロナウイルス第3波の影響が、一般消費者へどう及ぶかが鍵である。
		高級レストラン（経営企画）	・新型コロナウイルス第3波の懸念から、より年末年始の人が集まる機会が減少する。宴会の予約は前年の3～4割程度で、また少人数化している。
		一般レストラン（経営者）	・12月は前年と比べ売上は落ちる。12月以降は少し先がみえないように思われる。新型コロナウイルスが収まるのを願っている。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスへの恐怖から外出を控える人が多くなり、外食産業は厳しくなると思う。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・残業の減少など、実際に手取りが減っていることを実感している客が増えている。確実に消費意欲は減退しており、売上への影響は必至である。
		観光型ホテル（経営者）	・Go Toキャンペーンが延長する可能性もあるが、1月末で終了すると反動がかなり出るため、景気はやや悪くなると判断する。徐々に割引率や利用範囲を狭めないと、経済は急降下し打撃が大きくなるため、政策としてはその辺りを見据えて判断してほしい。
		都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気はやや悪くなると判断した。
		都市型ホテル（経営者）	・しっかりとした経済対策が必要だと思う。
		都市型ホテル（営業担当）	・良くなる兆しがみえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（経営者）	・ウィズコロナの備えに報道傾向が偏っているため、旅行に対するネガティブイメージが強く、消費喚起とは程遠いと予想される。経済活動と新型コロナウイルス対策のバランスは難しいと思うが、偏った報道によるマイナスイメージを受けざる業態である。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が増えてきていて、12～1月のGo Toキャンペーン予約が取消しになるおそれもある。早くキャンペーンを延長してほしい。新型コロナウイルスの感染状況によっては、今年の3～4月のような可能性もある。Go To Travelキャンペーン参加企業は運営もいろいろ大変なので、是非、旅行代金35%割引の分を協力金として、各旅行業者を支援してほしい。一律100万円でテナント家賃になるので考えてほしい。
		通信会社（営業担当）	・販売に伴う機器不足があり、減少傾向となる。
		テーマパーク（職員）	・インバウンドの客が見込めない。
		レジャーランド（職員）	・新型コロナウイルス第3波の今後の状況によるが、Go Toキャンペーンの見直しや、移動制限、自粛要請がなければ、例年の水準から微減程度の集客ができると見込んでいる。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの第3波といわれてきている。これにより、外出する人がまた減って来園者も減少してしまう可能性が高く、新型コロナウイルスの動向次第である。
		観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの感染防止対策が厳しくなるので、冬場の景気は悪くなる。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス禍の影響が2月から続き来客数がかなり減っているため、収束するまでは反転は期待できない。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルス禍の悪化が見込まれる。
		理美容室（経営者）	・このまま外出自粛ばかりしていると、景気は悪くなっていく。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・来年4月からの福祉用具貸与上限価格の改定で、またレンタル単価が下がる。価格を変更するたびに客への案内通知だけでなく大きなコストと労力が掛かる。上限価格制度に疑問を感じている。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス禍への慣れもみられるが、感染者数が増加傾向にあり営業活動の制限が受注に影響してくると思われる。
		住宅販売会社（従業員）	・元々年末は冬枯れの時期で、現状が早くから枯れているので現状維持になると予想する。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・年内の仕事は、例年の約半数しか入っていない。年末に向かって、この先売上が伸びるのか心配である。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・毎年のものであるが年末需要が落ち着き、年明け早々のリフォームなどの引き合いは減少している。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、これから寒くなるため良くなる兆しがない。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・新型コロナウイルス第3波でこの先の外食は落ち込み、一段と回復は期待できない。
	×	百貨店（売場主任）	・平日18時半以降、売場は閑散としている。クリスマス近くになると20時半まで営業予定だが、来客数が懸念される。2万円前後の商品は売れるが、高額商品はほとんど売れていない状態が続いている。
	×	百貨店（企画担当）	・今月初旬まではGo Toキャンペーンの話題で持ち切りとなり、来客数も上向きで推移していたが、中旬以降は新型コロナウイルス感染拡大のニュース一色となり、それに伴って来客数、売上は大きく前年を下回った。特に、中間層向け衣料品の落ち込みが目立つ。
	×	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの第3波を受けたGo To Travelキャンペーン、Go To Eatキャンペーンの利用制限によって出控えが広がるとともに、消費マインド自体が大きく落ち込むと考える。
	×	スーパー（支店長）	・前月くらいから新型コロナウイルスも徐々に収まりつつあるように思えたが、冬が近づくにつれて、またクラスターも発生し自粛ムードがぶり返しつつある。これから年末年始に向かって、とても良くなる雰囲気はなく、経営環境は厳しくなるばかりである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスが終息して入出が増えなければ、売上等は低迷状態が続くと思われる。
	×	コンビニ（商品企画担当）	・冬季に向けて、新型コロナウイルスに加えてインフルエンザの流行も想定されるほか、年末年始の帰省需要が例年よりも少ないとの見込みから、景気回復は当面先であると想定する。
	×	乗用車販売店（従業員）	・本来ならボーナス時期でもあり、12月以降は盛り上がるのだが、客の話を聞いていると今年はボーナスカットの会社も多く、全く期待できる状況ではない。この地域では自動車は生活必需品であるが、最初に節約するのは自動車の維持費になる。維持費の安い車へ買換えができないため、点検、車検、修理代を始め、自動車保険代、ガソリン代等、車に関する費用を節約するという声が多い。新型コロナウイルスの感染者が急増している現在、不透明感という言葉では表せないような危機感を持っている。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しそうにない。
	×	一般レストラン（従業員）	・Go To Travelキャンペーンを早く終了してほしい。国と県で政策が違いすぎるため、統一してほしい。
	×	一般レストラン（従業員）	・来客数が少しずつ戻ってきたところで新型コロナウイルスの第3波である。ほとんどの補助金を使い、融資も残高が少なくなってきた。景気回復はまだまだ見込めない。
	×	観光型ホテル（支配人）	・ここ2か月ほどはGo Toキャンペーンが良い影響をもたらしているが、2～3か月後というところ、もうGo Toキャンペーンが終わる時期であり、現時点で2月の予約状況は前年の1割にも満たない厳しい状況である。つかの間のぬか喜びで終わってしまうかと思うと、この先は非常に気が重い。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルス感染の急激な拡大で、当地はGo Toキャンペーンから除外されていなくても、宿泊予約は多数キャンセルが出て、新規の問合せは止まった状態である。宴会は、年明けまでキャンセルが続いている。
	×	旅行代理店（経営者）	・今後、寒くなるに伴い新型コロナウイルス感染予防のためにますます不要な外出、行動が減ってくるので、飲食店の閉店が増えてくる。近隣のレストランも12月には閉店せざるを得ないと話している。その周辺の飲食店も2～3店舗閉店したばかりではなく、繁華街の近くのホテルも4月から休業しており、再開の見込みが立っていない。
	×	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの一部地域除外や期日終了に伴い、再び売上が悪化すると考えられる。
	×	旅行代理店（営業担当）	・急激な新型コロナウイルス感染の拡大に伴うGo To Travelキャンペーンのルール改定やメディアの露骨な報道により、既に申し込まれた旅行の取消しや新規申込みの減少で旅行業界はまた暗黒の世界へ落ち込むことが必至である。政府の方針転換は甚だ疑問で、観光業を助ける施策ではなかったのかと疑念を持つ。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症がまた増えてきていて、不要不急の外出を国が呼び掛けているので先がみえない。
	×	美容室（経営者）	・正月前は通常であれば来客数が増えるが、今年は半分近くまで売上が少なくなっている。1～2月は更に寒くなり来客数が減ると思われる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化しつつあり、ますます外出自粛をして来客数は減少する。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス第3波の影響が厳しい状況である。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの終息は見当も付かない。
	×	設計事務所（経営者）	・先につながる計画案件も現状ではない状態である。
	×	住宅販売会社（従業員）	・リフォームですら、今でなくとも少し待ってからという声を聞き、建築塗装業者からは、来年以降の工事予定が激減しており不安であると聞く。
企業 動向 関連		-	-
		窯業・土石製品製造業（社員）	・受注量が多く、納期を遅らせてもらっている状況なので、しばらくは受注量が増えそうな状況である。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で通販が増加する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(東海)		不動産業（経営者）	・12月の天候は例年同様に晴れの日が多いという予報ではあるが、今後も新型コロナウイルスの影響が少なからず続き、余計な出費を控える傾向は継続するとみている。公共交通機関利用者が減少している間は売上の厳しい状況が継続するが、少しずつ回復傾向になっていく。
		不動産業（経営者）	・業界的には景気は良くなると思われるが、成立価格等は下がっている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・客先でシステム構造をクラウド化し、関連グループ内でのシステムを入れ替えている。そのため、申請フローなど間接業務の改善が活発となっている。
		食料品製造業（経営企画担当）	・年末年始も例年にない対応を迫られ、予測困難な状況が続く。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスのワクチンの開発や感染者数の抑制ができれば好景気が訪れるが、2～3か月では難しい。今は人々の価値観が変わることも踏まえて、新型コロナウイルス終息後にに向けた事業の見直しに努める時期である。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いも数量が少なく、引き続き悪い状況が続くと考える。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・自動車向けの製造業が集中している米国中西部で新型コロナウイルスの流行が再燃しており、客先や代理店が次々と自宅勤務に切り替わっている。この状況では設備投資の話は進まない。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みが横ばいである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後も新型コロナウイルスが終息していないと考えるため、景気が良くなっていくとは思えない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・変化がありそうな材料がない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスワクチンの開発等への楽観視から株価は上がる傾向にあるようだが、実体経済が反映されている感覚はない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・世界的に新型コロナウイルスが終息し旅行需要が高まらなければ、航空業界は元には戻らない。
		建設業（営業担当）	・現場で仕事ができない、客と会えないとなると仕事が進まない。感染対策との兼ね合いもあり難しいと感じている。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス禍における生活様式、生産活動には大きな変化がないと思われる。
		輸送業（従業員）	・今年は夏頃に景気の底で、一度は脱した感があったが、また新型コロナウイルスによる規制が発生しそうである。以前から年内は様子見と思っていたが、このままでは年内で新型コロナウイルス騒動が収まるかどうかは微妙である。そうなると景気の見通しは立てにくい。
		輸送業（エリア担当）	・ヒトやモノの動きが低迷しているが、まだ先行きが見通せない。景気が上向き起爆剤のような案件がなく、長いトンネルをゆっくりじっくり辛抱強く前へ進んでいる状況である。出口の光がなかなかみえず、人々の経済活動への意欲はまだ低い。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍の状況がまだ続くと見込む。
		通信業（法人営業担当）	・特に飲食店関係は非常に停滞しており、知り合いだけでも2店舗の閉店が決まった。通信業界も9月以降は下降気味であり、数字にはみえない部分で庶民の生活はひっそりしている。
		金融業（従業員）	・先の見通しが立たないという人が多く、何ともいえない。
		会計事務所（職員）	・Go To Travelキャンペーンで催行されるツアーは多く、支給される地域共通クーポンを利用して土産も買うが、海外旅行ほどの支出はない。国内旅行も日帰りや1泊程度で、長期の旅行はまだ怖くて行く気にはなれない。少しずつ様子を見ながら慣らしていくといった感じであり、まだまだ上向きとは感じられない。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・先行きは不明である。先に向けてしっかりと対策し、前向きに全てのことを捉えようと考えている。何が起るかわからないため、早め早めの対応が必要である。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・受注量、販売量が多少回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス第3波の影響が次第に大きくなり、今後は景気が悪くなると思われる。	
	化学工業（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響を受けることが見込まれる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（従業員）	・やはり仕事量が少なくなるとの見方が強くなってきており、仕事の取り合いになるとますます悪循環になるのでは、という懸念が強い。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス第3波による影響が今後考えられる。製造業は稼働日数等の調整が入り、受注量の減少が見込まれる。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス感染防止による営業自粛要請や年末の自粛で、景気は良くならない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・国内外で新型コロナウイルスの影響が強く出てくるため、自動車の売上が減少するのではないかと考える。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスの第3波が来ているので、移動の規制が出てくると更に集客が伸びず、契約数にも影響するであろう。
		建設業（経営者）	・政治が不安定なため国民も不安になる。もっと自信を持って政治が行われれば景気は良くなると思う。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの不安が収まって人々に明るさが戻らない限り、景況はどんどん悪くなる。人の行動に制限のない新型コロナウイルス対策が現れることを切望する。
		通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響で消費全体が落ち込む。景気回復の見込みを立てることが、もはや難しい。
		金融業（企画担当）	・直近での新型コロナウイルスの感染拡大で再び自粛へ戻れば、飲食関連の業種を中心に、かなり厳しい状況に追い込まれざるを得ない企業も増加する。景気は悪化傾向になる。
		広告代理店（制作担当）	・年明けになっても、新型コロナウイルス感染が収束しない限り広告受注も今までどおりとはいかず、厳しくなると思われる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告やメール便などの広告物が、新型コロナウイルスの感染が増えたとその後は減少していくため、今後もそうなるのではと考えている。
		会計事務所（職員）	・冬季に入り世界規模で再び新型コロナウイルスの感染が拡大し始めており、景気の見通しが全く立たなくなっている。特に飲食業や観光業等の業績悪化に伴い、関連する産業から連鎖的に不況が広まってしまう可能性がある。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により受注数が大幅に減少する。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がある。終息が見通せないため、今後もまだまだ悪くなると懸念している。雇用も不安定になっており、希望退職者も周りで出てきて再就職もなかなか見つからない状況である。新型コロナウイルスの終息が鍵になってくる。
	×	鉄鋼業（経営者）	・当地域や我が国の工業を引っ張っている自動車生産が、現状より若干落ち着き、年末年始の動きが全く活発化しないことから、今年は、例年起こる動きが全く停滞している。
	×	公認会計士	・新型コロナウイルス第3波が経済に与える影響が大きい。ここまでの新型コロナウイルスによるダメージは、助成金や給付金でしのいでいるが、所詮は負債であり将来の返済は厳しい。新型コロナウイルスによる中小企業の淘汰が進む可能性がある。
雇用 関連 (東海)		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・次年度の予算策定に当たり、経済を回復するための戦略を各社が熟考すると思われる。そのなかで、人材増員も必ず組み込まれると考えている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・自動車生産は前年水準まで回復し、年度末に向けて緩やかではあるが右肩上がりを見込める。ただ、新型コロナウイルスの第3波の感染者数増加が気になるところである。
		人材派遣会社（社員）	・第3波による新型コロナウイルス感染者数の増加で忘新年会の予約が全てキャンセルになり、この先も求人はない。
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数の動向は新型コロナウイルスの影響で先行き不透明だが、改善しても大きな期待はできない状況である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・緩やかに改善する可能性はあるが、新型コロナウイルスの第3波の影響も踏まえると、恐らくほとんど変わらないと見込まれる。
		職業安定所（所長）	・前年同期と比べ新規求人数の減少が続いている。新型コロナウイルス感染拡大の第3波により先行きますます不透明となったことで、企業の採用計画への影響が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・個人飲食店からの求人が増加してきていたが、新型コロナウイルスの感染者拡大に伴いG o T oキャンペーンの縮小が行われた場合、観光、飲食店関係への影響がどれほど出るかによって、悪くなることも考えられる。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率が2年以上停滞を続けており、まだまだ厳しい。追加の大規模な経済対策を期待する。
		職業安定所（次長）	・求人、求職等の雇用情勢において改善を見込める材料が見当たらない反面、雇用保険受給者数、雇用調整助成金受給事業者数は若干減少傾向にあり、当面の間は小康状態が継続すると思われる。
		職業安定所（次長）	・新型コロナウイルス禍にあって、各種のG o T oキャンペーン事業への期待が大きかったものの、感染拡大の第3波の影響で先行きは不透明感を増している。直近数が月間の新規求人受理状況は、前年比で見ると減少幅は落ち着きつつあるものの、先行きの懸念は更に増す状況である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・不確実性の高い見通しをする企業もいまだに多く、転職希望者も様子見をする人が徐々に増加しているように見受けられる。
		人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響によっては、更に景気が後退する可能性もある。
		人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が出ると思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・主要客の自動車メーカーとの請負取引は、1月から予算削減が決まっている案件があり、所属拠点のエンジニア稼働率は今月よりも1～2%下がる見込みである。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスはいつ感染拡大が収束するのかが見通せない。収まったとしても、すぐに景気回復とは考えられない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・G o T oキャンペーンの求人への効果が出る前に、新型コロナウイルスの感染状況の悪化から自粛に揺り戻しとなったため、景気全般に良い兆しはない。本来は書き入れ時の年末年始に向けても売上が見通せない状況から、企業の業績悪化は更に続くと考えられる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が分からないため見通しが立たないが、感染者数が増加しているため景気は悪化すると思われる。
		職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向であり、先行き不透明感から新規採用をする事業者数の減少が見込まれるため、景気はやや悪くなると判断した。緊急事態宣言のような政策が発動されると、景気は更に大きく後退すると思われる。
		民間職業紹介機関（支社長）	・新型コロナウイルス感染者が減少するとは思えない。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・新型コロナウイルスの第3波ともいわれる状況下であり、雇用については慎重な見解の企業が多く見通しは良くない。ただ、少し収束に向かえば、即、正社員を登用ということではなく派遣で様子を見るという企業も出てくる可能性は大きく、期待したい。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・本学は医療系看護学校のため、医療機関の雇用状況、経営状況が顕著に反映される。現時点では前年並みの内定を確保したが、ここに至るまでの期間はかなり長期化した。不合格の増加、採用数減少の影響が大きいと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの承認等で世界的に株高の状況だが、求人数をみると新規求人は少なく、まだまだ不透明感が強い。

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		-	-
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染者が当地ですぐに増加するとはみていないが、インフルエンザの流行と重なれば閉古鳥が鳴くと考える。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・Go Toキャンペーンの成り行き次第だと考えるが、徐々に人は動き始めていると感じる。
		コンビニ（店舗管理）	・現状の売上は大幅に前年割れである。前年比で100%にならずとも、近いところまでの回復を期待している。
		タクシー運転手	・新年会などで外出の機会が増えると考えますが、新型コロナウイルス感染症発生前のような新年会は余り期待できないのではないかと考える。
		通信会社（営業担当）	・学生向けの販売数は伸びていくとみている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンに期待しているという声を周囲でよく聞く。ワクチンが出回れば消費も活発になる。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・ギフト時期に入り、仕入価格がかなり高騰している。ものの動きが活発になってきている証拠だと考える。当店でもかなり注文を受けている。ただし、今後今より良くなるかというと、そのまま足踏み状態だと考える。新型コロナウイルスの状況にもよるが、まだ客が前年並みに戻ってきているとはいえず、この先はまだ横ばいだとみている。
		百貨店（売場主任）	・冬本番を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大が脅威である。今のペースで感染者が増えれば外出を控える動きが加速する可能性が高く、来客数に大きく影響し売上の低迷につながる。
		百貨店（営業企画）	・少しずつ来客数は増加しているが、感染がまた広がるなど新型コロナウイルスの状況によっては外出を控えるようになるとみている。
		コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、生活様式が余り元に戻らない。
		衣料品専門店（経営者）	・様々なキャンペーンにより少し明るい兆しが見られるが、新型コロナウイルスの流行前に戻るには、なかなか時間が掛かりそうである。
		衣料品専門店（店舗運営）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、先の見通しが立てづらい状況である。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス禍の影響により、単身赴任や新生活向けの需要が遅れそうである。
		家電量販店（店長）	・Go Toキャンペーン等もあり、週末の来客数は一時的に減少したが、まだ家庭で過ごす時間が長いこともあり、大型冷蔵庫やテレビなどの需要が伸びている。
		乗用車販売店（経営者）	・県内でも新型コロナウイルスの感染者情報を毎日報道している状況なので、客への訪問活動が制限され、売上に大きく影響が出てくると考える。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売が続いたため、特に週末の来客数は多くなっているが、この先の新型コロナウイルスの状況次第である。
		乗用車販売店（役員）	・他産業も含め、全体的な回復とはいえない。
		自動車備品販売店（役員）	・自動車業界としては新車販売の低迷と納車日の遅れが多く、関連商品の販売にも影響している。今後も大きな変化が期待できない状況は続くともみている。
		住関連専門店（役員）	・冬季に入り外出の自粛や消費の低迷が十分に考えられる。また、昨今の解雇問題や事業規模縮小、ボーナス見直しなど、先行き不透明な状況が今後の消費に与える影響は大きいと考える。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・飽くまでも希望的な見方だが、これ以上悪くなってほしくない。	
	観光型旅館（スタッフ）	・今後のGo Toキャンペーンの延長、及び新型コロナウイルス感染の第3波への対応など状況の変化によって、景気が左右されると考える。	
	タクシー運転手	・1年で一番忙しい時期であるが、夜の飲食店でのタクシー利用は期待できない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・新機種を発売し来客数は増えているが、販売数が大きく変化することは見込めない。
		通信会社（役員）	・新型コロナウイルス禍で、契約数が大幅に増えることは予想し難い。これから閑散期を迎えるが、例年どおりの契約数で推移すると考える。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルス第3波の影響は楽観視できないものの、ここ数か月で大きな来場者数の減少はみられない。
		住宅販売会社（従業員）	・ワクチンなどの防御策を確立し、新型コロナウイルスが終息して経済が動き始めないと先は読めない。
		住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛かるまで、活発な動きにはなり得ない。
		商店街（代表者）	・最近の売上が多い理由は、Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポンの影響である。報道によるとホテルのキャンセルが増えているので、今後來客数が増える見込みは少ない。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・テレワークが今以上に進み、オフィス関連製品の需要はますます減少する。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・周りの状況が悪い。新型コロナウイルスの影響もあり、良くなるわけがない。
		百貨店（販売促進担当）	・外出自粛の動きが強くなり、来客数の減少を見込む。また、帰省や年末年始の行事が減り、装いや食事、ギフト関連にも影響が出ると考える。
		百貨店（販売担当）	・冬季の新型コロナウイルス感染者の増減が売上に大幅に影響する。家で過ごす時間が増え、店舗では短時間のショッピングで、必需品だけを目的とする購入がより拡大するとみている。しかし、家で過ごすために必要な商品は、やや高額でも購入する傾向があるため、一部の売場では前年並みかそれ以上の売上を期待する。食材、料理道具や周辺アイテム、部屋着などは期待できる。逆に旅行関連やビジネス関連は大幅な苦戦を見込んでいる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス第3波の影響による年末帰省客の減少、親族の集まりや忘年会、新年会の中止などによる消費の減少を懸念する。また、自粛期間が明けるとGo Toキャンペーンの影響でスーパーでの買物頻度が減り、悪くなる要因と考える。
		スーパー（店舗管理）	・新型コロナウイルス第3波による景気後退は免れない。業種によるが冬のボーナスは期待できず、所得の維持すら困難な状況で、生活費への配分が減少し財布のひもは必然的に固くなると考える。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルスの状況が急激に悪化している。現状でも来客数が前年割れしていることから、今後の厳しさを見込んでいる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・国内の新型コロナウイルス感染者数の増加に加え、県内の感染者数も増加傾向にあり、消費者の行動が再び慎重になる可能性がある。さらに、企業業績の悪化による冬のボーナス支給額の減少が予想され、現状は少し緩んでいる消費者の消費傾向が節約志向になるとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・北陸の新型コロナウイルスの感染者数は全国的にも非常に少ないが、観光地は混雑状態ですぐに悪化すると考える。
		一般レストラン（店長）	・いろいろ意見はあるようだが、Go To Travelキャンペーン、Go To Eatキャンペーンによって客が戻っているのは事実である。しかし、新型コロナウイルスの影響で、再び客足が細ると考える。
		一般レストラン（統括）	・Go Toキャンペーンで人が動くと、新型コロナウイルス感染者が増える。現状は経済を活性化し続けながら新型コロナウイルスの感染を抑制しようとしているが、年末年始に向かってこのまま感染者数が増え続けると、経済を止めなくても消費者が行動することに不安を抱く結果、景気が鈍ると考える。
		観光型旅館（経営者）	・1月末まではGo Toキャンペーンのお陰で予約は順調に入っているが、2月以降は非常に厳しい予約状況である。また、新型コロナウイルス感染者数の状況により、今後どうなるか全く予測が付かないのが現状である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス第3波の到来により、年始の宴会キャンセルが発生し、さらに宿泊のキャンセルも予想され、予断を許さない状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、回復傾向が見え始めた個人旅行を含め、旅行需要の冷え込みが更に続きそうである。
		通信会社（職員）	・全国的な新型コロナウイルス感染者の増加により、あらゆる活動や意欲の低下は避けられないと考える。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルス第3波の到来により、経済活動が冷え込むと考える。
		その他レジャー施設 [スポーツクラブ] （総支配人）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、新型コロナウイルスの脅威を自分事と捉えている人が今まで以上に自粛に向かうと考える。特に年末休暇後の新年早々の感染拡大が不安である。
		住宅販売会社（従業員）	・世の中が外出自粛ムードになってくるとイベントでの集客ができなくなるので、人脈頼りの営業活動しかできなくなる。年末に向けては通常の年でも契約数が減りやすいのに、自粛ムードによって期待を持ちにくい状況である。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス感染者が増加し、住宅展示場等への来場などの動きが鈍くなるとみている。
	×	商店街（代表者）	・寒くなるにつれ新型コロナウイルス感染者の増加は避けられず、外出制限が始まると人出は見込めない。パーゲンセールを開催しようとしても、3密状態が怖くてとても従来のように大々的には開催できない。売上減少は必至だと考える。
	×	スーパー（店長）	・Go Toキャンペーンで観光や飲食関連では持ち直しの向きがあるが、先行きが不透明ななか、企業の投資は見込めず、製造業に不況の兆候がみられる。
	×	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が今後より深刻になりそうである。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが再流行している。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波と言われたり、不穏な世界情勢では明るい予測ができず期待できない。
	×	テーマパーク（役員）	・新型コロナウイルス感染の全国的な拡大と、冬季における流行などへの懸念から、比較的動いている個人客のキャンセルや利用減少が前年同月と比べて多くなるとみている。また、団体客やインバウンド客は全く見込めない状況である。
	企業 動向 関連 (北陸)		金属製品製造業（経営者）
		繊維工業（経営者）	・この先1～3月をみると数値が少しずつ出てきており、やや良くなっていくと考える。
		一般機械器具製造業 （経理担当）	・自動車メーカーが軒並み業績を上方修正するとともに、生産も大きく回復してきていることから、ほとんどのサプライヤーでは前年同期並みまで生産が戻ってきている。一方で産業用は上期ほどの堅調さはみられず、受注が若干下方気味に推移してきている。
		司法書士	・住宅新築のための土地購入の依頼や新規事業のための会社設立の依頼が多くなっている。
		食料品製造業（経営企画）	・ここに来ての第3波である。新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない状況で前年とは全く異なる年末年始の需要期を迎えることになる。プラス要因もあればマイナス要因もあるが、トータルでどちらに転ぶか見通しは立っていない。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・国内の感染者数が再び増加するなど、まだ予断を許さない状況が続くと考える。本格的な回復にはかなりの時間を要するとみられるものの、経済活動も徐々に回復基調にある。
		一般機械器具製造業 （総務担当）	・欧米でも新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、営業活動の制限が続いている。また、国内も設備投資意欲が上がってこない状況である。
		精密機械器具製造業 （役員）	・プラスとマイナス両方の要因があり、正直何とも言えない。海外については、新型コロナウイルス感染状況の悪化に伴いマイナスであり、国内については新しい取組によるプラスと、自粛ムードが進めばマイナスになるという状況が混在している。
		建設業（経営者）	・これまで受注した工事の完成に向かって、現場の忙しさは変わらないだろう。また、今冬はここ2年の小雪とは違いかなりの降雪が予想されている。除雪作業が加わり、工事部門は休日出勤も見込んでいる。
		通信業（営業）	・販売量は3か月前と比べ前年に戻りつつあるものの、補助金活用案件が多い。今後も補助金が継続するのであれば景気は上向き傾向になり、打切りの場合は現状維持若しくは停滞すると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資担当）	・観光や飲食関連の需要は回復傾向を示し、全体的な景況感 は底を脱した感はある。しかし、足元で新型コロナウイルス の感染が拡大しており、年末に掛けて経済活動が再び停滞す るおそれがある。
		不動産業（経営者）	・時間の掛かる案件である法人関係の間合せが激減している 上に、個人の事業者関係の話も出てこないという状況であ る。
		税理士（所長）	・ニュースでもあるように、新型コロナウイルス感染症の状 況が最近厳しくなり、若干回復していた観光業や観光バス事 業関係でキャンセルが増え、冬に向けての見通しが暗くなっ ている。また、製造業では請負製造を中心に、工事関係では 請負工事を中心に、手持ち案件が減少しているのが現在の状 況ではないかと考える。ボーナスも下がる予定で、非常に先 行きが心配である。
	×	建設業（役員）	・先行きの不透明感がより一層強くなっていると考える。
	×	輸送業（役員）	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルス第3波がGo Toキャンペーンの経 済効果を打ち消しつつある。年末年始に向けての季節的な需 要は大きく落ち込む見込みが強い。また、取引先のヒアリン グによると、夏に続き冬のボーナスも大幅カット、若しくは 支給見送りを予定している所が多く、個人消費についても冷 え込む見通しである。
	×	新聞販売店〔広告〕 （従業員）	・11月も前年割れである。Go Toキャンペーンについ ては、旅行、飲食共に折込広告の売上には反映されていない。 12月の折込予定も例年の勢いは感じられず、新型コロナウイ ルス第3波の影響を被るのではないかとみている。
雇用 関連		-	-
(北陸)		人材派遣会社（役員）	・派遣登録者が少ない。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・求人情報に掲載している会社の数が伸びない。
		新聞社〔求人広告〕 （営業）	・良い要素がない。新型コロナウイルス感染者数が増え、年 末年始に向かってマインドが落ち込むと考える。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないなか、当面は 先行きが不透明な状況が続き、求人や投資への意欲はすぐに は改善しないものと考える。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスによる影響の改善がみえず、一部業種 以外の新規求人の増加がみられない。
		民間職業紹介機関（経 営者）	・人事担当者によると、まだしばらくは求人を控える雰囲気 があり、景気回復による生産の増加次第で雇用を考えたいと のことである。
		学校〔大学〕（就職担 当）	・状況の変わる要素がない。
		人材派遣会社（社員）	・新年度に向けた要員計画が始まっており、役所関連の2部 署から更新しない旨の連絡を受けている。派遣要員の雇用打 ち止めとなり、2名が失職となる。既存要員の活用、分担見 直しによる影響だと推測する。
		職業安定所（職員）	・冬季に新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されているこ とが影響してか、年明けの状況が不透明という事業所が多 い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		通信会社（社員）	・当面、半年以上は変わらないとの予測であるが、年末年始に掛けての伸び代はあると感じる。
		百貨店（マネージャー）	・暖冬や外出の自粛といった悪い材料の影響が懸念されるものの、2021年を新たな気持ちでスタートしたいという前向きな雰囲気もあり、年末年始のリベンジ消費が期待される。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン開発が進み、実用化が期待されるほか、米国の政治情勢の安定も予想されるため、株価が高値で安定する。それに伴い、富裕層の購買意欲が高まることが予想される。
		スーパー（店長）	・現状は更に新型コロナウイルスの感染者が増える傾向にあり、年末年始を自宅で過ごす人が増えると考えられるため、関連の需要が増える。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が再び増えれば、ふだんは来ない客が来店するようになり、売上が増えると予想される。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来し、やや横ばいの状態が続いている。今の状態のまま横ばいが続き、その後収束に向かえば、売上や景気は上向く。
		家電量販店（人事担当）	・自宅で過ごす時間が長くなることで、家のなかでの生活を充実させるための商品が動く予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売台数は減少しているが、中古車販売が少しずつ増えているほか、中古車の価格が上昇してきている。
		乗用車販売店（販売担当）	・受注ベースで先に売れているため、2～3か月後は今よりも販売台数が増える見込みである。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新カタログが発刊されるほか、新型コロナウイルスやインフルエンザが流行する時期になるため、マスクなどの受注に期待している。
		高級レストラン（スタッフ）	・自粛ムードのなかでも、クリスマスディナーは例年どおり開催できることを期待している。
		観光型旅館（経営者）	・12～1月は好調であるが、2月以降の予約が前年比で90%減となっている。
		都市型ホテル（フロント）	・Go To Travelキャンペーンが継続される場合は、利用が増えると予想される。その一方で終了することになれば、料金が客の予算に見合わない場合、稼働率は下がることになる。そうなれば価格を下げての販売となるため、収入増加は余り見込めない。
		商店街（代表者）	・6月以降は余り大きく変わっておらず、年末も期待できない。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で、発注が停滞している。取引先の店舗で買い控えがみられる状況では、景気回復の見込みは薄い。
	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・ワクチンなどの接種がスタートしない限り、今の状況が続くと感じている。	
	一般小売店〔野菜〕（店長）	・Go To キャンペーンも、ここへきて戻す癖みになりつつあるのが現状で、個人店舗にはかなりの痛手となっている。今後3か月ほどで立て直すのは非常に難しく、来年になってワクチンがどの程度利用できるのかは分からないが、もう少し政府主導できちんと対応しなければ、日本経済の未来はない。	
	一般小売店〔呉服〕（店員）	・奈良県の新型コロナウイルスの感染者数が増えつつあり、今後重症者が増えれば、更に悪くなる。	
	百貨店（売場主任）	・米国大統領選挙をめぐる動きも一段落し、新型コロナウイルスに対するワクチン開発で株価も大きく上がるなど、景気の回復が期待される。ただし、日本の企業の大半は業績が悪化しており、一部の富裕層を除けば、消費者の所得は減少し、雇用状況も悪化している。このような状況では、景気回復には時間が掛かると予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（服飾品担当）	・年間で売上が最大となるクリスマス商戦に関して、飲食店等への時短営業の要請などによる影響で、厳しい状況になることが予想される。フクチンなどの明るいニュースはあるものの、人の動きが制限されるなかで、ギフト需要は大きく冷え込む。年末年始も同様の状況が考えられることから、現状に近い推移が予想される。新型コロナウイルスの感染が長期化するなかで、Webや問合せ販売などの新たな販売方式は好調に推移しているため、今後も拡大するとともに、オンラインとオフラインを併用した対応が重要となる。
		百貨店（サービス担当）	・今月末から新型コロナウイルスの感染第3波により、外出などの自粛で来客数が減少する見込みであるが、インターネット通販の売上が好調に伸びているため、売上は2～3か月前と同じような推移となる。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大がどのように進むのかが不透明である。ここで生産活動が止まるようなことがあれば、今以上に景気が悪化する可能性はある。
		百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスに慣れてきたことで、売上は低位ながらも安定すると予想されたが、感染第3波の拡大に伴い、売上、来客数共に減少してきている。積極的な販促策、来店施策を打つことも難しくなっており、当面は宣伝費などの経費を削減し、しのいでいかなければならない状況である。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染に関して、検査数が増えているとはいえ、陽性者数が多数出ているなか、誇張した表現での報道は経済をより停滞させる原因になっている。感染の拡大当初から、状況は変化していないように感じる。やはり、フクチンの接種が始まるまでは、今の状態が続くと予想される。
		百貨店（商品担当）	・全体的に改善傾向であった来客数が、前月の後半から再び減少気味である。Go Toキャンペーンで国内需要を喚起し、外国との交流再開でインバウンド需要を回復させようとした矢先に、前回は上回る感染再拡大となった。景気回復策も見直しを迫られており、当面は厳しい状況が続くそうである。
		百貨店（特選品担当）	・当面、経済と感染対策のバランスを取る状況が続くそうである。また、消費者もこの状況に慣れてきたというよりも、この状況が普通になってきているため、当面は変わらないと予想される。
		スーパー（経営者）	・Go Toキャンペーン事業の見直しなどで、外食の機会が大幅に減り、テレワークも再び拡大することが予想される。結果として、家庭での食事回数が増え、少し低迷し掛かっていた購買が増えそうである。ただし、同業種、異業種を含めて競争が激化しているため、利益面では厳しくなると予想している。
		スーパー（店員）	・来月も新型コロナウイルスの感染が落ち着いた限り、変わらないと予想される。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと予想されるため、現在の状況が続く。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者の増加が続いており、感染第1波、第2波の状況を超えてきている。Go To Eatキャンペーンにより、外食の需要回復が進んでいたが、再び肉食に回帰する可能性が高く、業種による好不調の差が再び鮮明になる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が今よりも落ち着いたとしても、企業のテレワークの動きは今後も続きそうであり、来客数は今後も低水準で推移することが懸念される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しもみられず、しばらくは今の状態が続くと予想される。
		コンビニ（店員）	・工事が終わるまでは、今と同じような来客数が続く。新型コロナウイルスの影響は余り出ていない。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・スーツを着ない人が増えている。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いた限り、景気が良くなるとは考えにくい。
		家電量販店（店員）	・下期に購入するはずであった客が、上期に助成金で購入しており、売上が先食いされている。
		家電量販店（店員）	・壊れた設備の交換需要はあるため、あとは市場のシェアをどれだけ取れるかが重要になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店員）	・景気は新型コロナウイルスに振り回され、先行きの予測が立たない。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者の増加状況からすると、しばらく在宅ワークや外出抑制も続くと予測されるため、販売状況は変わらない。
		乗用車販売店（経営者）	・約10日の周期で客足が激変し、全く読めない。高額車が売れないわけではないが、どこにお金が流れているのか、よく分からない。
		乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来していることから、経済活動の停滞のほか、公共交通機関の敬遠が進む。全体的には現状と変わらないと予想される。
		住関連専門店（店員）	・変わっていく要素がない。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・年末に向けて、新型コロナウイルスの感染が広がる。ただし、経済の活性化は難しいものの、大きな景気の変化はない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第であり、見通しが立たない。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・春先までは新型コロナウイルスの感染収束は厳しそうである。消費者の不安が取り除かれな限り、買物をする気分にはならない。
		高級レストラン（企画）	・Go Toキャンペーンのプラス効果はあるものの、感染第3波の影響で利用制限が続くことが予測される。
		一般レストラン（経営者）	・企業の年末年始の休みが長くなるといわれており、外食の機会が増えると期待したが、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者が増えそうで、楽観はできない。
		一般レストラン（企画）	・Go Toキャンペーンによって上向きになると予測していたが、感染者数の増加により先行きが見えず、今後不透明な状況が続くと予想している。
		観光型ホテル（経営者）	・全て新型コロナウイルスの影響である。今後感染の第3波、第4波が来れば絶望的である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊はGo To Travelキャンペーンの一時停止による影響は少なからずあるが、ビジネス街ということもあり、余り大きな変化はなさそうである。宴会は相変わらず、食事を伴う宴席は僅かであり、会議のみスペースを広くとって開催している。新年互例会も中止が相次ぎ、先行きが見えない状態である。一方、レストランはGo To Eatキャンペーンの利用のほか、一般客のランチ需要も高まっている。感染対策を進めることで、今後も集客は増えそうである。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況による消費者心理の変化のほか、国や自治体の政策などに左右される。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大している状況であり、先が読めない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス不況の終わりがみえない。
		競艇場（職員）	・7～8月と全国的に売上が伸びていたが、9月以降はやや落ち着いてきた感がある。引き続き、高い水準で現状維持ができるかどうかは、今後の新型コロナウイルスの感染状況に左右される。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・先行きは変わらないというよりも、分からないのが本音である。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・冬に向けての、新型コロナウイルスの更なる感染拡大が最大の懸念である。株価が实体经济以上に上がっており、ピークアウトの状況次第では、更に消費が冷え込む。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・11月でプロ野球が終了し、12月～2月はコンサートの開催が5日間予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では中止になる可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明であり、現状と大きくは変わらないと考えている。
		美容室（店員）	・美容に関しては、良い商品にお金を使う傾向が強まっている。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・本格的な冬を迎えて、新型コロナウイルスの感染がどのように拡大するかが予想できない。
		住宅販売会社（経営者）	・飲食、宿泊関係は大きなダメージを受けると予想されるが、不動産の流通に関しては、賃貸、売買共に、大きな落ち込みや価格の下落は感じられない。ただし、宿泊関連用地は例外である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・不動産に関しては、ホテルや商業施設、オフィスは厳しい状況が続くものの、住宅や物流に資金が流入する傾向が、新型コロナウイルスの感染が収まるまでは続く。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・新型コロナウイルスによる影響からの、本格的な回復にはまだ時間が掛かるものの、着実に住宅に関する意識は全国的に高まっている。消費者の意識の変化に伴い、将来的に住宅の購入が増えることが期待される。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・3月の年度末に向けて、多少の駆け込み需要はあるとしても、慎重にならざるを得ない。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染の報道が落ち着いたと感じたが、その後、急速に感染が広がってしまい、先行きが暗くなってきた。良くなる気配が感じられず、暗い時期が続く気がする。景気の改善について考えること自体が、むなしく感じる。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が今のままであれば、外出を控える動きが長引き、年末年始の売上に大きな影響が出る。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・年末の繁忙期が過ぎると、1～2月は大きく悪化し、宴会の商品受注もない。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響で、この先は時短営業などが必要となる。年末に向けて人の動きに活発さがなくなり、需要が低迷することが懸念される。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、予断を許さない状況である。
		百貨店（企画担当）	・当地域でも今まで以上に新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、当社の重要な客である、高齢者の来店がますます減ることが予想される。
		百貨店（企画担当）	・直近の新型コロナウイルスの感染状況は急激な拡大をみせている。大阪府からは一部の地域で営業時間の短縮や休業の要請が出された。今後しばらくは、8月頃のような外出自粛ムードが高まり、売上は減少傾向に転じると予想される。
		百貨店（販促担当）	・気温の低下とともに感染者数が拡大するなか、真冬の感染状況が景気を大きく左右しそうである。気温は低めの推移であり、前年は暖冬で動かなかった重衣料を中心に、単価の高い防寒関連素材の動きに期待できる。ただし、感染が拡大して何らかの自粛要請が出れば、都心での人出や購買心理に大きな影響があるため、全く楽観できない状況である。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大による規制強化や、消費マインドの低下により、自粛ムードの強化が予想される。
		百貨店（売場マネージャー）	・現状の売上や来客数から判断すると、これからも景気が悪くなりそうである。給与やボーナスの減少、飲食店関係の休業などの加速が主な要因である。新型コロナウイルスの感染は20年1月頃から始まったが、今後も感染が増加する可能性がある。
		スーパー（店長）	・株価は、米国の新政権への移行に対する不安の払拭や、新型コロナウイルスのワクチン開発といったプラス要素で上昇傾向にあるが、個人消費は冬のボーナス削減や企業業績の悪化に伴うリストラなど、不安材料が多く、冷え込む可能性が高い。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、専門店を中心とした落ち込みが考えられる。
		スーパー（販売促進担当）	・株価は落ちていないが、所得が落ち込んでいる人が増えている状況から、今後は景況感が上向くとは考えにくい。一気に落ち込むことは予想していないが、緩やかな減退傾向となりそうである。
		スーパー（社員）	・新型コロナウイルスの影響が長引くなか、今後はかなりの数の会社で業績が悪化し、ボーナスの減少や雇用の調整が進むと予想される。現状は堅調な食品への支出も、所得の減少による影響を次第に受けて、減少に転じることを懸念している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が広がっている間は、Go To キャンペーンも中止となるため、販売が落ちる。
		コンビニ（経営者）	・Go To Eatキャンペーンの新規予約終了や新型コロナウイルスの感染拡大など、消費者へのプラス要素がない。雇用情勢の悪化や、中小企業の売上減少といった不安材料も解消できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えて、テレワークの増加などで、世間が再び自粛ムードになりそうである。
		コンビニ（店員）	・上向いていくよりも、悪くなっていくような気がする。客とのやり取りでも、余り前向きな話が聞けないのが現実で、支払のついでに買物して帰る人も、以前に比べて少なくなったように感じる。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染者が増えて、大阪の飲食店などに営業時間の短縮要請が出たり、外出も控えるようになるため、企業の活動にも影響が出る。
		乗用車販売店（経営者）	・企業業績の悪化に伴う、個人所得の減少による影響が顕在化する。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染の第3波が深刻化しているため、今後は悪くなることが予想される。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・11月中旬以降、新型コロナウイルスの感染者数が1日ごとに増加している。更なる感染防止のため、飲食店の営業時間短縮のほか、各行事も自粛傾向にある。実施する場合も、少人数で短時間となるため、消費は落ち込む。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が、米国や欧州のように強く出ることが心配である。米国大統領が代わり、日本に対してマイナスの影響が出るかもしれないため、少し悪くなると予想している。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・今年はボーナス商戦に期待できないため、ぜいたく品の売上は厳しくなる。一方、生活必需品に関しては売上が伸びると予想される。
		観光型ホテル（経営者）	・11月20日頃からは新規の予約も激減しているため、今までのようにGo To Travelキャンペーンの利用客がどんどん来ることはなくなる。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、キャンセルが始まっている。
		観光型旅館（団体役員）	・新型コロナウイルスの感染が近接県で拡大傾向にあるため、観光客の動きが鈍化すると予想される。
		都市型ホテル（総務担当）	・大阪市がGo To Travelキャンペーンの対象地域から除外されたほか、大阪府から5名以上の宴会自粛や営業時間の短縮要請が出たことで、宿泊と宴会、レストランの全てにわたってキャンセルが発生している。今後は感染が一定程度収束しなければ、客は戻ってこないと考えられる。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・Go To Travelキャンペーンの対象地域から大阪市が除外されたことで、12月半ばまでは回復が見込めず、その後も除外が延長されれば、景気は良くならない。現時点での客室の状況は新規予約がほぼなく、キャンセルの方が多いため、仮に延長されなくても、良くなる見込みがないように感じる。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が寒さの影響で増えるのであれば、これから冬に向かっていく中で、先行きは暗い。ワクチンや治療薬ができない限りは、この状況が続くため、先行きは悪くなると予想される。
		タクシー運転手	・少し人が動き出した途端に、Go Toキャンペーンが止まったため、それに伴って神戸の人出も少なくなりそうである。
		タクシー運転手	・Go Toキャンペーンなどの施策による客の乗車機会の増加に期待したが、増収には結び付いていない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染抑制のためのブレーキを強く踏まなければならないため、年末に向けて悪くなる。ワクチンの普及により、経済政策のアクセルが踏めることを期待している。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波による低迷が懸念される。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の原因は人の移動ではなく、食事の方に大きな原因があることを、何となく肌感覚で感じる。消費拡大のため、Go Toキャンペーンを実施していることが、一部でその拡大につながっていることも間違いなさそうで、何をやっても八方ふさがりの状況になりつつある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加と比例して、早々と消費者の出控えがみられる。これから冬に向かう中で感染拡大の懸念は拭えず、厳しい見通しを想定している。各種のGo Toキャンペーンは感染が落ち着いた状況では効果があるため、まずは国を挙げて感染予防に努めるべきで、当社も感染予防と事業継続の両立に全力で取り組む予定である。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、プレーキが掛かることは避けられない。
		その他サービス[マッサージ]（スタッフ）	・オイルマッサージでは服を脱ぐため、暑い時期よりも寒い時期の方が来客数は減少する。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波により、買い控えにつながらないかを注視している。
		その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、景気が後退すると予想される。
		その他住宅[展示場]（従業員）	・大阪府は全国でも新型コロナウイルスの感染者数が最も増加しているため、今後はステイホームの動きが加速すると予想される。
		その他住宅[住宅設備]（営業担当）	・冬のボーナスは例年どおりの支給が難しい。本格的な冬を迎え、新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのかも非常に不透明である。今年はマスクや消毒液、オフィスのパテーションなど、感染対策による経費がかなり増えている。
	×	一般小売店[衣服]（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの感染者は増えていくと予想される。政府の方針は、感染予防と同時に経済の回復を狙うというものであるが、今の状態を考えると、まずは感染予防の必要性を感じる。そうなれば経済は止まってしまうものの、それでも医療の崩壊を考えれば、感染予防に力を入れるべきである。
	×	一般小売店[花]（店長）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
	×	百貨店（売場主任）	・もはや新型コロナウイルスの感染状況次第の部分があり、景気の予想は極めて難しい。はっきりとした治療法やワクチンの開発など、感染の克服に向けた方向性が出ることを期待している。
	×	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染第3波が到来し、これにインフルエンザの感染が加われば、更に来客数の落ち込みが予想され、売上はより厳しくなる。
	×	百貨店（宣伝担当）	・大阪の繁華街の飲食店に対する営業時間の短縮要請で、人出が今以上に減ることが予想される。取引先も販促費や人件費を抑えているため、年末商戦も期待できず、更に厳しくなると予想している。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第3波が拡大中で、Go Toキャンペーンの見直しもあるため、景気は停滞すると予想される。
	×	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大のため、今後は高齢者中心に外出を控える人が増えそうである。また、緊急事態宣言が出される可能性も高まっている。
	×	スーパー（店員）	・新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者数が増え続け、外出が控えられることで、売上も落ちる。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、全く先が読めない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染は更に勢いを増しており、周囲の飲食店も閉店し始めている。景気の悪化が、そのまま来客数や客単価に影響してくると予想される。
	×	コンビニ（店員）	・外出などを自粛する人が多くなると予想される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・感染の防止によって売上が減少して倒産するか、新型コロナウイルスに感染するかという2つの選択になれば、感染しても経済を回した方が良いと感じる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの治療法が確立しない限り、売上の回復が見込めない。また、ワクチンの接種が始まらない限り、景気の回復は難しい。
	×	住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が今年の春先よりも拡大しているため、景気が悪くなるのは明らかである。売上の中心である高額商品は、対面式の商談がどうしても必要になるため、売上の落ち込みは長期化が避けられない。
	×	その他専門店[宝飾品]（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波といわれるなか、来客数も売上も伸びる要素が見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・4月以降、客の買い方が急激に変わるなか、いまだに商店街では従来の販売を行っている。Web販売や宅配、キャッシュレス払いなどの活用が進んでいない。
	×	一般レストラン（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は続き、特に飲食業界への悪影響はまだまだ続きそうである。ここまですれば、本当の意味での体力勝負ではないかと感じる。
	×	一般レストラン（店員）	・寒くなれば、新型コロナウイルスの感染者数が増えてくるため、来客数は減少する。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・2か月前までは新型コロナウイルスの感染者が減少していたように感じ、来客数も徐々に戻りつつあったが、ここ2～3週間で急激に感染者が増加し、来客数が激減している。この先もしばらくは現在の状態が続く。ワクチンが開発されない限り、新型コロナウイルスとの共存といっても、元の生活に戻るのには難しい。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・今は何とか耐えているが、新型コロナウイルス感染拡大への対応がそれぞれの判断に任されている以上、今後はどちらに転ぶのか、明日のことも読めない。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響により、宿泊予約のキャンセルが発生し始めている。また、宴会についても前向きに動き始めていたが、ここへきて一気に逆戻りしている。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・Go To Travelキャンペーンの効果で需要が増えていたが、札幌市と大阪市が除外となり、キャンセルが増えている。これから我慢の3週間が始まるが、医療崩壊を防ぎ、感染の拡大防止が最優先となる。
	×	旅行代理店（役員）	・更なるキャンセルの増加や、団体客の予約延期、海外需要も壊滅状態にあるなど、好条件が見当たらない。
	×	観光名所（経理担当）	・現在は既に感染の第3波といわれ、一部の地域がGo To Travelキャンペーンの対象から除外されている。もともとコロナウイルスは感染が冬に広がるものが多く、新型コロナウイルスも例外ではないため、感染防止の動きが強化され、観光に出掛ける人が少なくなる。
	×	観光名所（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染の第3波により、大阪がGo To Travelキャンペーンの対象地域から外れることから、微増となっていた来場者数も再び減少する。
	×	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大への懸念がある。万が一、春先のように営業自粛になった場合の影響は、見当が付かない。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン開発が見込まれているが、治療薬が開発されるまでは先行きが見えない。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は販売量に大きく出ており、前年と比較しても30%ほど落ち込んでいる。新たな商品の販売を拡大中で、少しずつ効果が出ているほか、もう一種類の新品を今年中にサンプル合格させ、来年には軌道に乗せたい。それに伴い、売上、利益共に増加する見通しとなる。
		建設業（経営者）	・例年であれば、時期的には受注が増える。また、新型コロナウイルスの影響が長引くなか、取引先が積極的に仕事を取りに行っているという話を聞くため、今後は受注が少しずつ増えていく。
		金属製品製造業（開発担当）	・例年、年末は忙しくなるため、暇にはならない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が増えており、大型案件の受注が見込めそうである。
		輸送用機械器具製造業（役員）	・自動車関連メーカーを始め、次年度の計画に向けた、新規設備の見積依頼が増えている。
		輸送業（商品管理担当）	・この時期はお歳暮やクリスマス、正月などで、2～3か月間は販売量が増える。今年も新型コロナウイルスの影響はあるものの、同じような動きとなる。
		通信業（管理担当）	・ボーナス商戦でやや活気付くと予想される。
		食料品製造業（従業員）	・外出の自粛ムードが高まってきており、外食関連は引き続きかなりの落ち込みが予想される。一方、家庭向けは逆に伸びる可能性があり、トータルではマイナスか現状維持かという、微妙なところである。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大は今後も続くため、景気はしばらく変わらない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・先行きについては、新型コロナウイルスの感染状況次第である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響で受注量の改善はなさそうである。
		化学工業（管理担当）	・取引先の需要予測によると、10～11月と出荷量が回復してきた状態が続きそうである。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・4月以降の先行きは読みにくいが、受注残があるため、3月までは現状維持で推移しそうである。
		金属製品製造業（経営者）	・全体的には5～8月に大きな落ち込みがあったものの、在庫調整的な面もある。今後は新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、年内はこの状態で推移しそうである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後も大きく状況が改善する予兆はなく、しばらくはどん底の状況が続きそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・10月まではやや良くなると思っていたが、11月に新型コロナウイルスの感染者が増え始めたため、その期待は消えた。何か特別な計画を立てないと、しばらくは抜け出せないと感じている。
		輸送業（営業担当）	・利益の少ない大手通販の荷物を他社に取られた影響で、売上はかなり落ちるが、利益は増えることになる。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・画期的なワクチン開発といった抜本的な解決法などがない限り、景気が良くなることはない。現時点では、先行きは暗いと感じられず、悔しい限りである。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・現状では上向き要素がない。
		広告代理店（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		広告代理店（営業担当）	・今年になって、紙媒体、Web媒体共に、広告売上が前年を下回る状態が続いている。
		広告代理店（営業担当）	・冬の間は、今のような広告出稿の状況が続きそうである。
		経営コンサルタント	・街中の人出は増えても、売上の増加には結び付いていない。新型コロナウイルスで止まっていた新規出店や新規事業を何とか再開させる動きは出てきたが、感染の第3波で先行きがみえない。当然ながら、経営者はこの状態が続くと考えており、いつまで持ち堪えられるかで悩んでいる。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・また新型コロナウイルス対策で動きが悪くなりそうである。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せないまま、トンネルに入ったような状況が続いている。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・現在は新型コロナウイルスの感染第3波が到来しており、その影響がどこまで出るのか不透明なため、予測が難しい。
		繊維工業（総務担当）	・大手取引先の在庫が減少しなければ、新規の受注は難しい。新型コロナウイルス問題が解消しなければ、景気は良くなると判断している。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きの状況が不透明である。
		化学工業（企画担当）	・Go Toキャンペーンの影響のほか、夏季の食品需要低迷期が過ぎたこともあり、現在は需要が伸びているように感じるが、新型コロナウイルスの陽性者が急増し、年末年始の特需も縮小するため、需要は減少すると予想される。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・本来であれば、年末年始にかけて人の動きが活発になる時期であるが、Go Toキャンペーンの見直しなど、明るい材料に乏しい。ワクチンの開発が進んでいるため、安全性を見極めながらではあるものの、うまく接種が進めば、経済状況にも明るい兆しが出てくる。
		金属製品製造業（営業担当）	・建築関係の仕事は、徐々に案件が少なくなっていると聞いており、今後は減少が予想される。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は先行き不透明であるほか、本来は影響の少ないはずの業種まで、ボーナスや給与が減少し始めている。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、消費にも影響が出てくると予想される。
		建設業（経営者）	・これから本格的な冬を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大が予想されるなか、住宅関連への投資意欲も低下することが懸念される。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により、配達を拒否する人も多いため、この状況が落ち着かなければ元には戻らない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス関連の支援策が今年で終わることから、まだまだ先行きが不安である。今月に入って感染が拡大しており、業況はかなり厳しい。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染第3波の影響は、もう少し続くことが予想され、若干景気は悪くなると予想される。
		不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、今後2～3か月は大阪や東京発着のGo To Travelキャンペーンが中止になる可能性が高い。人の往来が少なくなれば、景気は悪くなる。
		経営コンサルタント	・身の回りの小売業を中心にみると、持続化給付金やGo Toキャンペーンなど、政府の刺激策によって若干上向いている。ただし、経済全体でみると厳しく、消費者の節約ムードが依然として強い。
		司法書士	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いている。キャンペーンの停止などで済めばよいが、今後は寒さも加わるため、不安が続く。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染第3波が拡大するなか、大規模な自粛要請などが考えられることから、経済へのダメージが懸念される。
	×	繊維工業（総務担当）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続きそうで、先行きは楽観視できない。
	×	化学工業（経営者）	・現在、新型コロナウイルスの感染第3波が来ていると報じられているが、前回の第2波の際も、発生から2週間～1か月後に受注が悪化し、1か月～2か月後に大きく売上が悪化したため、今回も同じような動きになると予想される。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの感染者が増えているため、影響が出てくるかもしれない。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たないほか、感染が拡大傾向にあるため、メーカーにとっても先のみえない状態が続いている。
	×	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・当面、地合いの回復は見込めない。
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見込めず、今後の展望が開けない。	
雇用 関連 (近畿)		-	-
		人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第というところはあるが、2～3か月後には冷静な対応が浸透してくることを期待している。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、何ともいえないが、年度末に向けては上向いてくると予想される。
		職業安定所（職員）	・10月の新規求職者数は、前年度とほぼ同数となった。特に、9月の大型連休以降は高齢者の新規求職が増えているが、求人が少ないため、今後は有効求職者が増えることが予想される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数の前年比での減少幅は、10月に比べて小さくなっている。ハローワークでの紹介件数の減少幅も縮小傾向にあり、求職活動の活発化が期待されるものの、新型コロナウイルスの感染第3波の影響による採用活動の停滞が懸念される。
		職業安定所（職員）	・今後のGo To Travelキャンペーンの実施次第で変わる。飲食店は少しずつ回復してきているが、新型コロナウイルス感染の第3波が来ているため、何ともいえない。
		人材派遣会社（経営者）	・IT関連だけではなく、様々な業種で企業の採用意欲が冷え込んでおり、この動きは年度末まで続きそうである。政府の補正予算で公共事業への予算がつけば、忙しくなってくることが予想され、採用意欲は少し上向きそうである。ただし、新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ先がみえず、今後とも右肩下がりで沈んでいく。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、経済の動きが停滞している。企業の求人活動も様子見の状況で、良い人材がいれば採用するというスタンスである。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・重症患者の病床数や軽症者用の隔離施設の数に余裕がないことをみても、政府の対応がこれまでと同じように後手に回っているように感じる。新型コロナウイルスの感染者数が減っていく見込みが立たない以上、景気も良くはなっていない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが増しており、一時的に景気は悪化に向かうと予想される。期間限定であるが、一部の地域がGo To Travelキャンペーンの対象から除外されたほか、飲食業に対する営業時間の短縮要請により、宿泊業や飲食業は再びダメージを受ける。米国大統領選挙の結果や、新型コロナウイルスのワクチン開発に見通しが立ったことを好感し、日米ともに株価は着実に上昇しているが、余りにも将来の景気を楽観的にみており、現在の景気を反映しているとは到底思えない。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染第3波とみられる状況から、新規求人数は減少し、新規求職者数は増加している。
		民間職業紹介機関(職員)	・新型コロナウイルスの感染の波が毎回大きくなっており、その都度、経済活動への影響が大きくなることが予想される。治療法を確立する道筋がみえなければ、求人数は厳しい状況が続くと予想される。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染の収束時期が読めない。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染者数の急増により、徐々に復活していた接客業の求人が減り、企業も人員の見直しを図ると予測される。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・2～3か月先は、ちょうど採用広報が解禁される直前となるため、企業の2022年の新卒採用計画がはっきりしてくると予想される。22年卒の学生のなかには、早くも民間企業を避けて公務員志望に転換する動きも出ており、不安感が大きいように感じる。
		学校〔大学〕(就職担当)	・今後の政策次第であり、どちらに向かうかは判断が難しい。
	x	学校〔大学〕(就職担当)	・新型コロナウイルスの影響で業績不振の企業が増え、求人数が未定であったり、削減する企業が多いと聞く。今後こういった企業は増える見込みである。

9. 中国(地域別調査機関:公益財団法人中国地域創造研究センター)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		乗用車販売店(営業担当)	・決算期に入り、客の動きも良くなるため、景気は良くなる。
		観光型ホテル(営業担当)	・年末にかけて先行予約が順調である。年末の宴会需要の回復は望めないが、個人の宿泊や今後の経済政策が期待できる。
		商店街(理事)	・客が新型コロナウイルス禍の生活に慣れてきているため、景気はやや良くなる。
		一般小売店〔靴〕(経営者)	・消費ムードが戻ってきていることから、年末年始の受注が見込める。
		スーパー(店長)	・来客数の増加傾向が続き、売上も増加する。
		スーパー(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響で外出が自粛されれば、年末年始の購買の増加が期待できる。
		スーパー(業務開発担当)	・外出、外食を控えた動きがしばらく続くため、クリスマスや年末商戦も強気の数字を計画している。
		スーパー(営業システム担当)	・新型コロナウイルスの感染者数の増加等の報道が多く、客が不安を覚えて外出を控えるため、主に食品の巣籠り需要が増加する。
		コンビニ(エリア担当)	・今後も景気の回復傾向が続く。
		家電量販店(店長)	・気温の低下につれて新型コロナウイルスがまん延し、家で過ごす時間が増加すると、快適に過ごすために必要なエアコン、暖房器具、加湿器が更に伸長する。
		家電量販店(販売担当)	・年末年始の新型コロナウイルスの状況次第であるが、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が多少あるかもしれないが、新型車の追加で商品のラインアップが豊富になり、最大需要期を迎えるので景気は良くなる。
		乗用車販売店(営業担当)	・決算直後は落ち込んだが、現在はやや復調気味であり、年末年始の繁忙期に入るため、客からの相談も増加する。
	高級レストラン(事業戦略担当)	・Go To Travelキャンペーンの延長が予定されているため、2月以降の予約も延長の発表を受けて動いてくる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが開発され、今よりはやや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が拡大しない限り、人々が新型コロナウイルス禍の生活に慣れるため、消費が大きく下向きとなる要素は減っていく。また、今後、インターネットやその活用サービスの需要はより高まる。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加してきているが、客がウィズコロナに慣れてきたため、経済も少しずつ上向いていく。
		商店街（代表者）	・Go Toキャンペーンやプレミアム付商品券などが景気の下支えをしているが、客が必要以上に物を買わなくなり、実店舗への来店よりも宅配での購入をするようになる。
		商店街（代表者）	・商店街を通行する人の数が増加してきているが、新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は変わらない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの動向次第である。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・今後、年末年始に掛けて、新型コロナウイルスの状況が悪くなる。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が増加しない状況で、今後も景気は変わらない。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染が始まって初めての冬場を迎えるが、今後、状況が良くなることはない。
		百貨店（営業担当）	・現在、外出客が減少し、衣料品が売れない状況であるが、新型コロナウイルスの影響が続く限り、今後も景気は変わらない。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの患者数が爆発的に増加しない限り、現在の状況が続く。
		スーパー（店長）	・今後も来客数が前年並み、売上が前年の105%で推移する。
		スーパー（店長）	・今後も来客数に変化はなく、景気も変わらない。
		スーパー（店長）	・ここ数か月、前年と比べ、やや悪い状況が続いており、今後もこの状況が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍で年末年始商戦がどうなるか予測できない。新型コロナウイルス禍で初めて1年で最大の商戦を迎えるが、競合店の増加もあり、景気が大幅に回復することはない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大への不安もあり、景気が良くなることは考えにくい。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの状況にもよるが、景気は変わらない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響を余り受けていないので、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが悪くなり、来客数が減少することが懸念されるが、近所の体育館の改装工事で工事関係者の来客が期待されるため、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないと何も変わらない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・最近の新型コロナウイルスの拡大で、人の流れが再びストップする可能性もあり、先行きが不透明である。
		衣料品専門店（経営者）	・消費の状況からすると景気回復には時間が掛かる。
		衣料品専門店（代表）	・今後も新型コロナウイルスの波が来るたびに影響を受け続ける。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響で先行きが全くみえない状態である。
		乗用車販売店（統括）	・今後も新型コロナウイルスの影響が続く。
		乗用車販売店（店長）	・来客数が増加傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は良くならない。
		自動車備品販売店（経営者）	・現状、新型コロナウイルスの終息を望むべくもなく、客の動きも鈍く、先行きの見通しもない。良い材料は何もなく、たとえ薬ができたとしてもすぐに景気は良くならない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・先行きが見えない状況で、客の購買意欲がそがれ、景気は厳しい状況からなかなか脱出できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、国民の警戒心も強い状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの対策が個人の裁量で行われ、店舗はできる限りの対策を講じているが、ワクチン等社会的に認知された処方普及するまではこの状態が続く。
		一般レストラン（店長）	・Go Toキャンペーンの食事券やポイントがなくなっただけからが不透明なので少し不安があるが、ある程度今の景気の状態を維持できる。
		スナック（経営者）	・よほどのことがない限り、この業界は良くならない。
		旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンが悪影響を及ぼし始めている。一旦中止して人の動きを抑える必要がある。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、まだまだ客が戻っておらず、特に夜は厳しい状況であり、今後も景気は変わらない。
		通信会社（経理担当）	・先がみえない状況が続いているため、しばらくは状況が変わらない。
		テーマパーク（営業担当）	・一時的に悪化するかもしれないが、3月までには現状くらいまでは回復する。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの影響で、自粛する人が増加する。
		競艇場（企画営業担当）	・3か月後の2月中旬までは引き続き西日対策で発売時間を短縮するため、景気は変わらない。
		その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあり、全く先が読めない。また、インフルエンザが流行するこれからの時期にどういう状況になっていくかも分からないため、景気の回復が見込めない。
		設計事務所（経営者）	・来場の動向が不透明であり、今後も景気に大きな変化はない。
		設計事務所（経営者）	・今後は新築より古家や空き家のリフォーム工事が増加してくる。新型コロナウイルスのワクチンが出回らないと人の気持ちも動かず、景気が良くなる方向に向いてこない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、今後も客が住宅を新築するような大きな決断ができなくなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くが、基本的に今後も販売数等は変わらない。
		商店街（代表者）	・今後も危機的状況が続く。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が全国的に増え始めており、景気にまたブレーキが掛かる可能性がある。
		百貨店（営業担当）	・当初、景気は良くなると感じていたが、ここに来て都市部で新型コロナウイルスが拡大しているため、今後、地方にも徐々に影響が出てくる。年末年始の帰省客の来店なども不透明である。また、取引先の運営状態も一層厳しくなってくる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大局面で、外出自粛や消費マインドの低下が起きる。また、取引先の冬物の商品供給が例年に比べ少ないため、売上が減少する。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの影響で、客の外出の頻度は例年の年末よりも減少する。特に、クリスマス需要は、衣料品や洋品などの不調もあり上昇しきらない。
		百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの状況次第で撤退ブランドが増加し、売上の減少が続く。
		百貨店（外商担当）	・今後1～2か月の厳冬期に新型コロナウイルスの感染者が増加し、客の購買心理が更に低下する。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により企業業績が悪化、客の所得が減少し、節約するため、売上が減少する。
		コンビニ（支店長）	・今後、企業のボーナス減少の影響が発生する。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、しばらくは厳しい状況が続く。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、地域の人の行動範囲が狭くなり、来客数が減少する。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響で経済活動が収縮し、景気がやや悪くなる。
		乗用車販売店（店長）	・新型車が出たため、にぎわうことを期待したいが、新型コロナウイルスがこの状況では客との接触も難しく、今後も盛り上がり以上に欠ける。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くため、景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、高齢者が多い地方では、外出者が減少するため、景気はやや悪くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加につれ、客や市場も危機感を持ち始めており、Go Toキャンペーンも限定的なため、年末商戦に対する不安が高まってくる。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・閑散期に入ること、周辺のスキー場の倒産、新型コロナウイルスの影響などから、景気はやや悪くなる。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスの影響で宿泊のキャンセルが発生する。
		都市型ホテル（企画担当）	・Go To Travelキャンペーンの終了に伴う反動が懸念される。
		都市型ホテル（企画担当）	・最近の感染者数の増加の影響で、宿泊、レストランいずれも先の予約受注の伸びが鈍化しており、レストランでは逆に予約のキャンセルが増加しつつある。2月に修学旅行やスポーツ団体の受注があるが、自粛ムードがまん延しつつあるなか、キャンセルの可能性も出てきており、先行きが不透明である。
		都市型ホテル（総支配人）	・Go To Travelキャンペーンによる観光客の増加が期待されるものの、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあること、ビジネス客が落ち込むこと、年末年始を除くと例年オフ期に入ることなどから、景気はやや悪くなる。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で今後も回復は見込めない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、県外に出張する客が減少し、密を避けて忘年会や新年会を中止する客も増加するので、景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの予防薬や治療薬が確立しない限り、景気は良くならない。
		タクシー運転手	・例年であれば、忘年会シーズンは夜の客の動きやタクシー利用が良くなるが、今年は新型コロナウイルスの影響でやや悪くなる。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、景気はやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響は避けられず、現状持ちこたえている業態もこらえきれなくなる。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により客が買い控えをするようになる。
		テーマパーク（業務担当）	・イルミネーションが終わり、閑散期になることや今後の新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念などから、景気はやや悪くなる。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により旅行客の減少が見込まれるため、景気はやや悪くなる。
		ゴルフ場（営業担当）	・今後、景気は県独自の自粛や緊急事態宣言などに左右される。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルス発生後の客離れから回復していない状況で、客の自粛傾向も強まっているので、景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・今後、新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が発令されたときのような状況になる可能性が高いため、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（営業所長）	・新型コロナウイルスの影響による客の雇用や所得減少に対する不安もあり、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・消費税の引上げと新型コロナウイルスの影響で、これから先に持ちこたえる店舗がどれだけあるか不安である。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・年末の買物需要に期待しているが、新型コロナウイルスの感染者数が増加すると減収は避けられない。
	×	百貨店（販売計画担当）	・ボーナス支給額の減少、雇用不安、密を避けた新しい生活様式に伴う来客数の減少、取引先の商品供給力の低下などにより、景気は悪くなる。
	×	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス感染対策として、広告の自粛や催事、イベントの中止が相次いでいる。また、客の消費意欲も落ちてきているように見受けられる。このため、景気の先行きはかなり厳しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	自動車備品販売店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンで正月明け1月10日前後から新型コロナウイルスの感染者数が爆発的に増加し、2度目の緊急事態宣言が発せられる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・イベント以降の来客数が余りにも少なく、今後、景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により街は閑散とした雰囲気に変化した。Go Toキャンペーンで増加していた客が一気に遠のいてしまったため、今後も景気は悪くなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・例年も年が明けると客が節約モードに入るため、厳しい状況になるのだが、今年度は特に新型コロナウイルスの影響もあり、新年会や送別会の予約が期待できない。また、新型コロナウイルスの影響で、食品業界でテイクアウトが増加し、内食メニューの進化や充実化も進んでいるため、外食業界はますます厳しくなる。
	×	観光型ホテル（宿泊担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今は控えるという言葉をよく聞くようになってきているため、今後も景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・客の動きが良くなると景気はどんどん悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)		*	*
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・生産量の回復傾向が強く、休業を解消する部署が多くなる。
		鉄鋼業（総務担当）	・中期見通しでも受注動向が上向いているため、景気はやや良くなる。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電池、電子材料関係の受注が引き続き堅調に推移するため、景気はやや良くなる。
		輸送業（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も業籠り需要が増加するため、日用品や食品関係の荷動きが活発になる。
		輸送業（総務・人事担当）	・現在、受注が堅調であるため、景気はやや良くなる。
		会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるが、治療薬やワクチンが普及すれば、景気はやや良くなる。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスが終息する見込みが立たないため、景気は変わらない。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続く、人の動きが制限されてくるため、景気は良くなる。
		食料品製造業（総務担当）	・原材料の輸入価格が目まぐるしく上昇し、企業努力だけではカバーできない厳しい状況にあるため、今後も景気は変わらない。
		化学工業（経営者）	・製品の主原料となる苛性ソーダの価格が下落基調にあり、新型コロナウイルスの影響も続くため、景気の回復は期待薄である。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないので、景気は変わらない。
		鉄鋼業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加していることから、景気が大幅に変わることはなく、むしろ下降する懸念もある。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの受注内示量が減少傾向にあるため、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・土曜日、日曜日で作業していた製造業の工場改修工事が、日曜日だけの作業となり、工場の稼働率が上がってきているので、今後、これ以上景気は悪くならない。
		建設業（総務担当）	・今後に向けての予定物件は十分にあるが、景気は変わらない。
	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスの拡大が懸念されるが、今後、景気に大きな変化はない。	
	通信業（営業企画担当）	・IT関連やデータセンターの需要は2～3年かけての計画需要が多く、景気に左右されることが少ない。新型コロナウイルスの影響で動きが若干鈍ったが、後は動きが活発化する。	
	通信業（営業担当）	・年明け案件の商談が順調に進んでいることから、現在と同程度の受注を見込んでおり、特需要因もないことから、2～3か月先の景気は現在とさほど変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資企画担当）	・北米と欧州の新型コロナウイルス再拡大の影響で地元完成車メーカーの世界販売の回復が止まる。系列の地元部品メーカーの受注も当面は前年の9割程度で推移する。
		不動産業（総務担当）	・例年どおりであれば、景気はさほど変わらない。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で受注量や販売量が上向き見込みがないため、景気は変わらない。
		繊維工業（監査担当）	・人の動きが制限され、冬物衣料の売上が減少する。
		木材木製品製造業（経理担当）	・全体的に購買意欲が減少傾向にあり、これから冬を迎え、新型コロナウイルスが全国的に急激に拡大する予兆があるため、今後、景気はやや悪くなる。
		金属製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増加により、客から不要不急の来社を控えるよう要請があり、他社も追随するものと想定されるため、受注量は良くても現状程度、実際はやや下がる。
		一般機械器具製造業（管理担当）	・閑散期になるため、景気はやや悪くなる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・11月に入り急激に新型コロナウイルスの感染者数が増加し、1日当たりの感染者数も過去最高を記録していることが、今後の事業活動に悪影響を及ぼすため、景気はやや悪くなる。
		金融業（貸付担当）	・新型コロナウイルスが再び拡大していることで、全国的に自粛要請が広がり、経済が停滞する。
	x	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きをみる限り景気は悪くなる。
	x	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・短期的な景況好転の材料がないため、景気は悪くなる。
x	コピーサービス業（管理担当）	・電子化が進み、紙媒体は不必要な存在となる。今まではどちらかといえば大企業や中企業が中心であったが、今後、中小企業に電子化が浸透していけば、更に紙媒体に係るコピーサービスや出力業務の需要はなくなる。	
雇用 関連 (中国)			
		求人情報誌製作会社（経営者）	・景気は新型コロナウイルスの状況次第である。
		職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスが多くの業種に影響を与えているものの、雇用調整助成金等申請は減少に転じており、雇用は新型コロナウイルスの感染再拡大の影響を見極めている状況である。また、雇用保険関係を前年と比較すると、適用事業所数は9月が前年比2.1%増加、10月が前年比2.3%増加、被保険者数は9月が前年比0.5%増加、10月が0.4%増加といずれも微増で推移している。一方、資格喪失者数は9月が前年比11.9%減少、10月が前年比7.5%減少となっている。また、新規求職者数を前年と比較すると、9月が前年比3.7%減少、10月が前年比4.5%と減少しているが、有効求職者数は9月が前年比10.1%増加、10月が前年比13.1%増加となっている。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって新たな緊急事態宣言が出れば別だが、現時点では景気がここから上向き材料も更に悪化する材料も見当たらない。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、今後、経済が停滞する懸念がある。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・新卒採用の状況が改善しておらず、新型コロナウイルス禍の早期に採用を中止した企業が採用再開に踏み切る一方で、これから採用を停止する企業も散見されることから、景気は良くならない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・既にインターンシップが始まっているが、企業に出向いて直接実施するところが少なく、また都道府県をまたぐ移動に対応せずにWeb開催を検討する企業が増加している。ただWeb型インターンシップを実施するノウハウがない企業が多く、結果的にインターンシップ実施は全体的に減少傾向にある。間もなく2022年卒採用がスタートするが、インターンシップによる活動が減少すれば、そのまま採用活動にも影響し、活動が鈍くなるおそれがある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・個人の消費活動は回復傾向にあるが、企業活動はまだまだ停滞感から抜け出す気配はない。景気は今後の新型コロナウイルスの状況によるところが大きく、判断が難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響でストップしていた自動車関係から金属加工業への発注が再開した一方、同じ金属加工業でも製造機械や半導体製造機械からの受注は回復が遅れるなど、まだら模様となっており先が見通せない。
		職業安定所（雇用関連担当）	・時期的に一時的な求人が多くなるかもしれないが、臨時求人では景気動向は上向かない。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスが再び拡大しているため、回復基調にあった景気が後退を余儀なくされる。年末の移動が制限され、自粛期間に業績を伸ばした宅配など特定の業種を除き、景気は停滞する。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルス禍で雇用状況は良くないが、Go To Travelキャンペーン、雇用調整助成金、地方公共団体の支援策等により、辛うじて現在の景気を維持する。
		人材派遣会社（社員）	・Go Toキャンペーンで景気が盛り返してきたが、新型コロナウイルスの影響で経済は再び停滞に向かう。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・年末が山場という噂の飲食店やサービス系の店が多数あったが、新型コロナウイルスの感染拡大が追い打ちをかけるため、閉店を検討する店が出てくる。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響で幾つかの業界で業績が急激に悪化しており、その影響が他の業界にも波及しているため、今後、全体的な求人数が更に減少する。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスの再拡大の影響が今からじわじわと出てくるので、景気はやや悪くなる。
	x	人材派遣会社（支社長）	・求人数は前年比80%程度で推移、登録者数は前年比60%程度まで落ち込んでいる。求人数の減少、求人の質の低下、派遣離れなど雇用環境は思わしくないことから、景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)		-	-
		衣料品専門店（経営者）	・現状がしばらく続くのではないかと思うが、客は大分ストレスがたまっていると考えられるので、12～1月の消費は少し上昇してくると期待する。
		家電量販店（店員）	・エアコン等の季節商材がけん引し始めているので、寒さが厳しくなれば販売数も伸びる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数は多くなっているが、今までの反動で消費が動くようになって感じる。
		通信会社社員	・離脱率の少ないプランを積極的に提案し、優良客を増やすような販売目標を立てたので、売上は増加すると思う。
		商店街（代表者）	・全国的に第3波が来ているようだが、当地域ではそこまで感染者が増加しているわけではない。しかし、忘年会、新年会等がキャンセルとなり、飲食店はかなりの打撃を受けて、なかなか景気の回復は見込めないと思う。
		スーパー（店長）	・多数の企業で年末のボーナス等が削減されている。この影響がいつ出てくるのか心配だ。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者が報告されると来客に急ブレーキが掛かり、落ち着くと少しずつ回復するという繰り返いに翻弄され先行きが見通せない。
		コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍におけるニューノーマルとして、客単価の上昇はあるものの、来客数減少による売上減少はこの先も変化しないと思われる。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が徐々に落ち着いてきたなかで、第3波が来たため、まだまだ来客数の伸びは期待できない。
		乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数によって大きく変わってくるが、このままでは良くはないと思う。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、前年並みに販売台数も回復し、来客も増えてきている。
		乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わると考えているが、ワクチンの有効性が確認されれば劇的に好転することもあると思う。
		観光型旅館（経営者） タクシー運転手	・ワクチンの接種が始まらなると大きな流れは変わらない。 ・12月は忘年会シーズンで客が一番多い繁忙期だが、今年は予測が立たない。宴会用のテイクアウト商品ができたこともあって、少人数で家庭で済ませるのではないかと。1～2月は新型コロナウイルスの影響が収束しないことには見通せない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの第3波もあり、客の動きも現在と大きく変わらず推移するのではないかと。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況で12月もどうなるかわからない。
		設計事務所（所長）	・生活必需品関係の製造業や不動産関係には改善の兆しが出ているが、飲食店については再度休業するところが出始めている。
		商店街（代表者）	・世界情勢、日本の状況、全てのファンダメンタルズはマイナス思考と考える。次の世情をリードできるのは何か、その方向性がみえるまで景気の上昇など考えにくい。
		商店街（事務局長）	・年末商戦を迎えるこの大事な時期に新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増えてきている。政府の対応には期待が持てないことから、Go Toキャンペーンの恩恵のない業種、業態は年末年始に大変厳しくなると思われる。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する自粛ムードが再び高まらない限りは、悪化しないと思われる。
		百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルス感染症が再拡大すると、Go Toキャンペーン中止による行動規制の影響が考えられる。
		百貨店（販売促進）	・全国的に新型コロナウイルスが感染拡大しており、来客数の減少が見込まれる。
		スーパー（店長）	・今後新型コロナウイルスが感染拡大し、再度自粛生活を余儀なくされる等により、景気が悪くなると思われる。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスへの慣れとGo To Eatキャンペーンの影響で、外食需要の取り込みが弱くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（商品担当）	・政府の施策が楽観的過ぎて、一般人の感覚とズレが生じている。
		乗用車販売店（従業員）	・11月中旬以降の新型コロナウイルス感染者の増加傾向をみると、先行きは不透明であり余り期待できない。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが再拡大し始めたので、少しの間、来客数は減少すると思われ、景気としては良くない状態である。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年が明けるとほとんど売上は上昇しないので、少し悪くなると思う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・寒くなると季節型インフルエンザと新型コロナウイルスがダブルで流行する懸念があり、年末年始においても人出の減少が見込まれる。
		旅行代理店（営業担当）	・現時点ではGo To Travelキャンペーンが1月末で終了する予定であり、終了以降は客の動きが鈍化し、需要の予想も難しい。
		通信会社（営業部長）	・現在はそれほど数値に現れていないが、今後は新型コロナウイルスの第3波の影響が出てくると感じている。
		競輪競馬（マネージャー）	・冬になり、今後更に新型コロナウイルスの感染拡大が予想される。ワクチン、有効な治療薬等が早く安心して投与できるようにならない限り、消費の気運が起こらないため、買い控えや遊興費の縮小等が定着し、経済状況は伸び悩む。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況はまだ収束しないと思われる。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数減少に歯止めが掛からず、この傾向は、当分続くと思われる。ワクチンが行き渡らないと収束しないと思うので、半分諦めの境地である。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・小さな地方都市にとって、夜の街での立て続けのクラスターはショックが大きく、立ち直るのに時間が掛かりそう。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの第3波が全国的に到来しているなか、季節型インフルエンザとの同時流行で、ますます景気は悪化し消費者の財布のひもは固くなるだろう。
	×	コンビニ（店長）	・4月の外出自粛のときと同じような状況になりつつあり、特に夕方以降の来客数減少が著しい。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス禍で家庭収入の減少もあり、悪くなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・例年なら、忘年会、新年会シーズンではあるが、このままでは自粛要請を回避できないため、景気は確実に悪くなり、事業経営が苦しくなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、キャンセルが相次いでいる。忘年会、新年会の書き入れ時に相当なダメージとなっており、先行きが全くみえず不安である。
	×	都市型ホテル（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの一次停止により、12月の忘年会の予約が軒並みキャンセルとなり、また、宿泊についてもこの1週間くらいでキャンセルが続いている。現時点では、1月でキャンペーンが終わる予定なので、2月以降の予約は全く入っていない状況であり、非常に心配である。
	×	タクシー運転手	・冬になるとお遍路客もほぼいなくなるので、再び街にタクシーが増える。新型コロナウイルスの感染者は増加しており、Go Toキャンペーンもどうなるのか分からないので、良くなることはなく景気は落ち込むと思う。
	×	観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの第3波が到来し、Go Toキャンペーンが見直されると、人が動かなくなり、経済が回らないので、景気が悪くなることは容易に推測できる。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		木材木製品製造業（営業部長）	・各メーカーの受注状況をもみても回復傾向にある。新型コロナウイルスの影響がどこまであるか不透明ではあるが徐々に良くなっている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響が再拡大してきているので、除菌ウェットクリーナーの販売量が増えると予想する。また、キッチンペーパーはステイホーム効果で売行きは良好である。
		化学工業（所長）	・現状では良くなる傾向と思うが、それも第3波の感染拡大次第である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、事業家のマインドが下がっているのは事実かもしれないが、逆境によりむしろ上がっているようにも感じる。私自身もそうだが、事業に意欲的な人が、増えつつあるのではないかと考えている。
		輸送業（経理）	・取引先から数か月先のオーダーが増加してきた。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチン開発が進んだことにより多少は回復すると思う。
		鉄鋼業（総務部長）	・現状の景気が悪い状態が続くと予想する。
		電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの第3波や、米国で始まるようとしているワクチン供給の動向によって景気がどちらに触れるのが大きく影響する。
		建設業（経営者）	・公共事業の量に大きく影響される本業界においては、補正予算や次年度予算次第ではあるが、国土強靱化等への課題対応施策の継続が見通されており、約半年先までは大きな変化はなく推移すると見込まれる。なお、これから年度末に掛けて繁忙期に入るため、生産性は向上するものの、これは例年どおりの傾向である。
		建設業（経営者）	・今後、2～3か月は景気の変化はないと思う。
		通信業（総務担当）	・受注傾向等から通信回線、サービス等の主要商材の販売は今後も現状を維持すると思われる。しかし、新型コロナウイルスの第3波の拡大状況やその対策効果によっては先行きを読み切れないのが実情である。
		通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの第3波により、交通、レジャー関係の広告は控え目になり始めており、冬場は各社それに倣って控え目の予測である。だが、3月には活性化すると見込んでいる。
		広告代理店（経営者）	・Go Toキャンペーンの効果で少し回復傾向が見込まれたが、新型コロナウイルスの再拡大で客の販促計画が変更になり、販促広告削減やイベント中止の傾向が続く予想である。
		農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、忘年会を含めた年末需要が減る見込みで、業務需要の比率が高い品目を中心に厳しい販売が予想される。また、気温の低下から季節型インフルエンザの流行期に入ることから、新型コロナウイルス感染症と合わせ、経済活動が制約されることが想定される。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、大都市における外食業界への時短要請、観光業界におけるGo To Travelキャンペーンの制限等により、製品需要が大きく減少すると予想される。
		繊維工業（経営者）	・観光地に人出が戻ったとはいえ、高齢者は新型コロナウイルスを恐れて出歩かず、若い人が多いので、消費は当社が販売する雑貨商品ではなく、飲食に集中している。在阪の百貨店の店頭も夏に比べて回復している。当社の販売先でもネット販売、若しくはネット中心の小売店からの注文は順調である。当社運営のネット販売も前年比で2倍と好調であり、この傾向は新型コロナウイルスが収まっても続き、今後の販売形態が変わってくると思われる。小売店によって違いはあるが、全体的にはまだまだ厳しく、当産地としては前年比で70～80%くらいである。
		輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの再拡大により、また動きが止まる。
		輸送業（営業）	・新型コロナウイルス感染症については、11月初旬頃より感染が再拡大しつつあり、これから冬場に掛けて爆発的な感染拡大が危惧される。再び緊急事態宣言が発令された場合、5月並みの景気の落ち込みが予想されるだけに、取扱物量減少による売上減少を受けての経営圧迫は必至であり、今後の動向からは目が離せない。
	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの第3波が急拡大していることから、改善傾向にある景気が再び減速する可能性が高い。	
	x	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
雇用 関連 (四国)		-	-
		民間職業紹介機関（所長）	・観光系の求人がやや回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第では逆に悪くなる可能性もある。
		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・長引く新型コロナウイルスの影響で採用を控える企業が多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業）	・これから年末に掛けて、例年なら商戦のピークを迎える時期になるが、新型コロナウイルスの感染を懸念する自粛ムードがしばらく続くことで景気回復は厳しいと考える。
		求人情報誌（営業）	・11月後半に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食、観光業界とその周辺業界ではダメージをかなり受け始めており、実際に休業や閉店が増え続けるだろう。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスの第3波の影響により、先行きが不透明な飲食業、観光業の求人が減少することが予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・忘年会や冬休みの旅行などをみても、新型コロナウイルス禍で自粛傾向にあり、この冬は厳しい状況である。
		職業安定所（職員）	・高校、大学いずれも内定率が前年に比べ低下している。新型コロナウイルスの影響で、内定取消しなどが多く発生する懸念がある。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で休業している事業所から雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーンにより人の動きが増えてきて、状況は緩やかに改善していたが、現在は日本全体で感染者が増加傾向となっており、第3波襲来で状況が再び悪化すると思われる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの第3波が到来している。Go Toキャンペーンの見直し等の影響が出ると思われる。
	x	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、景気の先行きが不透明である。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		競馬場（職員）	・営業再開が、徐々に認知されている。
		商店街（代表者）	・喪中や年賀状、年末商戦関係が増加する。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・年末年始の会食、忘年会、新年会を控える状況となり、コンビニエンスストアでの購入により、酒やおつまみ類の需要があり、売上が伸びると予想される。客単価や客数が上がることで、売上が好調な伸びになる。
		家電量販店（従業員）	・寒くなり、暖房器具の需要やクリスマス、年末に向けての購入が増える。
		乗用車販売店（従業員）	・年末から年明けに掛け、販売量のピークが来ると予想される。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・コーヒー業界は年末に掛けて繁忙期に入るが、今年は新型コロナウイルス禍の状況で、どれだけの来店があるかが不透明である。しかしながら、既存客の注文は継続されており、売上は増加傾向ではないが、2～3か月先は微増になると予測している。
		一般レストラン（経営者）	・今後の新型コロナウイルス感染の状況次第で変わってくる。拡大の兆しがあり、先行きが懸念されるため、事前の対策を講じてほしい。
		観光型ホテル（総務）	・宿泊やレストランの予約状況が好転している。延期を繰り返していた婚礼宴会で、年度内開催決定が出てきた。会場の新型コロナウイルス感染防止対策が評価されてきたことを感じる。
		通信会社（企画担当）	・通常の受注に新型コロナウイルス対策情報やGo To Travelキャンペーン向け情報の掲載、取材の業務が追加で入ることも多くなっている。今後、付加価値として少しずつ浸透していくことを期待している。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響もあるが、年末年始になり、人や物の動き、また、ファッションにも関心が出てくるため、景気回復に期待している。
	商店街（代表者）	・Go Toキャンペーンが話題になっているが、商店街では余り適用できる店舗がないため、プレミアム付商品券を発行している。近隣客を大切に、年末商戦に臨みたい。	
	商店街（代表者）	・客の動きは、感染拡大初期の頃と比較すると新型コロナウイルスの状況を把握できつつあるが、再度の感染拡大で患者が増加しており、客の警戒感から動向が鈍くなっている。すぐにワクチンや特効薬ができるとは考えられないため、この悪い景気は続いていく。	
	商店街（代表者）	・年末年始の新型コロナウイルス感染状況や来年のワクチン開発等不確定要素が多くあるため、一概に判断できない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、安全宣言が出るまでは景気の回復は難しい。
		商店街（代表者）	・第3波の新規感染者が増加しており、これから気温が下がっていく。このまま新型コロナウイルスが終息するとは考えられないため、今の悪い状態が2～3か月継続すると考えられる。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・来月末が例年並みでなくても、少しでも多く売上が伸びることに期待している。新型コロナウイルスが終息しなければ、先行きが懸念され、景気は回復できない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・これから年末に向け、退職や異動、イベント、また、正月の花の需要がある時期に差し掛かっており、上向きになる予想であるが、新型コロナウイルスの影響で、余り好材料がなく、どれだけの需要があるか心配である。
		百貨店（企画担当）	・クリアランスや福袋といったイベントが、密を避けるために、計画や実施方法を見直す必要があり、当初からの売上は見込めない。また、新型コロナウイルス第3波に対する警戒心やGo Toキャンペーンの見直し等で、来店も若干減少傾向にあり、一進一退の状況が継続する。
		百貨店（営業担当）	・お歳暮の早期受注やおせち料理は好調である。加えて、年末年始の需要やGo To Travelキャンペーンの地域共通クーポンでの土産購入、Go To Eatキャンペーンでの飲食店への来店やプレミアム付商品券の販売も好調である。また物産催事のWeb・通販展開、自家需要を中心とした紳士・婦人衣料雑貨、家電製品や一部し好性の高い舶来雑貨や工芸品も堅調で、購買意欲を感じる。一方で、県外客との接触警戒による地元客の外出自粛や帰省客の減少で、3世代来店や購買は依然として少ない。当店のDMの抑制や催事の中止をしているが、慎重な生活防衛意識は継続しており、街への外出自粛の意識が強く感じられる。
		百貨店（売場担当）	・一部の店舗で、来店客数が88%まで回復している。各店舗に客が戻りつつあり、新型コロナウイルス感染者も当地では余り出しておらず、マスクをしながらの買物状況ではあるが、活気も出始めている。また、シネマでは、人気漫画映画の上映により、来場が120～190%と非常に上昇している。加えて、冬物の動きが活発になり、クリアランスセールを前倒しすることで若干、売上は上がると予想している。
		百貨店（経営企画担当）	・緊急事態宣言解除後も入店客数は前年を下回って推移しているが、購買単価は上昇傾向にあり、売上は回復傾向にある。しかしながら、新型コロナウイルス第3波リスクにより、先行き不透明な状況が継続している。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染次第である。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス第3波のGo Toキャンペーンへの影響は少ないと予想するが、消費自体の冷え込みが進むのではないかと懸念される。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスに慣れたこともあり、春先のように巣籠り需要による恩恵を被るようなことはなく、むしろGo To EatキャンペーンやGo To Travelキャンペーンの影響により、内食需要の減少が予想される。
		スーパー（統括者）	・新型コロナウイルス禍の対策として、安心価格の強化等により、客に少しでも喜んでもらえる販売促進を実施しており、何とか売上維持、上昇に努めていく。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が減少傾向ではあるが、客には警戒心があり、買物に出掛けるには、まだまだ抵抗がある。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの第3波発生もあり、商店街から人影が全く無くなり、来街者減少状態であることは変わらない。
		衣料品専門店（取締役）	・例年2月は、数字が落ちるが、新型コロナウイルス第3波の影響で、3か月先が読めない状況である。社員の健康を守り、コスト削減と客への配慮を心がける。
		衣料品専門店（総務担当）	・悪条件が重なっているが、今後これ以上悪化することはない、変わらない。しかし、新型コロナウイルスの状況によっては、更に悪化することも考えられる。
		家電量販店（店長）	・感染者が増えれば悪くなり、減少すれば良くなるため、新型コロナウイルス感染拡大状況に景気は左右される。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス感染が拡大しており、テレワーク関連商品や高級調理家電、また、内食需要で大型冷蔵庫の好調が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店員）	・第3波が来ており、来店客数は減少しているものの、来店客は目的の商品を購入している。最近では、加湿器や空気清浄機が多く出ており、新型コロナウイルスの影響をそれほど受けていないのが実情である。
		家電量販店（総務担当）	・年末年始休暇を含めて巣籠り傾向は継続すると考えられ、映像家電や調理家電の需要も好調を維持していくと期待している。
		家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスの影響が不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・先行きは、新型コロナウイルス感染状況によるため、不透明である。
		乗用車販売店（代表）	・景気回復は、まだ見込めない。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が心配されるが、2～3か月先は繁忙期を迎えるため、現状の好調を維持できる。
		住関連専門店（従業員）	・例年であれば、高価格の商材が動く年末であるが、今年は新型コロナウイルスの影響が出ている。第3波を警戒して、中高年層も少なくなっており、再度経済が停滞する可能性が大いにある。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・灯油販売のシーズンに入っており、気温が冷え込み販売量が増加することに期待しているが、今後の燃料油の小売価格は、予測が難しいため、今後余り変化がない。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルス第3波の影響で、再び来場、売上共に苦戦が予想されるが、4月の状況よりは良いと予想される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・第3波の影響が、いつまで続くか不安である。
		通信会社（企画担当）	・販売を後押しするイベントもなく、現状維持を見込んでいる。
		通信会社（営業担当）	・業種柄、新型コロナウイルスに余り影響を受けない。
		美容室（経営者）	・経済が現状より悪くならず、維持ができるよう期待をしている。
		理容室（経営者）	・例年の12月は良くなるが、新型コロナウイルスの影響で、飲食関係では忘年会中止も出ており、厳しくなる。
		美容室（店長）	・客が新型コロナウイルスを警戒しているため、すぐに景気が良くなるとは考えられない。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・地域によっては、まだ新型コロナウイルスの影響は多くないと考えているが、全世界での影響は大きく、物流が回復する気配はない。そのため、重要客の仕事量回復も期待はできず、景気回復は期待が薄い。
		設計事務所（所長）	・今月の結果は2～3か月先に出るため、良くない状況が継続する。
		住宅販売会社（従業員）	・今月から販売を掛けており、実際に誓約入金になるのは、早くて年明けになるため、実際の売上として計上出来ない。そのため、会社の状況が良くなるのは、まだまだ先になり、景気としては変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・今後、新型コロナウイルス感染が再拡大していけば、来場者や受注にも大きく影響が出てくる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない限り、消費者の外出が減り、ファッション関連業種は苦戦が続く。
		商店街（代表者）	・寒くなり、新型コロナウイルスが流行し始めている。自粛状態になると予想されるため、街全体の売上も一段と厳しい師走となる。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、外食が減り、飲食店向けの卸売が減少する。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・株価は上昇しているが、日本の景気は決して良いとはいえない。業種によっては過去最低である。近辺でも長く営業していた店舗が数店閉店している。通常であれば、これから3か月は売上が上がる月であるが、今後は期待できない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス禍が更に悪化傾向であるため、買い控えが進むと考える。
		百貨店（企画担当）	・当市の新型コロナウイルス感染者数は比較的落ち着いているものの、首都圏の感染者拡大ニュースのインパクトが強く、心理状態が下降している。一方、株価は上昇しており、富裕層の購買意欲は衰えていないが、今後、首都圏の緊急事態宣言等が発せられた場合の懸念が絶えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあるため、来店客数の減少が予測される。
		百貨店（業務担当）	・新型コロナウイルス禍で迎える初めての年末年始となるが、人の動きも含め、かなり自粛されると考えられる。人の動きが止まると物の動きも止まることから、これから2～3か月は厳しい状況になる。
		百貨店（プロモーション担当）	・年末年始に掛け、Go Toキャンペーンの規制等により、人の動きが制限されてくることが予想される。
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスが再度感染拡大すると、再度巣籠り需要が発生し、食品スーパーマーケットは潤うと考えられるが、当社においては、近隣に競合先が新規オープンしたり、また、大手ショッピングセンターのリニューアルオープン等で、当面は厳しい状況が続く。しかし、年末商戦は、例年の傾向から、当社の生鮮食品の人気は高く、一定の売上増加が期待できる。
		コンビニ（経営者）	・3か月後に新型コロナウイルス感染が減少しているとは考えられず、近隣施設でのイベントも減少しているため、まとめ買いもない状態である。改善の見込みは、当分ないと危惧している。
		コンビニ（経営者）	・たばこの値上げがあったが、売上としては、粗利が非常に少ないため、利益に大きく影響はないが、客数の減少要因になり、たばこ購入のついで買いに影響が出ている。また、Go Toキャンペーンの地域共通クーポンの利用も目立っているが、前年を上回る要因になるほどのインパクトは感じられず、今後も悲観的な状況である。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染が再拡大していることで、テレワークや飲食店の時短営業が増加し、コンビニエンスストアも客数減少の影響を受ける見込みである。
		コンビニ（エリア担当）	・冬が本格化し、新型コロナウイルスの状況から、再度引締めムードが高まる。
		コンビニ（店長）	・今後の新型コロナウイルス第3波、第4波感染状況の影響による。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染者の増加が、懸念される。
		衣料品専門店（店員）	・第3波がいつまで続くのか不透明で、不安である。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの状況次第である。5～7月は特別定額給付金の給付により、家電では良くなっていたが、今年の3～4月は前年比60%であったため、予測ができない。
		住関連専門店（経営者）	・収束し始めた新型コロナウイルスの感染が拡大しつつあり、今後後半Go Toキャンペーン事業の見直しが始まっている。飲食店や宿泊業の回復見込みが遠のき、消費者もここ2～3か月が我慢のしどころだと考え、先行き不透明で不安な状況である。
		高級レストラン（経営者）	・当店は国内外の客対象の営業であるため、人口の多い都市からの移動が制限され、その状況が続くことにより、売上の減少が懸念される。
		一般レストラン（スタッフ）	・Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの施策状況にもよるが、今後の新型コロナウイルスの影響は計り知れない。年内は、まだ外出ムードがあるが、寒くなる年明けの新型コロナウイルス感染者数次第では、過去最低の水準に陥る可能性が想定される。
		スナック（経営者）	・10月で新型コロナウイルス禍の来客数最悪の状況を抜け出したかにみえたが、第3波の影響で、大きく来客数が減っている。気温の低下で、新型コロナウイルス感染者の増加が予想され、外食や宴会の自粛が広がる可能性が高く、景気が上向く気配を全く感じない。
		居酒屋（経営者）	・寒くなり、新型コロナウイルスの感染者が増加していき、今後更に影響が出てくる。
		観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルス禍の状況次第であるが、Go Toキャンペーンが終了した後に、団体客の動きがあるかがとても不安である。
		旅行代理店（職員）	・ここ数か月Go To Travelキャンペーン効果は出ていたが、11月と比較すると、Go To Travelキャンペーンの一時停止に影響され、1～2月出発旅行の買い控えがあり、やや悪くなる。
		通信会社（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響が出ると、また売上が落ち込む可能性がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（従業員）	・前年は多少あった海外からの乗場者は、今年は見込めないため、10～12月の繁忙期が過ぎると今より悪くなる。
		ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスの再流行の兆しで、年末年始の人の動向が鈍化し、全体的に経済の流れが悪くなる。また、新型コロナウイルスのワクチンの有効性も不明瞭である。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス第3波の拡大が懸念され、利用者のキャンセルや利用自制につながる可能性があり、通所系サービスの営業自粛も考えられる。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの状況次第である。
	×	一般小売店〔青果〕（店長）	・これから年末になり、お歳暮のギフト商戦になる。お中元商戦では、心理的なものもあり、前年と比較するとかなり数字が悪かったため、厳しい状況になる。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波感染拡大に対して、客は慎重になり、特に小売では金が回っていない状況である。それに反して、株価が上昇しているが、一部の人のみに影響があるだけである。お歳暮ギフトは11月が中心になるが、店頭では25%のマイナスで非常に厳しい状態である。それに反して、Webの受注がかなり伸び、売上全体では10%のマイナスになっている。
	×	スーパー（店長）	・11月に入り、Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの影響による人の動きで、新型コロナウイルス感染第3波へ突入している。それにより、客の防衛意識が高まり、今後、食品以外の需要は間違いなく低迷することが懸念される。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、人の行動は制限されたままであり、小売業やサービス業、飲食店、観光業等、業種によっては厳しい状況が続く。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルス感染第3波の影響が懸念されている。特に、東京都が時短要請を出したと同時に客足が鈍り出しており、このまま冬の年末年始商戦を迎えることになるため、非常に不安である。ワクチン開発に期待が高まっているが、この冬の感染拡大には間に合わないため、感染拡大と経済のバランスを考慮した政府方針に期待したい。
	×	高級レストラン（経営者）	・11月はGo Toキャンペーンで、何も問題なかったが、4週目になり当地で新型コロナウイルス感染者が増え始め、また、都心部のGo To Travelキャンペーンの客も減少し、キャンセルも出ている。繁忙期である12月には、団体客の予約は入らず深刻な状態である。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・年末年始に見込んでいた売上が、今年は例年のようには見込めないため、悪くなると見込んでいる。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・人の往来が増えたことで、新型コロナウイルスの感染者が増えている。ワクチンが行き渡らない限りは、景気は安定しない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が三度急増しており、不安要素が大きく、予断を許さない。
	×	タクシー運転手	・他の地域では、新型コロナウイルス感染の第3波が発生しているが、感染者が少ない当市でも同じ状況になると予想される。そうなると、繁忙期である12月にかなりの影響を受けると懸念される。
	×	観光名所（従業員）	・Go Toキャンペーン事業は継続されるが、シーズンオフに入るため、入場状況は悪くなる。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染拡大により、賃金やボーナスがカットされており、今後この影響が出てくると予想され、新增改築等の住宅建築への大きな支出は先送りされると考えられる。また、地方は都市部よりも遅れて影響が出る傾向がある。
企業 動向 関連 (九州)		-	-
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年度末に向け、予算消化の見込みが残っているため、若干の期待はできる。
		電気機械器具製造業（取締役）	・若干良くなる見通しであるが、新型コロナウイルスの感染状況が年末にかけ不安定になっており、今後も注視が必要である。
		広告代理店（役員）	・11月以降のプレゼンテーション業務が増えている。特に、アカウントの多い競合プレゼンテーションが増えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		農林水産業（経営者）	・12月は繁忙期で、新型コロナウイルス禍でも若干の期待を持っていたが、鳥インフルエンザの発生により、原料調達に影響が出てきそうである。工場の稼働も例年の約70%に落ちると予想され、近年にない悪い年末になる。1～2月は、消費が伸びないところに12月調達予定の原料が先延ばしできないため、工場は稼働しなければならず、最悪の状態になると危惧している。また、在庫負担に苦しむ年明けになると予想している。
		化学工業（総務担当）	・自動車部材原料の出荷が上向いているが、他の不透明要因と合わせると変わらないと考える。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・Webでは、ふるさと納税が前年より売上が上がっているが、地元産地の卸商社からの受注は、ほとんど横ばいである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の体制が、はっきりしないことが一番の問題である。恐らく取引先でも社内的な締め込みがあるため、外注である当社に対してもそれなりの要求があるのではないかと危惧している。現況から良くなるとは、とても考えられない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いや見積りが若干増えているが、まだ予断を許さない。新型コロナウイルス第3波によって、更なる影響が出ないか心配である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現在と同じ程度の受注が、3か月後も続くと考えられる。
		精密機械器具製造業（従業員）	・まだまだ受注量の軽減が続き、生産量が厳しい状態にある。今後も受注量の動きがみえず、現状が続くと予想される。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・前月に引き続き、当初計画台数より高い台数で維持されている。今後、生産台数を増やす計画はない。
		建設業（従業員）	・今期の受注額は、達成できている。また、見積案件は多くないが、受注に向けて配置人員等を考慮していきたい。新型コロナウイルスの影響が、この冬の業績にも影響するため、今後の動向に注視したい。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスが落ち着くには、まだまだ時間が必要である。また、収束しても従来のような貨物の入出庫にはならないと荷主は考えており、新しい供給方法を考える必要があるため、当面は景気は変わらないと推測する。
		通信業（職員）	・受注額が安定しており、年度末ごろまではこの状況が続くと考えられる。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響に変化の兆しが見られず、先行き不透明な状況が2～3か月先も継続する。
		不動産業（従業員）	・ホテルの稼働率は、低調な横ばいで推移している。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・景気が悪い業種がある一方で、良い業種もあるため、全体的景気はプラスマイナスゼロである。
		経営コンサルタント（社員）	・外出しづらい状況のため、人と面談できず、新しい動きも期待できない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社ホームページのアクセス数、問合せ件数に変化がない。
		食料品製造業（経営者）	・受注はある程度見込めるが、原料の農産物が夏場の悪天候や産地での病気等の影響により、潤沢に仕入れができない状況である。
		繊維工業（営業担当）	・また、自粛ムードになってきたため、販売は大変な状況になる。したがって、生産側はもっと厳しい状況に置かれると予想される。
		家具製造業（従業員）	・新規案件や見込み案件も低調な状態のまま、新型コロナウイルス感染症の第3波の影響が重なり、打開できる材料が全く見当たらない。また、数少ない大型物件は、競合激化に拍車が掛かり、厳しい単価での競り合いが予想される。
		金属製品製造業（事業統括）	・毎日の感染者数が心配であり、先行き不透明なため、今後の見通しが立たない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で、受注量が読めない。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・これから寒くなり、新型コロナウイルス感染者が増加すると予想されるため、再び工場稼働率が下がり、生産低下を予測せざるを得ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（社員）	・今は忙しいが、年度末や新年度のことを考えれば受注しておきたい一方、技術者不足により、入札に参加できていない。官公庁の発注も少ないが、平準化で発注がされないため、発注時期が偏っている。発注時期の勘案があれば、受注に参加する同業者は多い。
		輸送業（従業員）	・6か月先の発注まで、低単価製品の受注が増加している。卸や小売でも仕入れを控えており、広告も絞り、低迷が続く見込みである。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加しており、Go To Travelキャンペーン等の運用が一部厳格化されてきているため、ホテルや旅館、飲食店等では、先行きを不安視する企業が再び増加している。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が急増しており、Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの盛り上がり、経営者や事業者のマインドが年末に掛けて下がる傾向になり、人の動向も鈍ると考えられる。今後2～3か月は若干景気は悪くなる。
		金融業（営業）	・新型コロナウイルスの第3波の影響により、消費は下向きである。国際的な景気も悪化すると考えられ、景気は、政策により積み上がっている分の剥落が予想される。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染再拡大やGo Toキャンペーンの縮小等の懸念材料が浮上しており、4～6月のピーク時ほどではないが、景気に冷え込みが予想される。また、今後は米国大統領就任後の施策や動向、世界経済に及ぼす影響についても注目していく必要がある。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染拡大に対する不透明感が強まるなか、今後の資金繰りを懸念する声が多方面から聞かれる。年末年始の消費喚起イベントの規模縮小や自粛が見込まれる等景気回復の足取りは重い。
		経営コンサルタント（社員）	・飲食店の客数減少が影響し、景気は悪くなる。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・国内での新型コロナウイルスは増加傾向にあり、先行きは不透明さが増している。
	×	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染が再度拡大している。Go Toキャンペーンも見直しを迫られており、経済にかなり影響を与えることは疑いの余地もない。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・通常、9月と12月に追加で調査等の委託業務が予算化され発注されるが、今月に入っても追加の発注等の動きが少ないため、新たな業務を受注できる見込みが低い。このため、景気が悪化することが予想される。
雇用 関連 (九州)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染の拡大状況にもよるが、上半期に終了した契約の穴埋めの求人が、増加傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの給付金事業等が落ち着き、新型コロナウイルス禍は長期戦となっている。プラス要因が今の時点ではみえないため、新年度の雇用供給は横ばいの予想をしている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染者数の増減に伴い、求職者の行動が変化している。企業からの注文も、落ち着いている。
		人材派遣会社（社員）	・雇用調整助成金の延長実施が検討され、現状より企業の景況感が悪くならないと予想される。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・良くなってほしいという期待はあるものの、新型コロナウイルスの影響が続く限り、人の動向の鈍さは続く。Go Toキャンペーンの影響で動きがあるが、第3波が懸念されており、悲観的になっている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染者の増加というマイナス要因もあるが、現状では商業施設の複数新設等のプラス要因が上回っている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大が続いているが、4～5月のように全面的に経済活動等をやめるとは考えにくい。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続すると考えられる。長期にわたる業績の悪化等により、新卒採用者数の調整は、更に進むと考えられるが、将来的な企業活動の継続を勘案すると、多くの企業で採用者数を大幅に減少させることは考えにくい。また、オンラインによるインターンシップの実施を検討するなど、採用選考活動に向けた動きがみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス第3波の状況により、受注が減少する。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・九州では新型コロナウイルスの感染者数が少ないこともあり、現時点では新聞広告量にも目立った影響が出ていないが、既に旅行広告に陰りが見え始めている。気温の低下とともに、九州でも感染者数の増加は十分に予想されるため、先行きは楽観視できない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波が発生し、地方でも感染者は少ないながら、連日新規感染者が発生している状態である。年末年始の移動や宴会等の飲食は抑制され、それに伴い消費行動も下向きになると予想される。
		職業安定所（職員）	・新規求人数の前年比減少幅は、飲食サービス業も含め小さくなっており、特に宿泊業は、Go Toキャンペーンの効果で増加している。しかし、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、再び求人数が減少すると予想している。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例措置等が延長されたものの、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することで、厳しい状況となる可能性が否めない。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい状況のため、人件費の抑制や、仕事減少により採用数減少になっている。効果的なワクチンが開発され、以前の経済活動ができるまでは、特に九州のような地方は厳しい。
	x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・冬を前に新型コロナウイルス感染拡大が心配されているが、年末年始の会合も家庭や個人レベルになると予想される。企業や団体から忘新年会中止の連絡が増えており、例年の動きが縮小されると、経済にかなりの影響が出ると考えられる。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-
		コンビニ（経営者）	・観光客が戻りつつあるので、今後の観光客の増加が期待できる。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・来客が戻ってきているが、再度新型コロナウイルス感染者が増え、その対策ができていないので、変わらないと考える。
		百貨店（店舗企画）	・11月の動向から、年末年始に向けて更に回復を期待して、良くなると答えたいが、全国的にも当地でも感染者が増加傾向で先がみえなくなっている。
		スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス禍の影響と新規競合店の影響はまだ続くと思われる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が来店客の増減に大きな影響を与える。現時点では来店客が多くなりつつあるも、最近では新型コロナウイルス感染者の増加傾向、第3波がみられることで更なる自粛が掛かる可能性もあり、現状維持若しくは悪くなる可能性も秘めている。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルス次第で大きく上下する。県内感染者が30人前後で推移すれば好転していくと考える。
		コンビニ（副店長）	・例年だと年末年始で売上が見込めるが、今年度は新型コロナウイルス禍で迎えるので正直なところ予測ができない。今後の感染状況、政府の対応によっては閉塞感が広がり、経済の更なる低迷が心配である。
		衣料品専門店（経営者）	・今年は例年になく暑い日が続いていたため、秋冬商材の動きが鈍い状態が続いている。このままでは、これからセールの時期に入ってくるため、利益が圧迫されてしまう。まだまだ景気が良くなる気配は感じられない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・個人住宅、投資案件など建築受注契約が近い案件も多く、当面はこの景気が続くと思われる。
		スーパー（企画担当）	・Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポン券の利用増加で売上の底上げが見込まれるも、年末年始需要やギフト需要の縮小が懸念される。
		衣料品専門店（経営者）	・年末年始は書き入れ時期であるが、世間が自粛モードの状態では景気は良くなれないと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（マネージャー）	・Go To Travelキャンペーンでは販売してはいけない商品、度重なる仕様の変更、出張等販売不可などがある。全ての旅行会社が一般客向けだけではない。特化型、企業専門やインハウスの旅行会社などはいきなりはしごを外された感がある。もちろん観光利用への大義名分はあるが実際の線引きが曖昧すぎる。
		通信会社（サービス担当）	・格安スマートフォンの台頭などで新規、機種変更が苦戦している。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、今後外出を自粛する動きが出てくる可能性がある。景気が上向きになるとは考えにくい。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・Go To Travelキャンペーン終了予定の影響か、来年2月以降の先行予約が前年比50%にも満たない非常に厳しい状況である。
		住宅販売会社（役員）	・新型コロナウイルス流行の第3波が気になる。
	×	商店街（代表者）	・現在新型コロナウイルスが大変流行しているため、ワクチンが出て、来客が多くならない限りは、零細企業は大変厳しい状況である。これが全体の経済に波及している状態であり、大変危機的状況下にあるとみられる。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、ドーナツ化現象が起きており、自店舗のあるビジネス、官庁街では上から外食の抑制指示が入っており、夜はゴーストタウンのようで、週末も例年の20%台しか入客が取れていない。離島や北部の観光地の飲食店ではGo Toキャンペーンの効果もあって、売上が例年比110～120%と伸びている店舗もある。しかし、クラスターの発生も出始めており、先行き不透明である。
	×	観光型ホテル（マーケティング担当）	・ホテルの11月の販売室数が前年比27.7%増とプラスなのに対して、11月末時点での2月の予約室数は前年比46.5%減と、マイナスに転じている。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・新型コロナウイルス流行の第3波により、宿泊のキャンセルが増えてきた。飲食においては、忘年会、新年会の予約がほぼない。
企業動向関連		-	-
		*	*
(沖縄)		食料品製造業（総務）	・新型コロナウイルス禍の状況が目に見えて良くなっている感じはなく、失業率等も徐々に増加し始めており、消費マインドも低下傾向で一進一退ではないか。いずれにしろ新型コロナウイルスの終息状況が影響する。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・当面現状のまま変わらない見通しである。
		建設業（経営者）	・注文住宅の営業、打合せはどうしても今まで対面に頼っていたので、この新型コロナウイルスで客の来場が少なくなっている。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては、新型コロナウイルスの感染拡大で現場も戦々恐々としてはいるが、自衛隊関連の建設工事を中心に比較的好調に推移すると考える。民需は、アパート等の需要は落ちているが、壊滅状態のクルーズ船乗客に比べ、国内の旅行者は戻りつつあり、大手企業のホテル建設は持ち直している。
		広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促活動の動向から、新型コロナウイルス禍での景気への不安は引き続き強いと感じている。また、全国的に広がる新型コロナウイルスの影響が、その不安を更に悪化させることを危惧している。
		会計事務所（所長）	・新型コロナウイルス禍の動向次第だが、将来に関するプラス材料もなければ、今以上のマイナス材料も思い当たらない。
		輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況にあわせて消費が減少するものとみている。11月末の連休の感染拡大状況も踏まえると、自粛ムードが広がり、ここ数か月の景気回復状況が悪化に転じると考えられる。
	×	-	-
雇用関連		-	-
(沖縄)		求人情報誌製作会社（営業担当）	・年明けから求人数の増加が予想される。
		求人情報誌製作会社（営業）	・年初の1月は例年であれば、1年を通して最も求人数が多くなる。企業の採用活動計画も、1月以降の再開予定が多いと予測される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者が増加している。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・Go Toキャンペーンで持ち直したかにみえたが、やはり新型コロナウイルスの第3波の脅威はめぐえず、景気は様子見となるとみられる。
		職業安定所（職員）	・11月に入って、日本人観光客を対象としたホテルなどで求人が若干復活しているが、今後の新型コロナウイルスの感染状況及びGo To Travelキャンペーンの状況により、再び求人数が減少するおそれがある。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業が新卒採用に慎重になっているのか、例年に比べ求人情報が減っているようである。
	x	-	-